ケイブンシャの大百科

鬼太郎 十の秘密

ゲゲゲの鬼太郎（きたろう）

妖怪紳士録
（第34話～第69話）

パート**2**

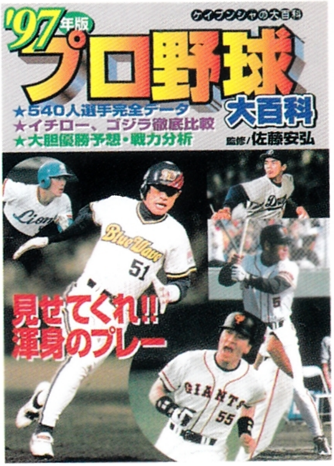
大百科



映画
「ゲゲゲの鬼太郎
おばけナイター」
誌上ストーリー

平和を乱すヤツはゆるさない!!

好評発売中！！



'97年版プロ野球大百科

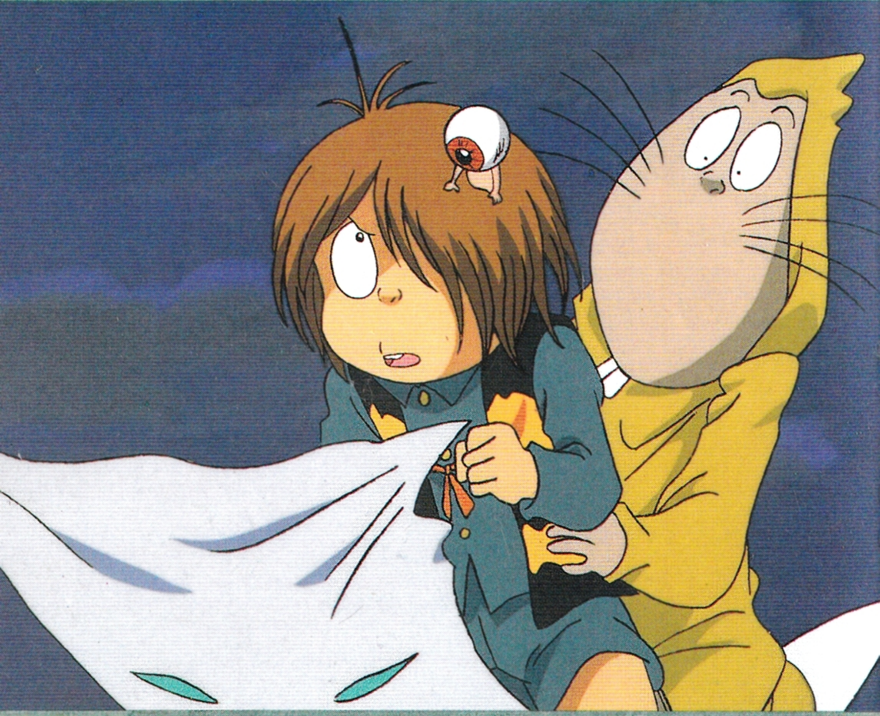
A6判 本体760円

※表示価格は消費税抜きの価格です。
別途消費税が加算されます。

ゲゲゲの鬼太郎（きたろう）

パート2

大百科（だいひゃっか）




急いでくれ！
一反木綿

悪の妖気を感じとり
鬼太郎、今ここに参上！



まかせるでごわす！

オープニングテーマ

ゲゲゲの鬼太郎



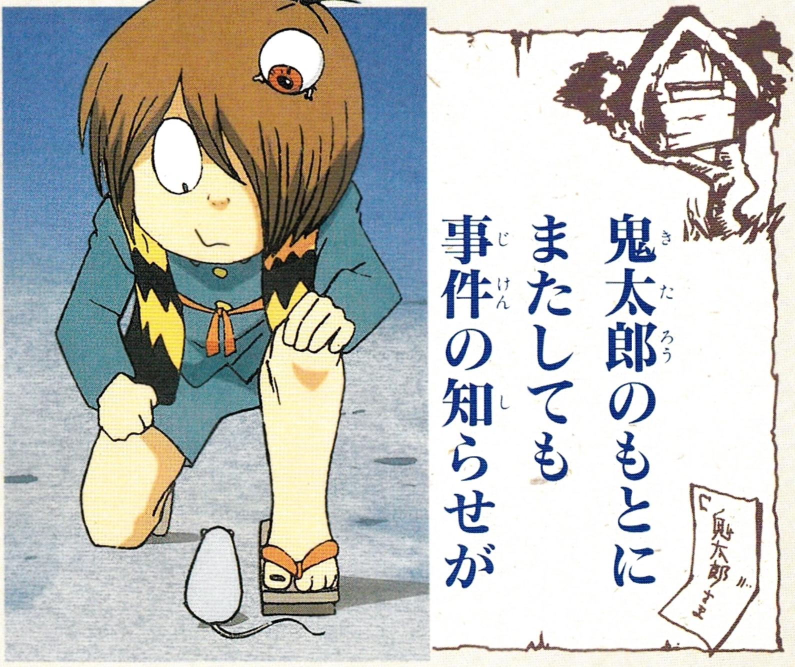
ゲゲゲの鬼太郎

ゲ　ゲ　ゲゲゲのゲ
朝は　寝床で　グー　グー　グー
たのしいな　たのしいな
おばけにゃ学校も
しけんも　なんにもない
ゲ　ゲ　ゲゲゲのゲ
みんなで歌おう　ゲゲゲのゲ

ゲ　ゲ　ゲゲゲのゲ
夜は墓場で　運動会
たのしいな　たのしいな
おばけは死なない
病気も　なんにもない
ゲ　ゲ　ゲゲゲのゲ
みんなで歌おう　ゲゲゲのゲ
みんなで歌おう　ゲゲゲのゲ
みんなで歌おう　ゲゲゲのゲ

作詞／水木しげる
作曲／いずみたく
編曲／憂歌団
うた／憂歌団



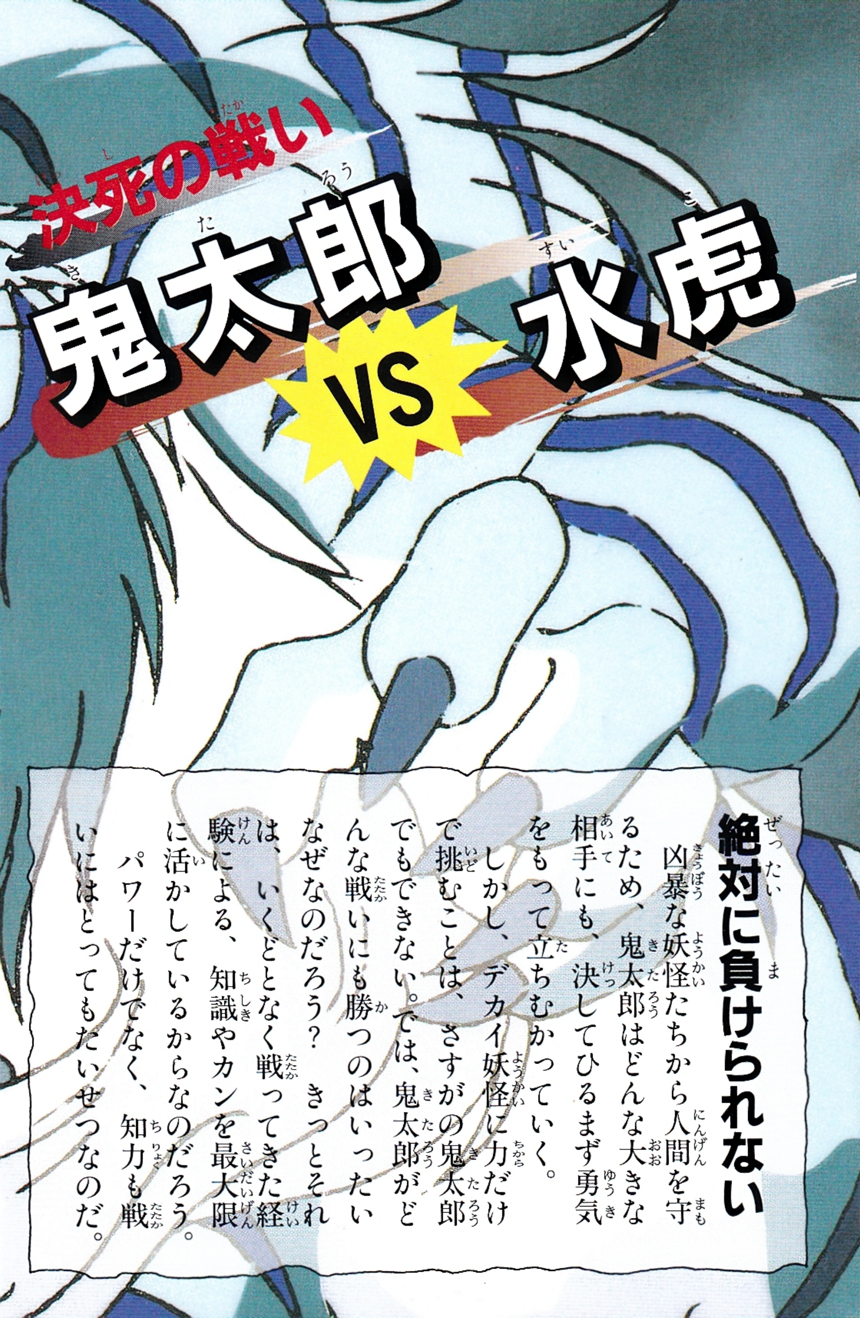

鬼太郎のもとに
またしても
事件の知らせが
鬼太郎さま


白山坊の使い
罪のない人間を
おそうヤツは
ゆるさない！


人間の魂を食らう妖怪は
あとをたたない……
サボテン妖怪
イヤーッ助けてっ！
後神

決死の戦い

鬼太郎 VS 水虎



絶対に負けられない

凶暴な妖怪たちから人間を守るため、鬼太郎はどんな大きな相手にも、決してひるまず勇気をもって立ちむかっていく。

しかし、デカイ妖怪に力だけで挑むことは、さすがの鬼太郎でもできない。では、鬼太郎がどんな戦いにも勝つのはいったいなぜなのだろう？　きっとそれは、いくどとなく戦ってきた経験による、知識やカンを最大限に活かしているからなのだろう。

パワーだけでなく、知力も戦いにはとってもたいせつなのだ。



▶合体した水虎は、カンタンに山を飛びこすほどスゴイ

鬼太郎危うし!



▲4体に分裂するほうこうにひとりで戦う鬼太郎



鬼太郎エキスの力とは?

肉エキスや野菜エキスがギュッとつまっているコンソメは、料理にコクとうま味を出してくれる。では、鬼太郎エキスもうま味を出してくれるのだろうか? ほうこうがいうには、何やら強い妖気が身につくらしいのだが……。

妖怪を食う妖怪

妖怪が裁判をするのは、法律があるからなのだろう。しかし、妖怪を食べた妖怪が裁かれないところを見ると、妖怪界での共食いは罪にならないらしい。
まさに弱肉強食だ！







ぬらりひょんの野望

どんなひきょうな手段を使ってでも妖怪界のトップになろうとする、悪い政治家みたいな妖怪がこのぬらりひょんだ。





こいつは何度でも助っ人妖怪を引き連れては悪事を働く。自分の手は汚さないのが特徴だ。だが、鬼太郎の活躍で、みにくい野望はくだかれるのだった。


このままでは街がたいへんだ！
赤舌
鬼太郎、急げ！
コンクリートを突き破り、高層ビルをなぎ倒しながらあばれる妖怪。そして、悪い空気を吸うごとに凶暴さは増していく……。もう、人間の手ではどうにもできない。たのみは鬼太郎のみ。


最近は、ゆがんだ心をもった人間や、悪さを働く人間があとをたちませんね、父さん
トホホホ。たまにはワシらで、少々こらしめる必要があるのかもしれんな
人間にくらべりゃ、おれっちのセコイ商売なんざぁ、まだまだカワイイもんよ
ねずみ男
人間同士の争いが続くかぎり、鬼太郎が望む人と妖怪の平和な共存は遠のくばかり。悩みの種は増す一方だ。

妖怪必見

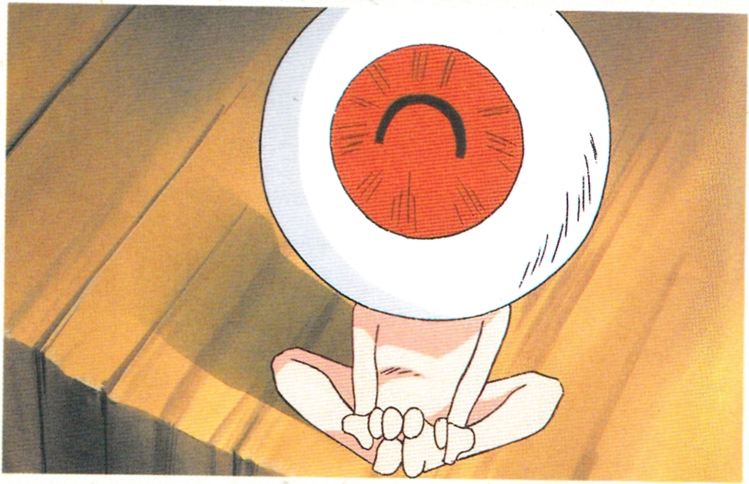
ビビビのねずみ男が今ときあかす、鬼太郎の仲間たち





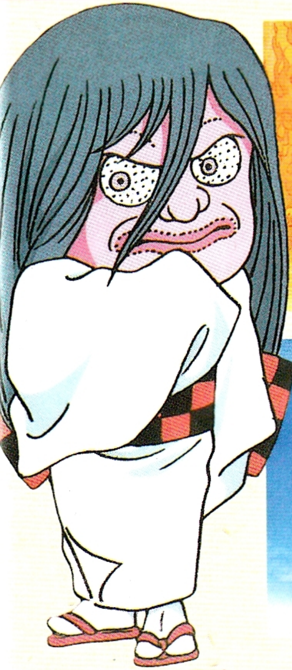
調査書1　目玉おやじ

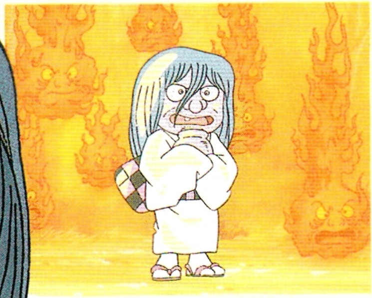
スキ	茶わん風呂
ニガテ	冬のカミナリ

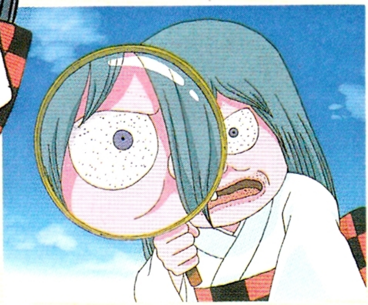


まあ、はやい話が鬼太郎のおやじさんってことよ。妖怪界じゃーこいつを知らないヤツはモグリってなもんだい。根はまじめで息子思い。鬼太郎はこの親父のことならなんでも聞く。もし鬼太郎をやっつけたいなら、この親父から手を打つことだな。

おれさまもたまには世話になることがあるけど、この正義づらしている妖怪親子のおかげで、いっつもこっちの商売はあがったりよ。







調査書2

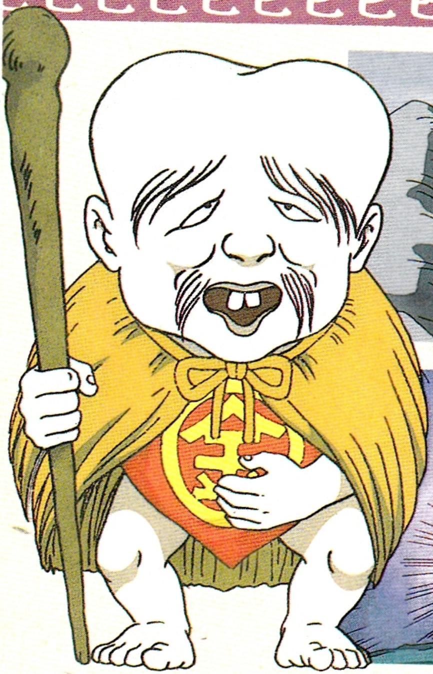
砂かけ婆

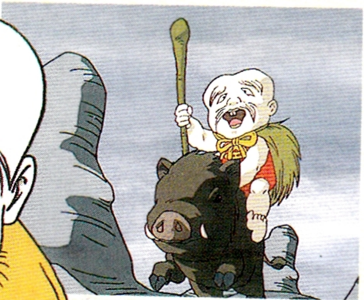
スキ	ニガテ
妖怪アパート	大天狗

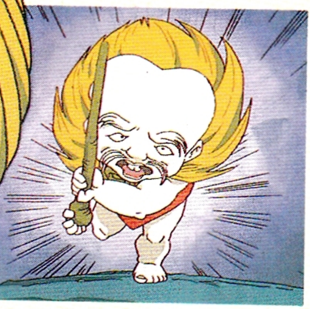
目玉の親父についで物知りなのがこの婆さんだ。だてに歳をくっていねえから、こいつには相当注意してかかんねぇと、とうぶんの間、壺の中なんかに眠らされちまうぞ。

どこにしまってあるのか知んねぇけど、次から次へと妖怪退治のアイテムをもってくるんだよなぁ。なにかありゃー「またねずみ男のしわざかー！」って頭ごなしにどなるし。

ほんと、こえーババアだぜ。







調査書3

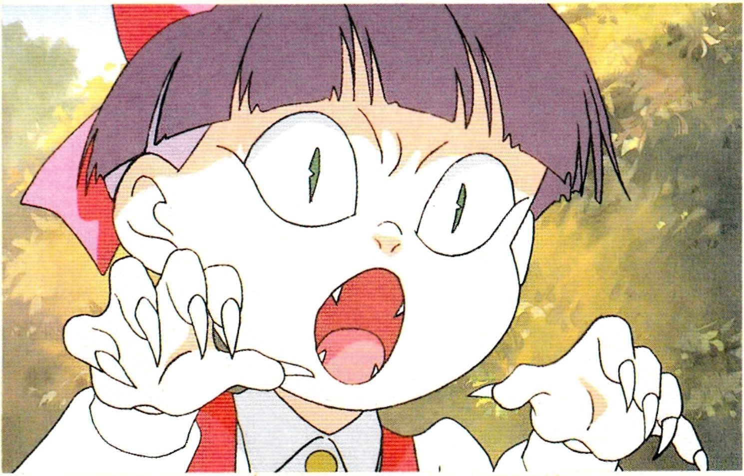
子泣き爺

スキ	ニガテ
酒	ほうこう

こいつは人間の背中にのって、石なみに重くなる、いたずら好きの爺さんだ。鬼太郎の仲間になってからは、いろんな妖怪相手に奮闘してるようだが、経験ゆたかなおれさまの判断からすれば、せいぜい人間相手に一生遊んでなってとこだよな。

誘惑に弱くて、酒なんか出せばホイホイついてくる。この世はいいヤツほどバカをみるっていうから、おめーたちも充分注意しなよ。

調査書4	ねこ娘	スキ	リボン
		ニガテ	?



ふだんはカワイイ女の子なのによお。これじゃぁ妖怪顔負けだぜ。おっと、いけねぇこいつもれっきとした猫族の妖怪だった。

歯をむき出して、鋭い爪で顔をひっかくのが得意技だ。前にばけ猫にマタタビが効いたから、もしかしたらこいつにも効くかもしんねぇよな。

どーでもいいけど、この顔見せるときって、たいていおれさまに対してなんだよな。かんべんしてくれよ。



調査書5

一反木綿

スキ	鬼太郎？
ニガテ	百々じい

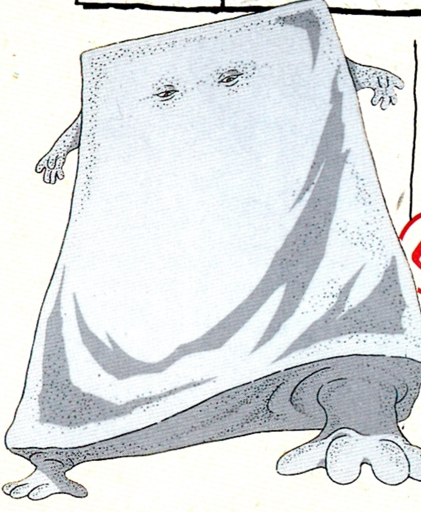
こいつに体をしめつけられて何度窒息死しかけたことか……。でも、しょせんただの布っきれだから、これがまたカンタンに破けんのよ。

ビ

調査書6

ぬりかべ

スキ	？
ニガテ	妖怪自動車



まあ、でっけえコンクリートの固まりってとこだな。こいつがとつぜん出てくると、心臓が止まりそうになるね。動きのニブさは天下一品ってとこだな。

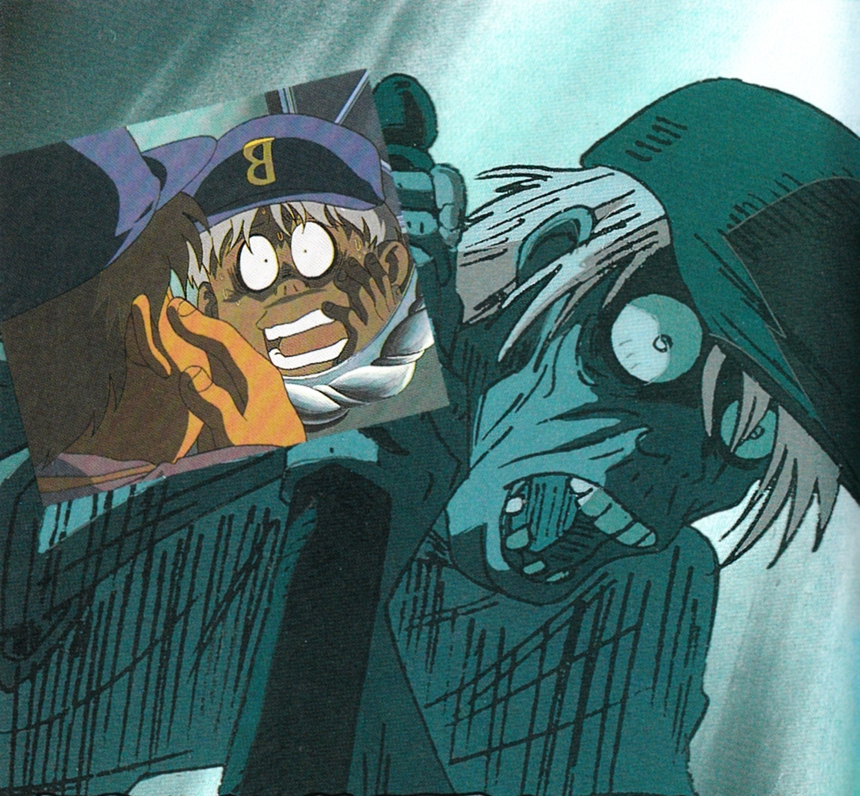
ビ



妖怪チーム
おまちかね！'97年春に上映された東映アニメフェアの鬼太郎最新作をドーンと紹介するよ!!
さあ、いかいかいか、ぐあいはいか？


ゲゲゲの鬼太郎
きたろう
おばけナイター
ブータレーズ


どんなヘタクソな
バッターも
このバットを
使えば
ホームラン王に！



妖怪の、妖怪による
妖怪のためのバット

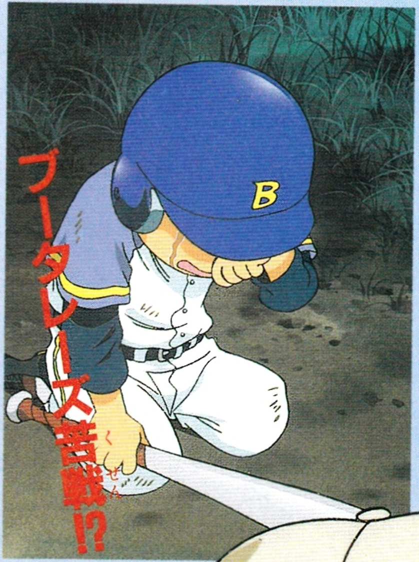
もし、カンタンに天才になれたら……、有名人になれたら……、スポーツマンになれたらと、一度は考えてみた経験がないだろうか？

この春に上映された、『ゲゲゲの鬼太郎 おばけナイター』は、そんな人間の思いをするどく突いた、とってもコワ～イ作品なんだ。

野球が好きだけどヘタクソな少年の三太郎。彼がひょんなことから手に入れたバット、それは誰でもホームランが打てるという幻の〝妖怪バット〟だったのだが……。

妖怪チームVSブータレーズ

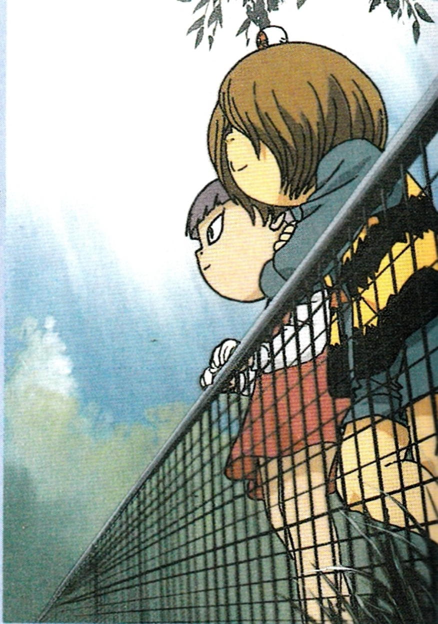
少年野球チームのブータレーズは、妖怪バットを手に入れたために、魂をかけて鬼太郎ひきいる妖怪チームと対戦することになった。





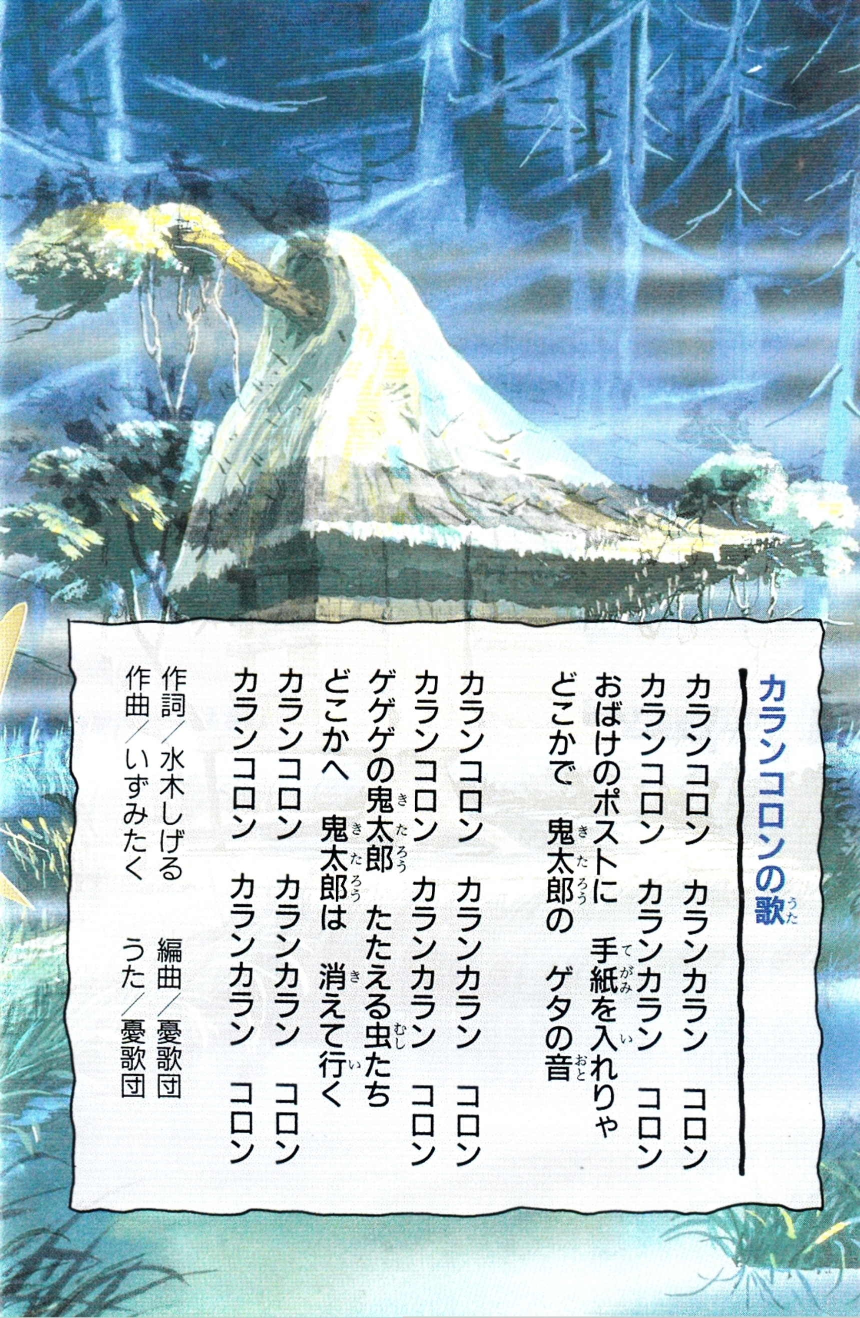
その後、ブータレーズは…

初めて死にものぐるいでプレイした弱小チームのブータレーズは、あれからどんな試合をしているのだろうか？
まだまだ試合に勝つまでの道のりは遠くても、チームワークをたいせつに、みんなきっと、ガンバってるはずだよね！





くわしくは128ページへ！



カランコロンの歌

カランコロン　カランカラン　コロン
カランコロン　カランカラン　コロン
おばけのポストに　手紙を入れりゃ
どこかで　鬼太郎の　ゲタの音

カランコロン　カランカラン　コロン
カランコロン　カランカラン　コロン
ゲゲゲの鬼太郎　たたえる虫たち
どこかへ　鬼太郎は　消えて行く
カランコロン　カランカラン　コロン
カランコロン　カランカラン　コロン

作詞／水木しげる　編曲／憂歌団
作曲／いずみたく　うた／憂歌団


エンディングテーマ
カランコロンの歌

鬼太郎グッズ大公開

新しい鬼太郎グッズが続々と発売されているよ。楽しいオモチャやCD。そしてコワ〜イゲームまで、いろんなアイテムを紹介するからチェックしてね！

CD　㈱ワーナーミュージック・ジャパン

ソングコレクション（第１集）—WPC6-8260　2,427円



鬼太郎の仲間たちが熱唱！

おまちかね！　鬼太郎のソング集がついに出たよ。おなじみのオープニングテーマをはじめ、エリートの歌や皿小僧の「ぺったらぺたらこ」といった、歌自慢の妖怪たちの貴重な曲も収録されているぞ！

おすすめの歌は「目玉おやじの妖怪数え歌」かな？

ゲゲゲの鬼太郎〜おばけナイター〜
劇場版オリジナルサウンドトラック—WPC6-8287　2,427円



あの感動をもう一度……

きみはこの春に上映された、映画「ゲゲゲの鬼太郎　おばけナイター」は観にいったかな？　このCDには映画で使われた曲全部と、さらに新曲「ゲゲゲの応援歌」が収録されているよ。観た人も観てない人も、鬼太郎ファンなら絶対ほしい１枚だよね！

※このコーナーで紹介した商品の価格には、消費税は含まれておりません。

ゲゲゲの鬼太郎



プレイステーション——6,800円

主人公のきみが、事件を探り、解決していく、アクション・アドベンチャーゲームだ。舞台は昭和30年代の日本。人間の欲から出現してしまった悪い妖怪を、きみを見守る鬼太郎たちと共に倒そう。

ゲゲゲの鬼太郎「幻冬怪奇譚」



セガサターン——6,800円

鬼太郎を主人公としたテキストアドベンチャーゲーム。姥捨村の和尚から事件の知らせが届いた。その謎の解き方次第で、さまざまなストーリーが展開されていくよ。

ゲゲゲの鬼太郎「妖怪創造主現る!」



ゲームボーイ——4368円

妖怪が引き起こした事件を鬼太郎が解決するというR・P・G。敵を倒したり、仲間の協力を得ながら数々の謎を解こう。仲間になった妖怪は、妖怪図鑑に登録されるぞ!



事件の解明にしのびよる恐怖

オモチャ ㈱バンダイ

ゲゲゲボウリング

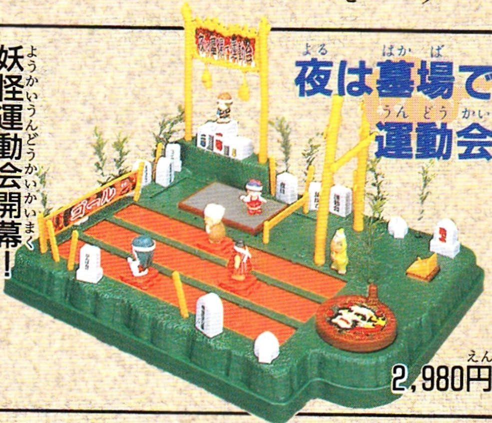
3,980円



めざせストライク！

ＣＭでおなじみのゲゲゲボウリングはきみも知ってるよね。玉の役目は目玉おやじ。それを鬼太郎がピンに向けて投球！親子の息のあったプレイでストライクをガンガン取ろうね！

夜は墓場で運動会



2,980円

妖怪運動会開幕！

これがあれば、あの妖怪運動会が体験できるよ。徒競争にむかで競争、高飛び、幅跳びなどが楽しめる。くら〜い部屋でゲームをすると、遠くからゲタの音が聞こえてくるかも…。

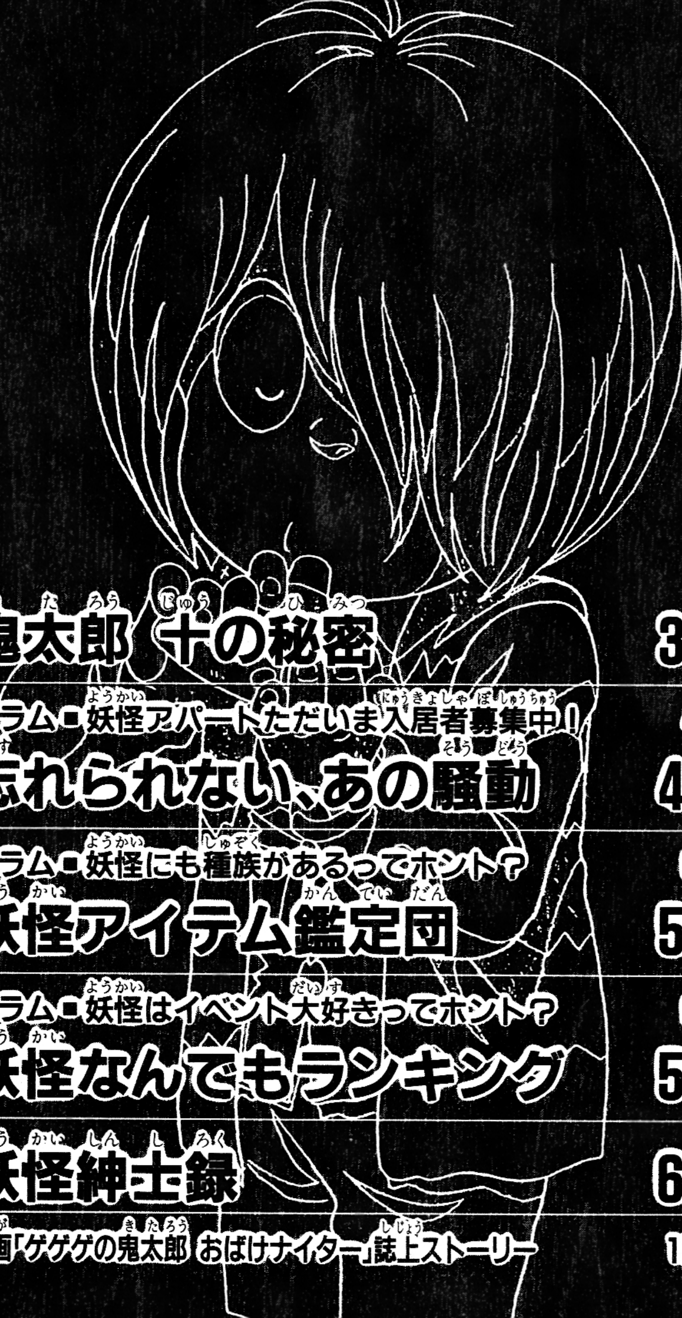
ゲゲゲファミリー

1,480円



ゲゲゲファミリー

みんながまってたゲゲゲファミリーのとっておきアイテムが登場したよ。この人形には、一体一体に磁石がついていて単独で遊ぶことができるんだ。みんなで遊ぶのにピッタリだよね！



ここまでわかった！

鬼太郎十の秘密



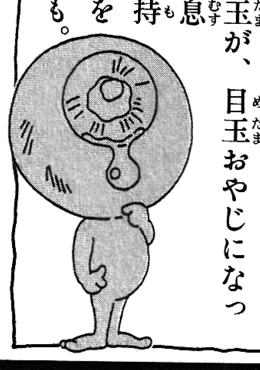
鬼太郎がどうやって生まれ、どうやって妖怪と戦ってきたのか、きみは知ってる？　え、当然だって？　まあまあ、まずは鬼太郎について調べたとっておきの秘密を、バッチリ教えよう！

一 鬼太郎の正体は？

鬼太郎は、人間のいなかった時代から地球に住んでいた『幽霊族』とよばれる種族の、最後の生き残りだ。幽霊族は、ふえ続ける人間により居場所をうばわれ、鬼太郎の両親を残して絶滅してしまった。そして、体の弱っていた母親も、ついに死んでしまう。鬼太郎は、埋められた母親の墓穴から、自力ではいだしてきたともいわれている。筋金入りの生命力は、赤ん坊のころからあったのかもしれない。

二 目玉おやじはなぜ目だけなの？

鬼太郎の母親が死んだとき、実は父親も死んでいた。その死体から流れ落ちた目玉が、目玉おやじになったらしい。息子を想う気持ちが、奇跡をよんだのかも。



三 鬼太郎の家はどこ？

鬼太郎の家は、『ゲゲゲの森』にある。場所はどこかの山奥で、人間が地図もなしにいこうとすると、道にまよってしまう。



四 鬼太郎は、前髪がうっとうしくないのか？

鬼太郎のトレードマークともいえる長い髪の毛が、武器になることは知ってるよね。そう、鬼太郎がもっとも得意な『髪の毛バリ』は、この長い髪あっての技。

また、レーダーの役目をもつ『妖気アンテナ』も、なくてはならない能力だ。これほどの霊力を秘めた髪の毛がふつうの髪の毛であるはずもなく、実は鬼太郎の霊力の源はこの髪の毛らしいのだ。髪の毛がぜんぶなくなると鬼太郎は気力を失う、との説もある。



五 なぜいつもチャンチャンコなの？

それは鬼太郎が貧乏だから、というのはウソで、幽霊族が死ぬまぎわに１本だけ残す『霊毛』であんだのが、このチャンチャンコだからだ。
先祖代々の願いがこもっていて、鬼太郎のお守りともいえる貴重なものだぞ。



六 ゲタしかはかないのは水虫予防のため？

そんなことはなくて、この『リモコンゲタ』も妖怪との戦いに欠かせないものだからだ。まくら返しが住む夢の世界へいく虹の橋は、これでしか渡れなかったりしたの、おぼえてる？



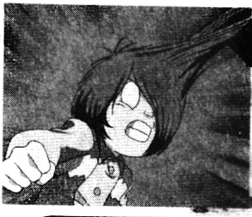
鬼太郎が霊力で自在にコントロールできるため、リモコンゲタとよばれるのだ

七 鬼太郎には、いったいどれだけの特殊な能力があるの？

カミナリ戦での放電能力や、おどろおどろ戦での吸血能力、水虎戦での冷凍能力（妖気冷凍）のほかにも、雪男一家戦で見せた、口からはき出す熱線など、鬼太郎の特殊な能力は、ちょっと数えようがないほど。きみも数えてみる？



吸血能力



放電能力



冷凍能力

八 鬼太郎の友人は？

鬼太郎の大事な友だちで、忘れてはならないのが、妖怪ポストの手紙を運んでくれるカラスたち。ほかにも、黄金虫にカブト虫がいる。幼なじみのねこ娘は、ガールフレンドってとこ？



九 鬼太郎は人間にもキビシイってホント？

そのとおり。指名手配犯は地獄流しの目にあわせたし、幽霊電車ではコブのお返しをした。ほかにも、毛羽毛現を怒らせた大臣と社長をビビらせたり、妖怪屋敷で人間を恐がらせたこともある。

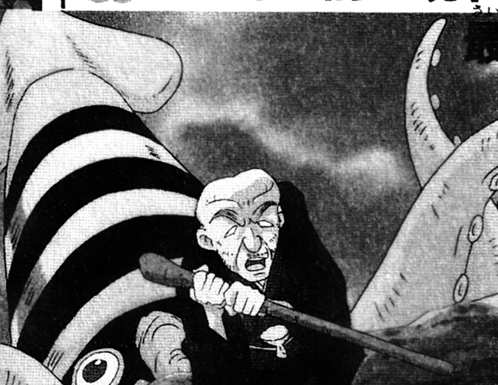


地獄流し



幽霊電車

十 鬼太郎の前に現れた最強の敵とは!?



そいつは、ぬらりひょんだ。妖怪の帝王になろうとたくらむ悪党で、鬼太郎は何度もヒドい目にあっている。この先も悪さをしかけてくるだろうけど、鬼太郎は負けないぞ！

妖怪コラム

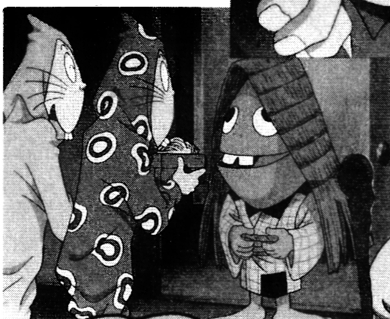
妖怪アパートただいま入居者募集中！



近ごろは、妖怪が隠れ住む場所も少なくなってしまったらしい。たしかにこれまでも、見上げ入道やかに坊主、毛羽毛現に泥田坊、雨降り天狗にカミナリと、住み処をうばわれたり荒らされたりして人間を襲った妖怪は多い。そんな、居場所のなくなった妖怪たちのため、砂かけ婆がゲゲゲの森に建てたのが、この妖怪アパートなんだ。

そんな妖怪アパートだけど、実は受難続きの建物だったりする。鬼太郎が妖怪ポリスに追われたときは、松葉を燃やすいぶし出しの目にあっているし、悪魔ベリアルに襲われたときはかたむいてしまった









鬼太郎と仲間たちに聞く
忘れられない、あの騒動

鬼太郎たちに突撃取材をして、心に残っている騒動を、こっそり教わってきたよ！



鬼太郎編



妖怪裁判にかけられたときはもうダメかと思いました

――鬼太郎さんの心に残った騒動といえば？

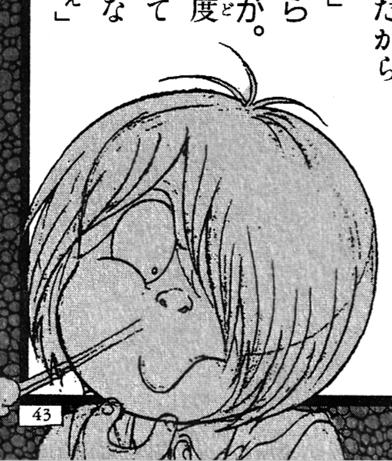
「やっぱり無実の罪をきせられた、妖怪裁判ですね。あのときぼくに代わって父さんが捕えられたんですけど、地獄絵図を取りもどせたのは、父さんが最後まで信じてくれたからだと思ってます」

――黒幕は、ぬらりひょんでしたが。

「あれ以来、何度も悪だくみをしてますけど、こりないヤツですよねぇ」



◀「逮捕されたときは驚かされました。なにしろ初めての経験ですから(笑)」



目玉おやじ編



「わしは、あまめはぎと戦ったときのことが、忘れられんのォ」

──それは、どうしてですか？

「鬼太郎のチャンチャンコでヤツが目を回したとはいえ、自分自身をコマにして、あまめはぎを妖怪ゴマに変える作戦、われながらよく思いついたもんじゃと思ってのォ」

──さすが、年の功ってやつですね。

「な、なんじゃとォ！」





▶「しかし、あまめはぎもかわいそうなヤツじゃ。物は大事にせんとな」

ねずみ男編



がんぎ小僧の命が助かって、おれさまも一安心てもんだい

「やっぱり、がんぎ小僧といっしょに河童村にいったことかな。おれさまがさら小僧の歌のテープをもってなければって思うとゾッとするぜ。で、取材のギャラって……ないの!? なんとかたのむよ、ケイブンシャさんよォ」





▶「おれのことを兄ィなんてよぶがんぎ小僧を、死なせられねえよなぁ」

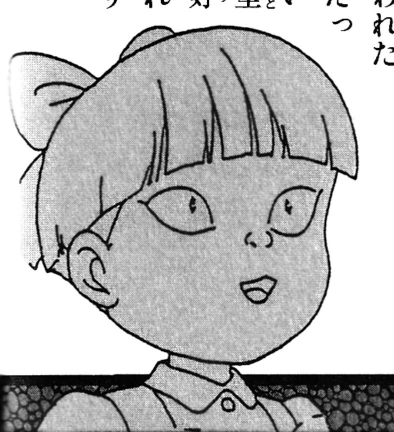
ねこ娘編



「あたし、里子ママを生き返らせてもらうために、えんま大王さまに会いにいったときのことが忘れられないな」

——ちょっぴり、悲しい事件でしたよね。

「そりゃ、あたしじゃ里子ママの寿命を変えられないっていわれたときはショックだったけど…でもいいの。マリさんは里子ママのこと大好きだったし、これでふたりが仲直りできたんだもん」





◀「大王さまは、ほんとにこわかった。でもいい人…って、人じゃないか」

砂かけ婆編



悪魔ベリアルに妖怪アパートが襲われたときはゾッとしたわい

「わしか…わしはやっぱり、わしのたいせつな妖怪アパートが襲われたときのことじゃな」

——ベリアルに？

「そうじゃ、ねずみ男が例によっていらんことをしたせいで、あんなやっかいなヤツが復活したんじゃったな」

——でも、アパートの修理やらせて。

「それは、当たり前じゃ。あいつのせいで、妖怪アパートがかたむいたようなもんじゃ」



◀「うわさには聞いておったが、こやつの西洋魔術はブキミじゃったのォ」



子泣き爺編



――子泣き爺さんは、どの事件を？

「なんじゃったかなあ……あいつらじゃったかな〜？ ま〜だ、かじられたとこが、ちょっと痛むんじゃよ」

――で、誰なんです？

「ほら、なんじゃったかのぉ、高校……じゃなくて、登校……でもなくて、下校……そりゃ違うな（笑）」

――ほうこうですか？

「それそれ。で、それがどうしたって？」



▶「こうして見ると、砂かけもなかなかにチャーミングかもしれんのォ」



一反木綿編



「おいどん、いつも鬼太郎どんたちを乗せて飛ぶばっかで、ツライとよ。あんた、わかっとるとね?」

——は、はあ、そうですか……。

おいどんはアッシーくんじゃなかとよ

ぬりかべ編



▶ぬりかべさんの言葉は解読不可能だったため、心に残る騒動はわかりませんでした

妖怪コラム

妖怪にも種族があるってホント？

鬼太郎が幽霊族という種族であるように、妖怪にも、それぞれの種族がある。

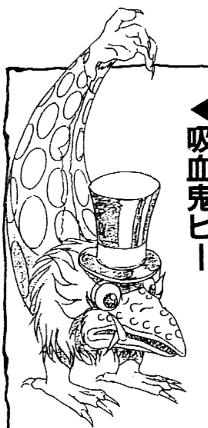
それは人間に、白色人種や黒色人種、黄色人種といった人種の違いがあるようなものだ。でも人間は、言葉や肌の色の違いしかないのに、妖怪は種族が違うと姿形も違うんだ。人間そっくりなねこ娘と、耳が立ってる猫仙人が同じ種族だというのがおもしろい。

そのためか、妖怪はそれぞれの種族別に『妖怪図鑑』にまとめられているらしく、ねこ娘は猫族妖怪図鑑をもっている。

■吸血鬼



▲吸血鬼エリート



◀吸血鬼ピー



▼おどろおどろ

エリートは最も高い位まで出世した吸血鬼で、その正体はコウモリ。ピーはイグアナの変化？　おどろおどろは人間だったので、吸血鬼とはちょっと違う

■天狗

日本を代表する妖怪だが、インドや中国などにも伝承はあり、牛鬼を封印した異国の神、カルラさまなどは、そういった国の天狗なのだろう。とにかく、実力者ぞろいなのはたしかだ

▼大天狗



▼天狗ポリス



雨降り天狗▼



▼からす天狗



■河童

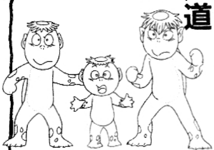
この種族も有名。皿のないがんぎ小僧の種族は、めずらしい

◀がんぎ小僧



▶一目入道





クッパ　パッパ　コッパ

■猫族妖怪

ばけ猫も、この種族。けっこう種類の多い一族かも

▶ねこ娘



◀猫仙人



▼猫又

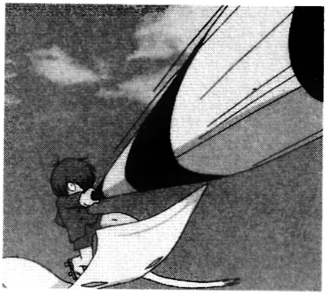


五ツ星評価による妖怪アイテム鑑定団



霊毛チャンチャンコ

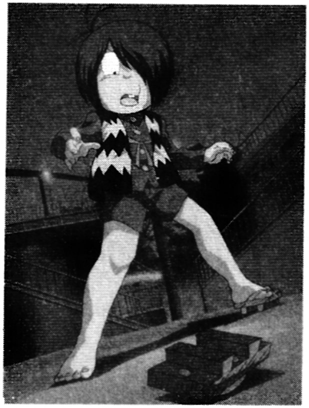
★★★★★



◀攻守にすぐれた万能アイテムで、これを着た傘化けは人間にばけたりできた

リモコンゲタ

★★★★★



▲鬼太郎の定番アイテム。ほしいが、ぼくらには自在にあやつれないのが残念、か？

地獄流し用ダイヤモンド

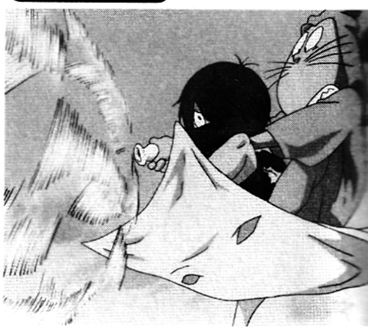
★★★★



▶鬼太郎の霊力倍増アイテム。道に落ちてても、危険なんで（大黒みたいに）拾わないように

狐封じの壺

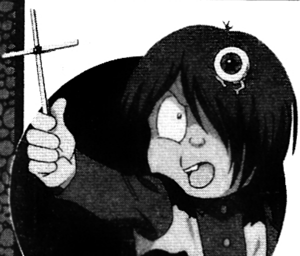
★★★



▲白山坊にツキをさずけてもらえるなら、もっていたいアイテム。でも、それはズルい

十字架

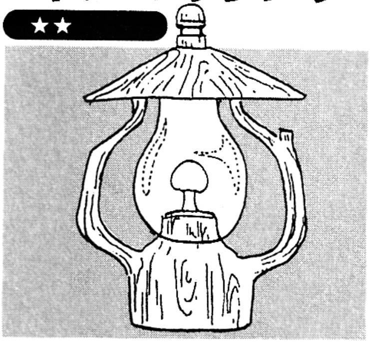
★



◀ニンニクと十字架は吸血鬼の苦手アイテムのはずなんだが、エリートには通用せず

キノコのランプ

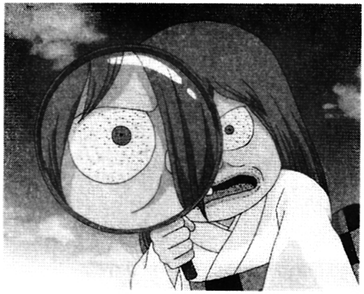
★★



▲ガマ仙人のアイテム。照らすにはガマ仙人の家の光るキノコが必要。要は、ガマ仙人しか使えない……

妖怪天眼鏡

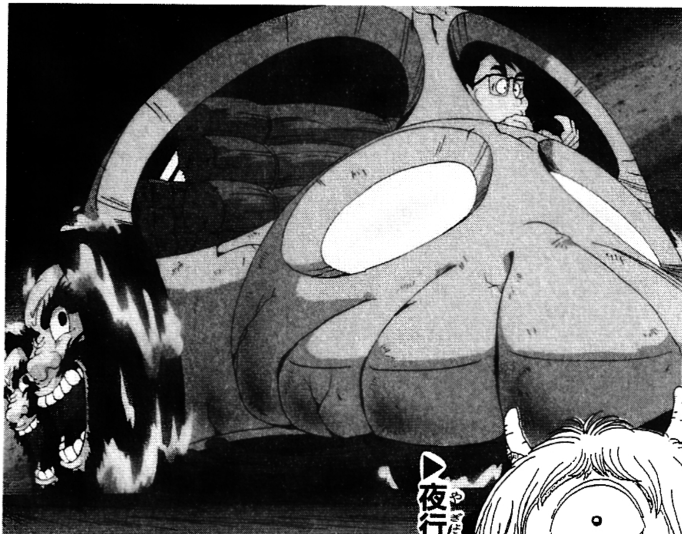
★★



▲砂かけ婆のアイテムで、野づちの体内が透けて見えた。ねこ娘の服が透けるのならほしい、との意見少数

妖怪自動車

★★★★



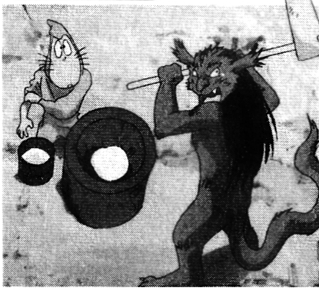
▲夜行さんの発明品で、あの世とこの世を行き来できる唯一の車。輪入道にそそのかされなければ、便利な品だ



▷夜行さん

杵と臼

★



▲火車のもち殺し用のアイテム。でも、魂なんて食べないぼくらは、もちつきにしか使えない

エリートのギター

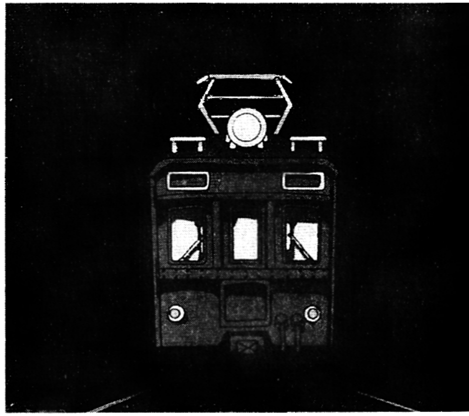
★★★★



▶吸血鬼エリートのアイテムで、催眠ギター曲を演奏できる。美女の血を吸いたい人には、いいかも

幽霊電車

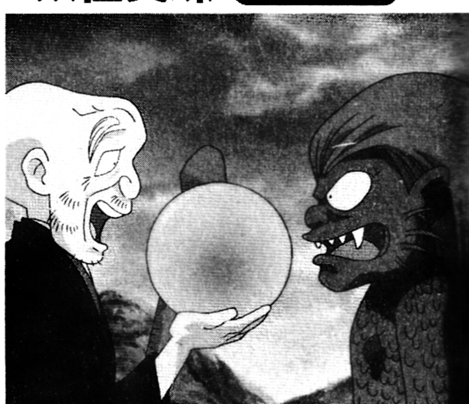
★★★★



▲イヤなヤツに仕返しするときには、ぜひほしいアイテム。ただ鬼太郎の霊力がなければ使えない、ただのボロ電車

妖怪真珠

★★★★



▲妖怪イカが産み落とすアイテム。これを妖怪灯台に装着すれば、世界中の妖怪を支配できる。ちょっと試してみたい

妖怪コラム

妖怪はイベント大好きってホント？

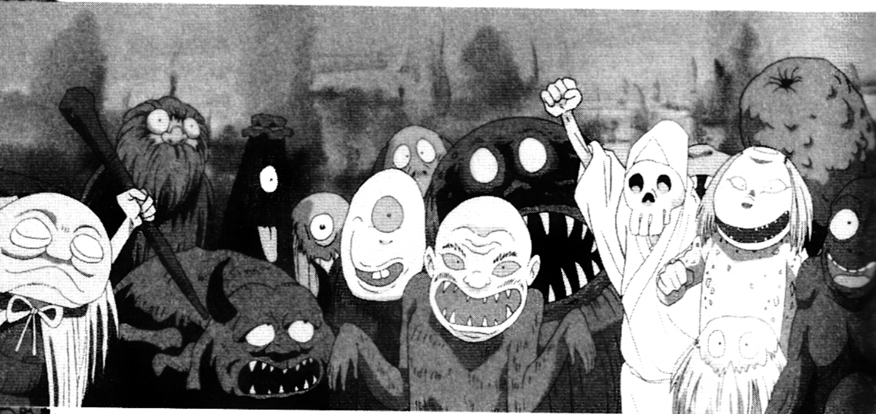
その昔、年に何日か、大勢の妖怪が街中を行進することがあったという。それを昔の人は『百鬼夜行』とよんで恐れたのだが、ここではそんな、現代の『百鬼夜行』を紹介しよう。

ほかにも、霊山ハイウェイを造って毛羽毛現を怒らせた悪い大臣たちをこらしめたときや、妖怪を信じない人間を驚かすため、ねずみ男の妖怪屋敷に集まったことだってある。ブータレーズとの野球の試合だって、そうだ。ふだん、人間に隠れてひっそりと暮らしている妖怪だけに、大勢で集まってワイワイ楽しむことが、大好きなのかも。



妖怪大運動会

秋のある日の丑みつ時（午前2時ごろ）、妖怪たちの運動会は始まるんだ。場所は、もちろん墓場。おはぎ食い競争は、カラシ入りの“あたり”もあったりして、超こわい



妖怪裁判

人間に裁判権があるように、妖怪にだってちゃんと裁判権があってビックリ。これは、鬼太郎が地獄絵図を盗んだ罪を裁かれたときのもの。なんだかみんなイケイケだけど、裁判みたいな行事までイベント化してしまう、妖怪にはまいりました

ほかにもこんなイベントがあるらしい…

妖怪縁日

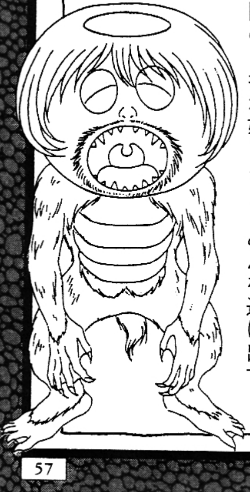
夜行さんの発明した人魂を閉じこめた風船が、よく売れるらしい

夜行さん▶



さら小僧のコンサート

山奥の川原で開かれる。ぺったらぺったらこ聴きたさに大勢の妖怪が集まるが、禁断の4番が始まると、みんな逃げ出す

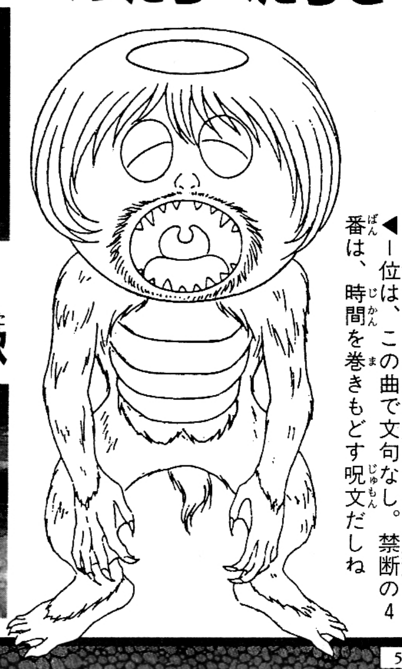


妖怪なんでもランキング

妖怪にはいろんな特徴があるけれど、これまで鬼太郎が、戦ったり出会ったりした妖怪たちの、特徴別ランキングを大公開しよう！

▶妖怪ソング　ベスト3◀

ベスト1
ぺったらぺたらこ



◀1位は、この曲で文句なし。禁断の4番は、時間を巻きもどす呪文だしね

ベスト2
吸血鬼エリートの歌



▶ブキミな催眠ギター曲は、耳に残るよね

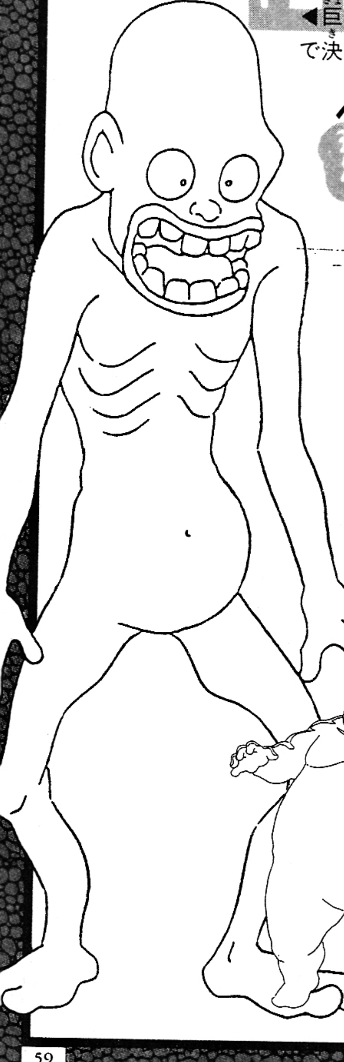
ベスト3
あずき妖怪コンビの歌



▶特に妖力を秘めてはいない人畜無害ソング

▶巨大妖怪 ベスト5◀

ベスト1 ダイダラボッチ



◀巨大な妖怪といえば、争いをしずめる伝説の巨人で決まり。なにしろ、島だって食っちゃうもんね

ベスト2 人食い島

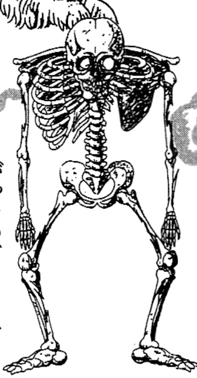


ベスト3 ゼオクロノドン



この巨大な妖怪たちが、もし都会のド真ん中で戦ったら……なんて考えてみるのもおもしろいかも。ぜひ、見てみたいよね

ベスト4 がしゃどくろ



ベスト5 合体泥田坊



▼頭脳派妖怪ベスト3▲

ベスト1 夜行さん



▲妖怪界の発明王こと天才・夜行さんが、間違いなしに1位。妖怪自動車のほかにも、鬼火の自動販売機なんて発明もあるしね

ベスト2 ぬらりひょん



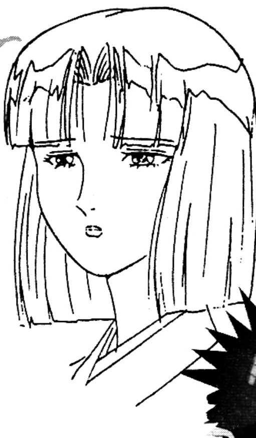
ベスト3 猫又



▼悪だくみが得意なぬらりひょんに、猫町をしきる猫又

▼妖怪美女ベスト3▲

ベスト1 吹き消し婆



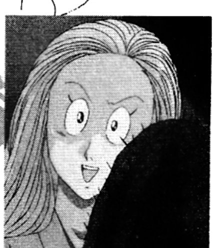


◀……ちょっと問題あるなあ。変身してるときは、女よりお金が好きなねずみ男も一目ぼれしたほどだけど

ベスト2 モンロー



ベスト3 後神



▼モンローは吸血鬼ピーの美人秘書。後神は本当の顔だと問題あるかも

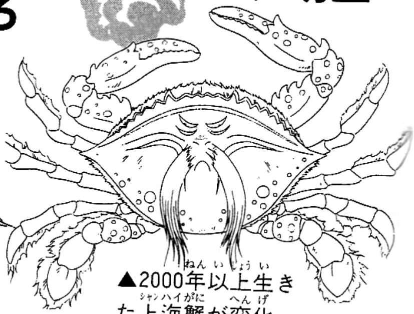
▶変化妖怪　ベスト6◀

ベスト1　牛鬼

▶変化妖怪とは、何かが妖怪に姿を変えたもの。だったら1位は、鬼太郎牛鬼で決まり

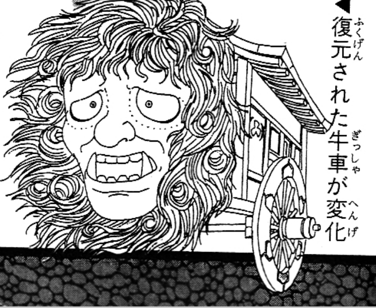


ベスト2　かに坊主



▲2000年以上生きた上海蟹が変化

ベスト3　おぼろ車



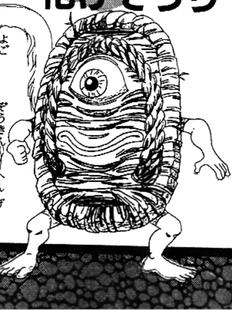
◀復元された牛車が変化

ベスト4　おどろおどろ



▲毛生え薬を飲んだ科学者が変化

ベスト5　化けぞうり



◀古い草鞋が変化

ベスト6　白うねり



◀汚れた雑巾が変化

▼炎の妖怪ベスト3▲

ベスト1 姥火



▲メラメラと嫉妬に燃える姥火の炎が、やっぱりいちばん執念深そうで、なんだか消えそうにない。だから1位は姥火に決定

ベスト2 輪入道



ベスト3 つるべ火



▼輪入道は、壊れても炎が輪をつないで再生する。つるべ火は、夜道も安心

▼グルメ妖怪ベスト3▲

ベスト1 のっぺらぼう



▶以前にやっていたそば屋は、うまいと評判だったし、いまは無農薬野菜を作ってるのっぺらぼうで決まり

ベスト2 さざえ鬼

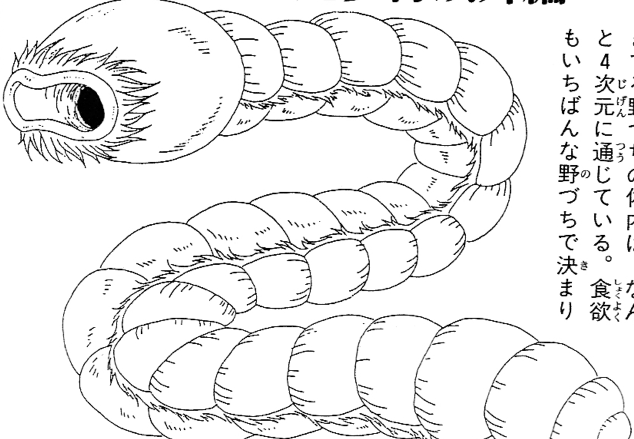


ベスト3 火車



▼さざえ鬼はプレスした鬼太郎を食った強者。火車はもち殺しで魂を食う

▶巨大妖怪　ベスト5◀
～二足歩行以外編～



ベスト1　野づち

◀物を吸いこむ本能だけで生きてる野づちの体内は、なんと4次元に通じている。食欲もいちばんな野づちで決まり

ベスト2　化け鯨



ベスト4　赤舌



ベスト3　蛟



ベスト5　くびれ鬼



▶鯨の墓場を守る化け鯨、水車エネルギーで疾走する赤舌、蜃気楼の蓬莱島を作る蛟、黄泉の国だと無敵のくびれ鬼と、強大な力を秘めた猛者ぞろい。これも、戦うところが見たい

▼異国の妖怪ベスト3▲

ベスト1 悪魔ベリアル



▲黒魔術を使い、魔法陣でからす天狗を家ごと封印。さらに体を分解、増殖できるベリアルがいちばん。出身はポルトガル？

▼南方妖怪のアカマタはバルル島出身。ピーは東南アジア？



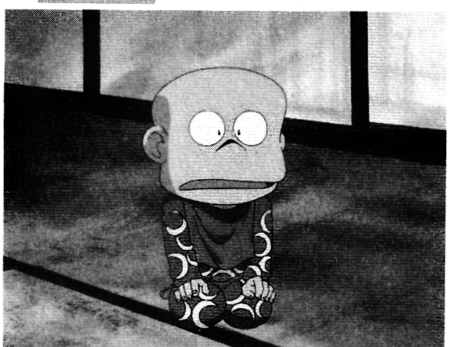
ベスト2 アカマタ



ベスト3 吸血鬼ピー

▼幸せをよぶ妖怪ベスト3▲

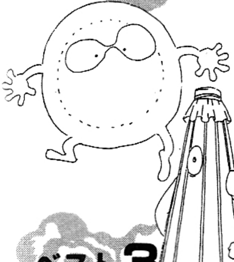
ベスト1 座敷童子



▲ここはやっぱり、人間につくして、その家を栄えさせるのが生きがいという座敷童子で決まり。わが家にもきてほしい……

▼オバリヨンは少女を、傘化けは未亡人を幸せにしたんだ

ベスト2 オバリヨン





ベスト3 傘化け

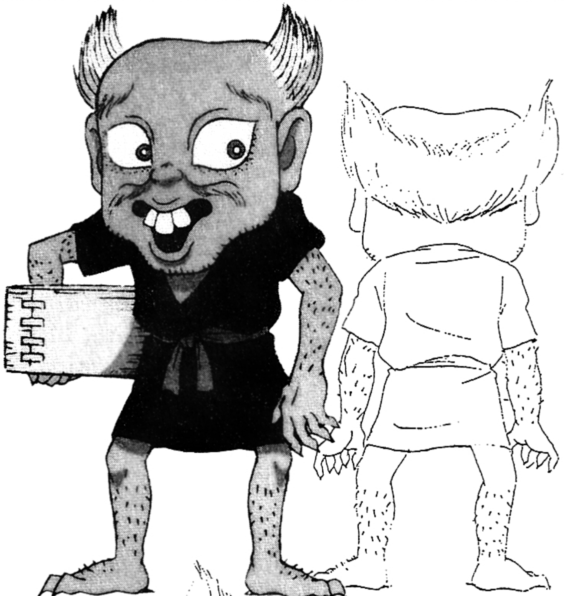
妖怪紳士録

第34話～69話までに登場した妖怪たちをまとめて紹介するよ！



あずきとぎ

第34、40話に登場



あずきをとがせりゃ超一流！

あずきをとぎながら「あずきとごうか、人とって食おか、シャキシャキ」と歌い、その歌を人に聞かせたい性格。誰も自分の歌を聞いてくれなくなったため、妖怪なのに鬼太郎へ手紙を出し、ねずみ男に紹介されて和菓子屋のあずき職人になる。

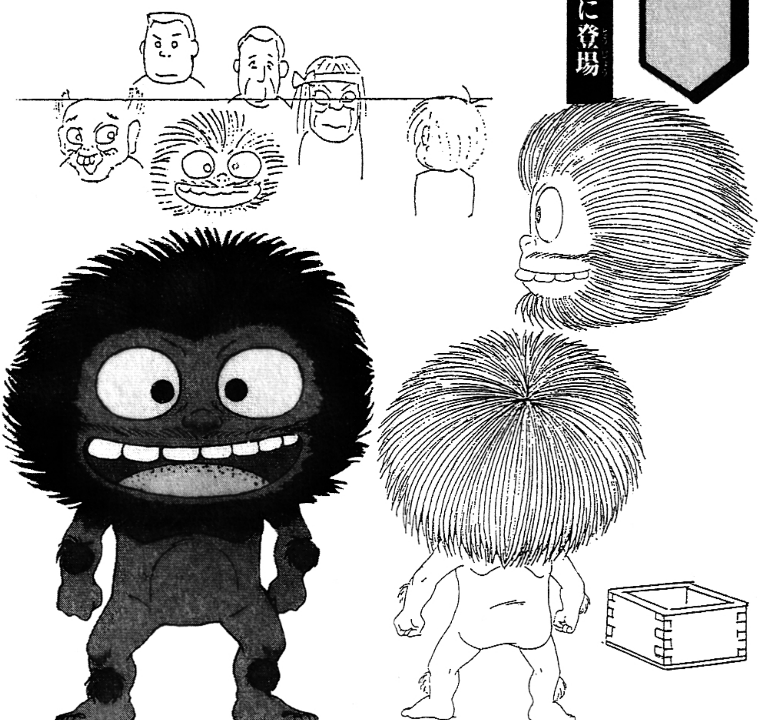


あずきはかり

第34、40話に登場

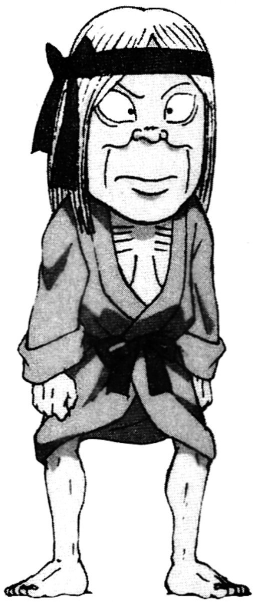
あずきを計る名人だ！

和菓子屋で働くあずきとぎのウワサを聞いてやってきた。そして、あずき妖怪コンビとして評判になる。持ち歌は「あずきはかろか、人とって食おうか、ジャリジャリ」という歌詞。でもあずきとぎと同じように、人を食ったことはない。



あずきばばあ

第34話に登場





ばばあだけれど気は若い！

見せ物になったあずき妖怪コンビに腹を立て、妖怪の怖さを取りもどすために、彼らをけしかけた。まきちらしたあずきから芽をのばし、それで相手をからめとったりする。その隠れ家に、杵と臼があったことから、いつもあずきをひいている妖怪なのだろう。

おりたたみ入道

第36話に登場



▲つづらの中からは、なんと巨大なおりたたみ入道が！



つづらの中の食いしん坊！

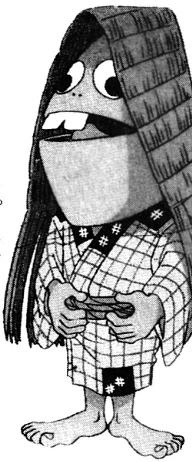
以前、山奥でむじなに助けてもらい、子分になった。

ふだんは紙のような下半身を蛇腹におりたたんでつづらに入っているが、好物の妖怪を食べるときは、つづらからのびて、ペロリと飲みこんでしまう。

呼子

第36、40、44話に登場

妖怪アパートの住人・その1



山彦を返す妖怪。妖怪アパートに住んでいるため、おりたたみ入道に食われたり、ベリアルにビビらされたり、よく災難にあう。トホホ。

油すまし

第36、40、44、46話に登場

妖怪アパートの住人・その2

油をなめる妖怪。呼子ともどもめだった能力、めだった活躍はない。ただ、妖怪裁判のとき、鬼太郎を非難してたぞ、こいつ。



むじな

第36話に登場



ねずみ男の弟、その正体は?

誰にでもばけることができるらしく、ねずみ男の弟になりすまして、妖怪アパートの住人になった。
そして、おりたたみ入道に妖怪を食わせ、自分は砂かけ婆の宝をネコババしようとした。尻尾をにぎられると、むじなの姿にもどってしまうのが弱点。



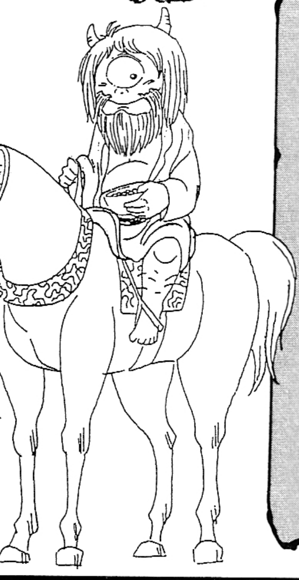
夜行さん

第37、40、46、47話に登場



妖怪界の発明王！

妖怪研究所で発明にとりくんでおり、その最高傑作は妖怪自動車。キーの形から、その自信作ぶりがうかがえる。また、首なし馬が愛馬らしく、出かけるときはよく乗っている。さらに、妖怪検事の肩書きももっている、妖怪界の文化人……？



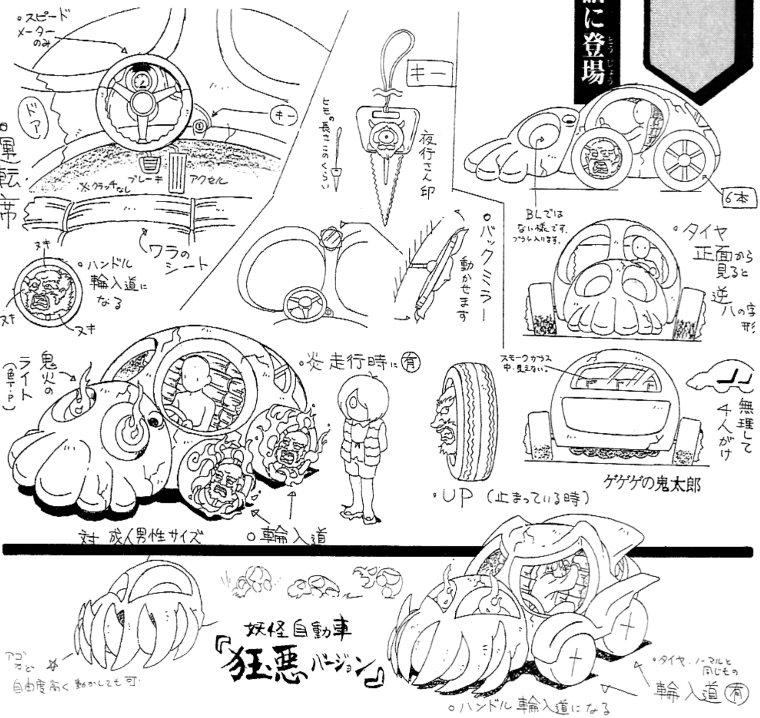
▶首なし馬

妖怪自動車

霊界街道を突っ走る!

第37、62、64話に登場

あの世とこの世を行き来できる、ただひとつの車。夜行さん印の、邪念が封印されているキーをぬくと輪入道に支配され、邪悪バージョンで暴走しだす。妖怪ラリーや、ばけ猫騒動で活躍したりと、鬼太郎の愛車？　とのウワサも。



おどろおどろ

吸血妖怪の意外な正体！

第38話に登場

怪しげな洋館にひそみ、満月の夜、長い髪の毛で相手の血を吸う妖怪と思ったら、その正体は、自分で発明した毛生え薬を飲んだ科学者（ハゲ）だった。そのため、人間にもどる薬を作ろうと、子どもを集めていたのだった。



白山坊

第39話に登場



ツキをさずけた見返りは…

神通力を使える古狐で、人にツキをさずけることができる。誰かにツキをさずけては、その見返りにもらった花嫁を食っていた、と思われる。封印するには狐封じの壺が必要で、これをかざして「白山坊、退散」の声をかけると、吸いこんでしまえる。



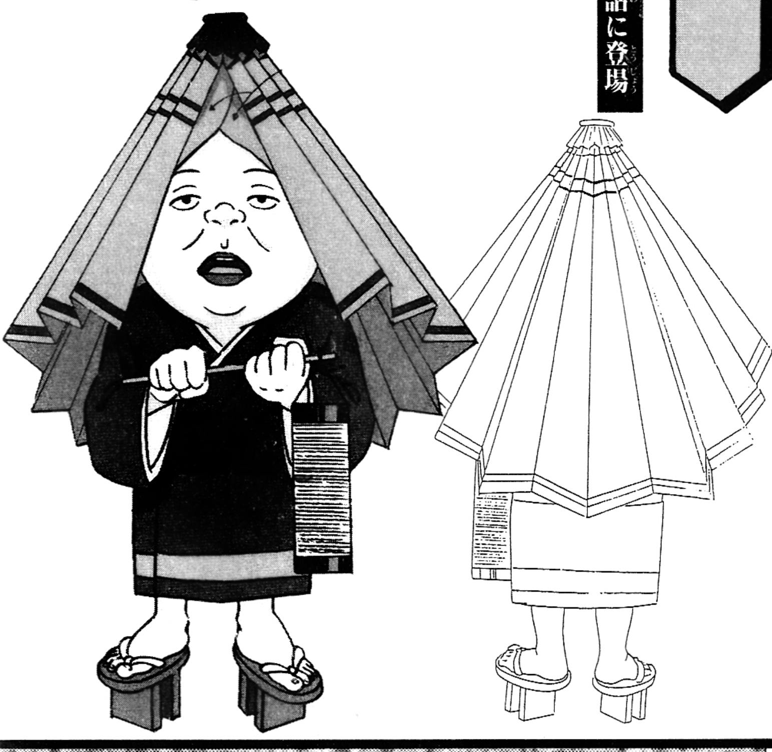
雨降り小僧

第40話に登場

提灯まわし、雨をよぶ！

人の願いを聞いて自由に雨を降らせてくれる妖怪。ただ、雨降り小僧に雨をたのんだ人間は魂を取られてしまうので、要注意。

雨雲は、手にした提灯をクルクルまわしてよび、提灯のロウソクを消すと雨は止んでしまう。

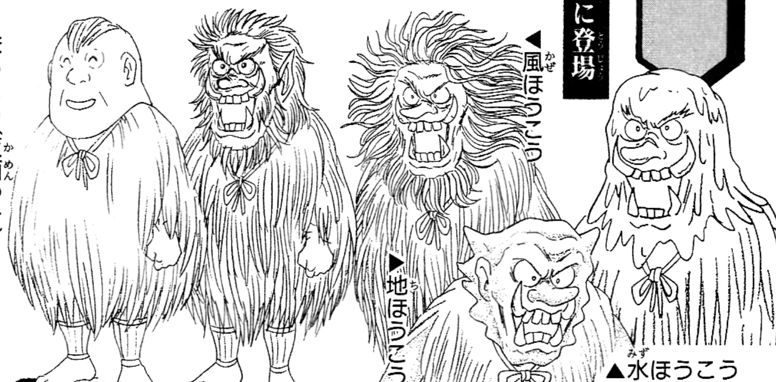


ほうこう

第41話に登場



▲鋭い歯でガブリ！　これでは子泣き爺も攻撃不可能



▲ほうこう（仮面つき）

▲風ほうこう

▲地ほうこう

▲水ほうこう

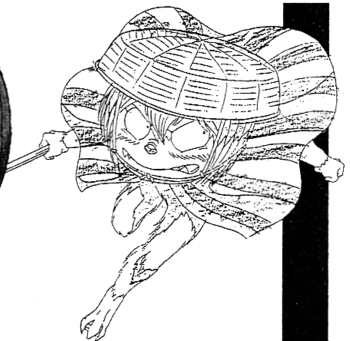
4つに分かれて襲いくる！

2000年以上たった木は妖怪になることがあるという。ほうこうは、そんな縄文杉が生み出した妖怪だ。口から出す毒牙は鬼太郎をしびれさせ、地水火風4体の攻撃も、それぞれ強力。漬物作りも一流の腕前。

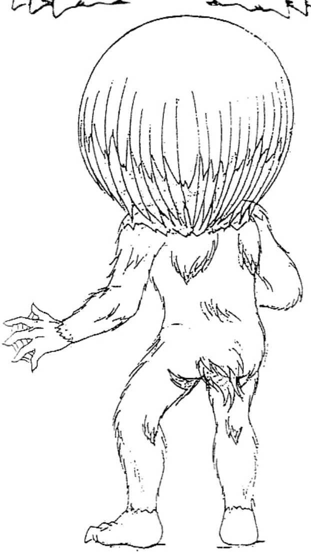
がんぎ小僧

第42話に登場









河童の仁義を見せてやる！

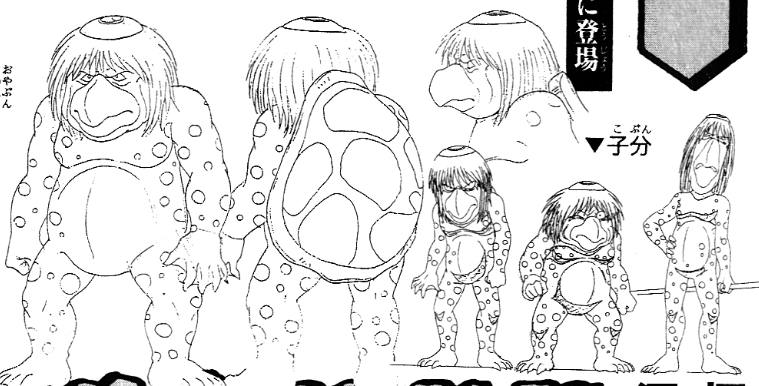
生まれはチョロチョロ川、特徴は三度笠と道中合羽という、天涯孤独の旅ガラス……じゃなくて、旅河童。以前、ねずみ男ににぎり飯をわけてもらったことがあり、それ以来、ねずみ男を兄ィとよんでしたっている。河童村に、助っ人にやってきた。

一目入道一家

第42話に登場



▲弱いものを徹底的にふみにじるいやなヤツらだ



極悪卑劣な河童集団！

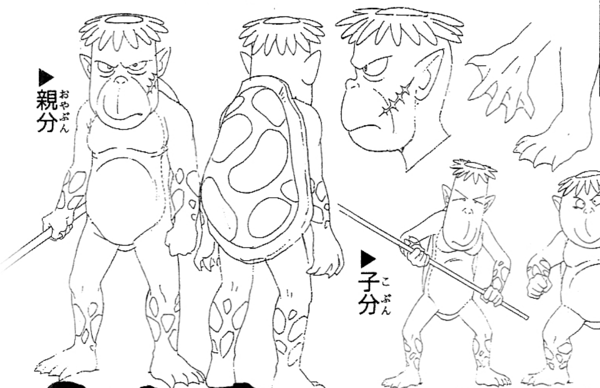
頭の皿に目ん玉のようなもようがある河童の一族で、河童の世界ではあばれん坊として有名とか。
平和な河童村に現れ、縄張りを広げるために悪さをしまくった。親分はじめ、人相の悪い連中ぞろいだ。

河童

第42話に登場



▲たいせつな仲間を傷つけられて無念の涙



河童村の平和を取りもどせ！

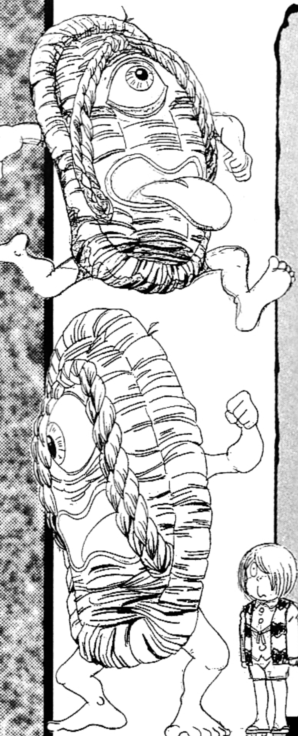
河童村で平和に暮らしている一族。その親分も、いまでこそ保守的な性格のようだが、左ほおのキズから、若いころの無茶ぶりがうかがえる。客人へのごちそうが、かっぱ巻きなのがさすが河童村といったところ。

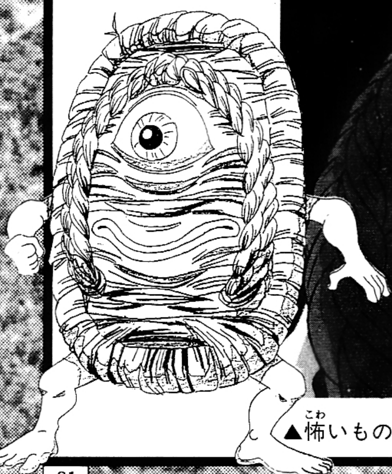
化けぞうり

古い道具をそまつにすると…

第43話に登場

あるおじいさんの古ぞうりの片方が、古道具を大事にしない人間に対して、復讐するために変化した姿。
もとにもどすには、もう片方のぞうりが必要だ。けっこうマヌケな一面もある。







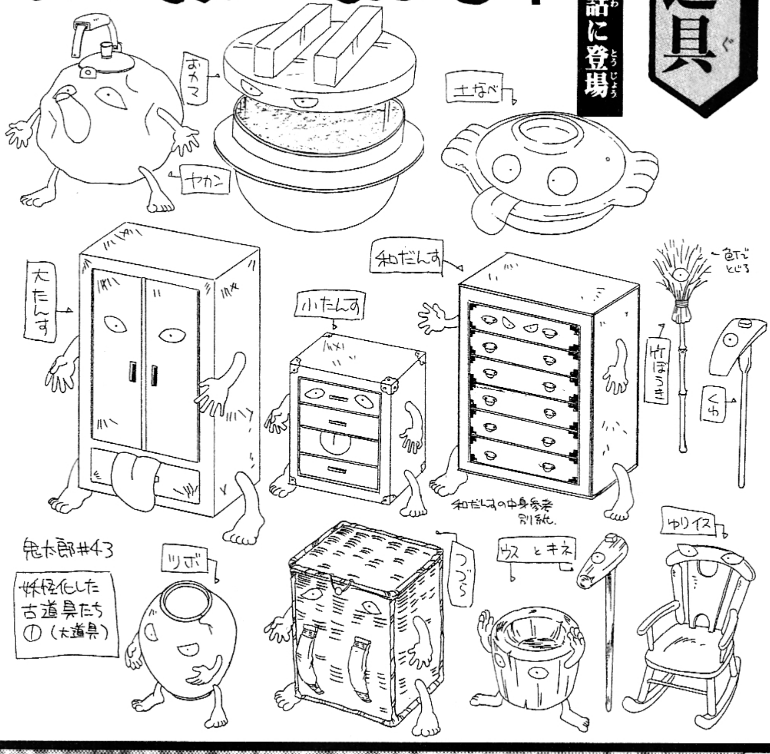
▲怖いものナシの巨大な化けぞうり

妖怪化した古道具

けっこうカワイイぞ！

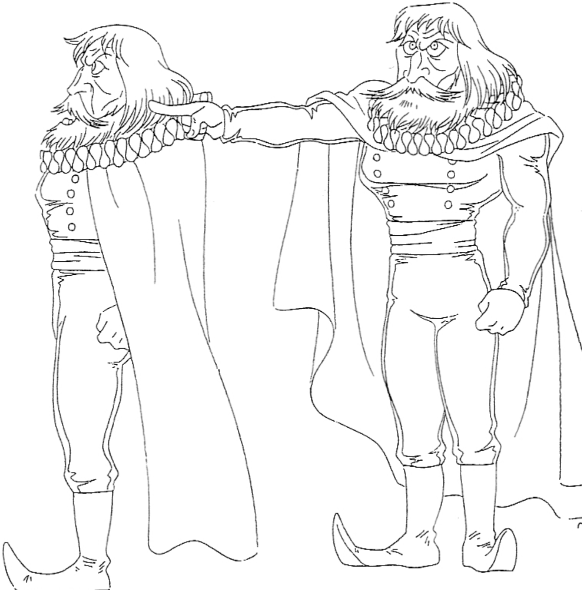
第43話に登場

捨てられて燃やされそうになった古道具たちが、化けぞうりの妖気を感じて妖怪変化したもの。化けぞうりにしたがって、なんだか楽しそうに人間を襲った、いわば化けぞうりの戦闘員……という説明でいいのか、この場合？



悪魔ベリアル

第44話に登場



西洋の悪魔、復活！

いまから140年前、黒船に乗って日本に現れたが、からす天狗によって力を封じこめられていた。以来、売れないマジシャンをしていたが、ねずみ男が封印をといたため力を取りもどした。最大の術、体を分解、増殖させる百倍・黒魔術はブキミ。

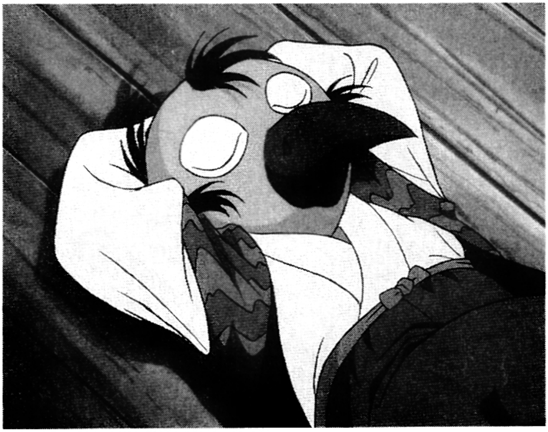


▲ベリアルの玉



からす天狗

第44話に登場



▲なにもない日はのんびりお昼寝



悪魔を封じた意外な実力！

140年前、ベリアルのパワーを、やさかりの玉に封じこめ、天道封印塔に埋めたほどの実力者。

だが、復活したベリアルの黒魔術で、のんきに寝ているところを家ごと封じこめられてしまった。

火車

第45話に登場



もち殺しで死人の魂を食う!

死人から魂をぬき取り、ぬき取った魂をもちといっしょについて食う妖怪で、その技はもち殺しとよばれる。意外に戦闘力も高く、集めた花びらを炎の輪に変えて相手を襲い、やられそうになると、相手の体と入れ替わることもできる。でも、異様に涙もろい。

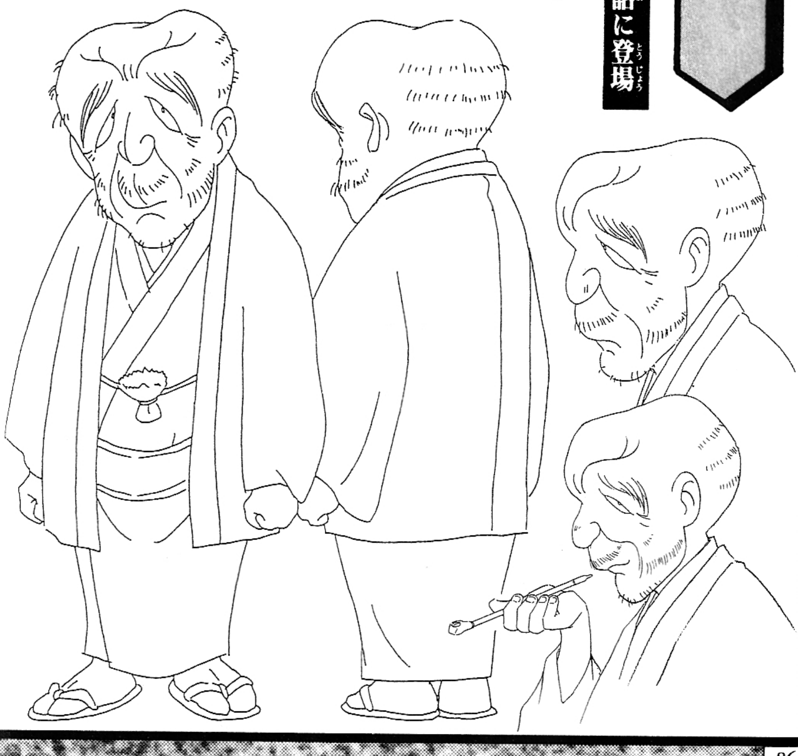


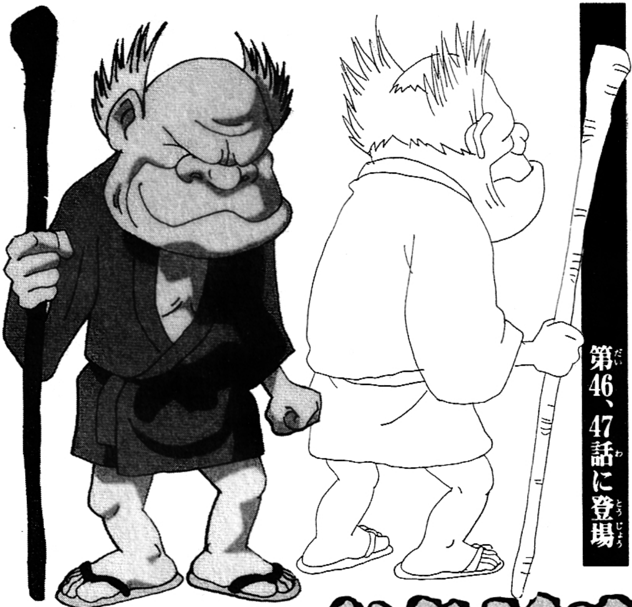
ぬらりひょん

鬼太郎をねらう悪党！

第46、47、54、60、64、69話に登場

妖怪弁護士の地位を利用して鬼太郎に無実の罪をきせた。その罰に、時代流しの刑を受けるが、鬼太郎をつけねらって、何度も現れる。ぬらりひょんの夢は、世界中の妖怪の帝王になることで、仕込み杖の腕前はなかなかのもの。





百々じい

第46、47話に登場

武器は鼻毛と鼻提灯！

妖怪界では評判の悪いオヤジで、ぬらりひょんに命じられ、閻魔大王庁から地獄絵図を盗み出した。鼻毛を針のように飛ばす鼻毛攻撃は、鬼太郎の髪の毛バリと互角の勝負で、鼻提灯にふくんだ毒気で、相手に自分の分身を見せる鼻モンモは、鬼太郎を苦戦させた。



大天狗

第46、47話に登場

厳しい目つきで厳しい判決！



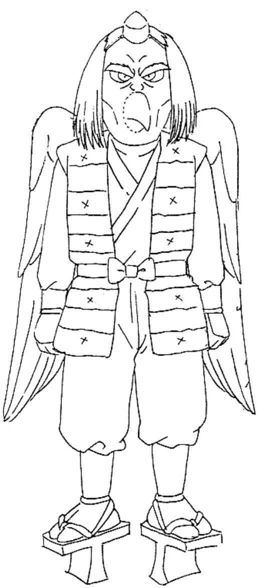
木槌を打つ仕草もかんろくタップリな、妖怪裁判所の裁判長。天狗は日本を代表する妖怪なので、こんな仕事についているのもなっとくだね。

天狗ポリス

第46、47話に登場

われら、妖怪界の警察官！

からす天狗の一族と思われ、背中の翼で空を飛ぶ。装備は六角の棍棒と、白蛇の手錠。目の色が赤く、ひとり高ゲタをはいているのが長官だ。



化けガラス

第46、47話に登場



▲妖怪ポリスたちがくると、鬼太郎に伝えたのだが…



天下無敵のフン落とし!

長寿のカラスが妖怪変化したもの。カラスの大群をひきつれて、百々じいの鼻モンモをあばいたフン落としは、ちょっと無敵かも?

後神騒動のときに鬼太郎を道案内したのは、別の化けガラスだったよ。

えんま大王

ウソをついたら血の池地獄じゃ!

第48話に登場

人の寿命は、このえんま大王に決められているそうで、見ためも威圧感タップリ。一声どなると地獄中はふるえ、この世にまで稲妻がはしるほど。目玉おやじや鬼太郎と、以前からの知り合いだったようだ。





▲あまりの迫力に鬼太郎たちもビックリ!?

赤舌

第49話に登場



▲体にためた水を水車のように出して走りぬけていく



▼あばれる前の赤舌



水を飲んで怒りの巨大化！

本来は北国のマリモのような妖怪だが、怒ると水を飲んで巨大になり、顔もゴツくなる。巨大化してからは地下を掘り進めるが、暑さと酸素不足が大の苦手。水を水車状に回転させての暴走が、最後の手段。

吹き消し婆

第50話に登場



▲すさまじい肺活量で何もかも吹き消してしまう



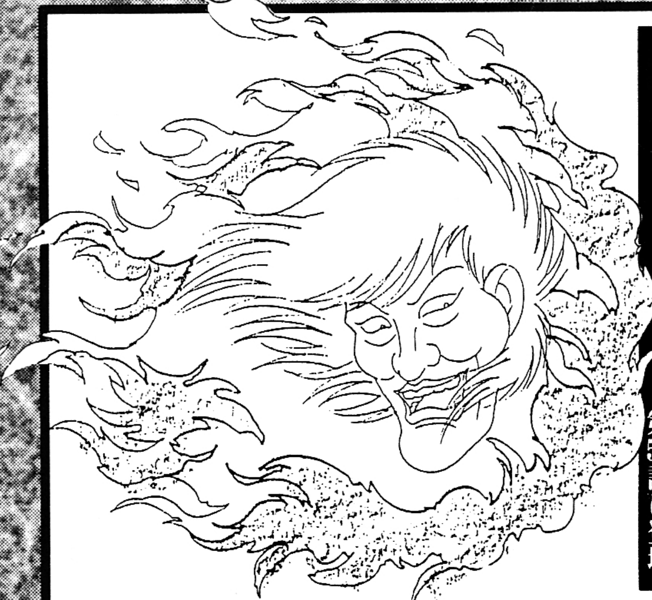
▶変身した吹き消し婆

ババアと思えぬすごい肺活量！

ロウソクの火を吹き消す妖怪で、砂かけ婆の茶飲み友だちではない。近ごろは電気ばかりで火を吹き消すことができず、そのストレス発散のため、クリスマスのロウソクを吹き消そうと、美女の姿で都会にきた。

姥火（うばがび）

第50話に登場



嫉妬に燃える連続放火魔！

昔、男に捨てられた女の情念がばけた妖怪で、仲のいい男女を見ると、炎を吹きかける。クリスマスに浮かれるカップルに腹を立てるあたり、気持ちはわからんでもないが……。

吹き消し婆の天敵のような存在で、夜の遊園地で一大バトルを演じた。





キツネ

大晦日の幻燈会へGO!

第51話に登場

雪深い山奥に住んでいる。鬼太郎たちとは、木の葉の手紙を送って大晦日の幻燈会に招待するほどの仲。耳シロ、シッポ、コンコ、3匹の子ギツネはイタズラ好きで、オバケにばけたりするけど、腕前はまだまだといったところ。



一本ダタラ

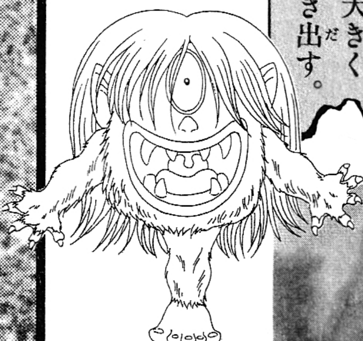
腹が減っては冬眠できず！

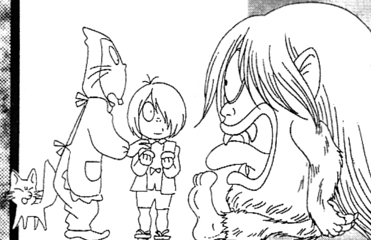
第51話に登場

めずらしく冬眠する妖怪で、冬眠を邪魔した3匹の子ギツネを食おうとした。腹が減るとねむれぬようだ。少々ねぼけた性格だが、それは寝起きだったため？大きく吸った息を、猛烈な冷気に変えて吹き出す。











▲洞穴で冬眠中のところを子ギツネたちに起こされた

あまめはぎ

第52話に登場



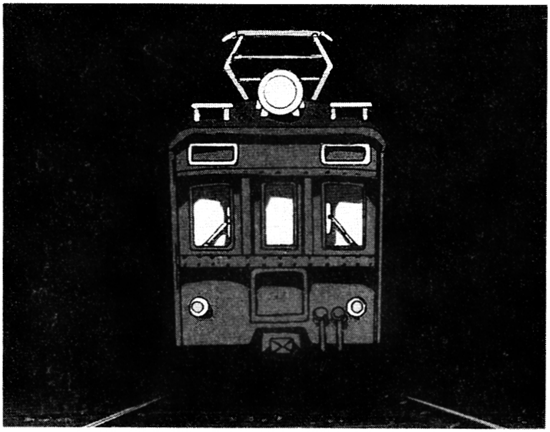
子どもを妖怪ゴマに変える!

妖怪ゴマを自在にあやつり、コマをそまつにした子どもたちをさらって、コマに変えた。本来は子ども好きな妖怪だが、500年前、コマに宿った自分を子どもたちにそまつにされ、以来、独楽神木でねむっていた。独楽神木は、コマを作るための神聖な樹。

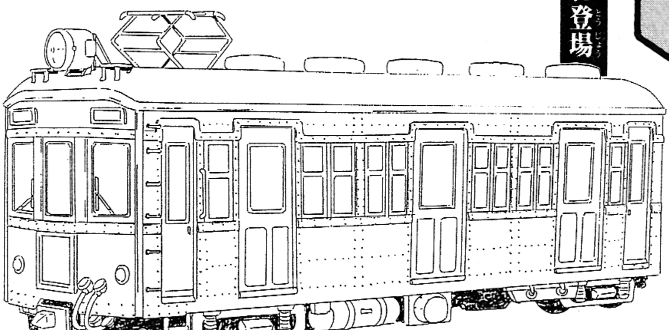


幽霊電車

第53話に登場



▲次の停車駅は「ほねつぼ〜、ほねつぼ〜」



霊園行の特別電車、それは…

4番ホームから出た電車は、臨終、火葬場、骨壺という、葬式と同じ順番の駅を通って、終点の墓場をめざす。この電車は、妖怪を信じない人間になぐられた鬼太郎が、コブのお返しに、霊力を使って見せたものだ。

邪魅

第54話に登場





毒気で人の心をゆがめる！

その昔、ガマ仙人に封じこめられ、ガマの姿にされていたが、鬼太郎親子をだまして封印をとかせ、復活した。しかも、口からはく毒気を吸いこんだ鬼太郎をあやつり、銀行強盗まで働かせる始末。かなりの悪党妖怪だが、その黒幕はぬらりひょんだった。



ガマ仙人

見かけ以上の仙術使い！

第54話に登場

森の奥にある、古い木をくりぬいた家に住んでいる。そこには光るキノコが生えており、それを使ったキノコランプで照らした場所に、杖で扉を描くといける異次元の森では無敵。鬼太郎にばけたが、年のせいか、腕前はイマイチ。



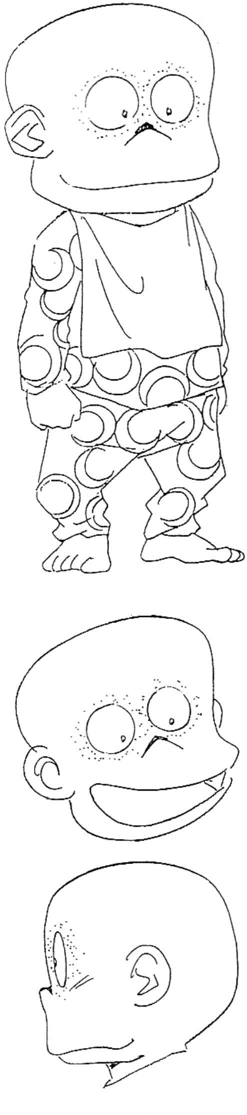
◀鬼太郎にばけたガマ仙人

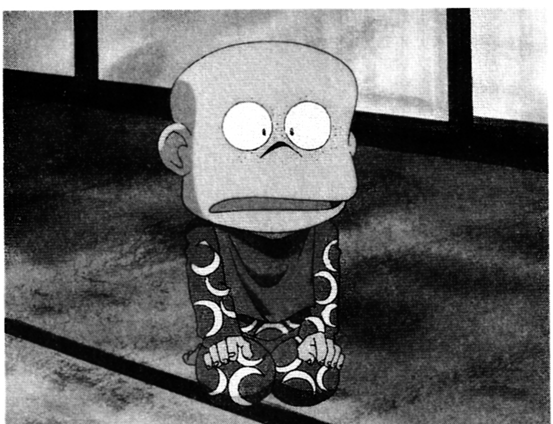
座敷童子

人を幸せにするのが生きがいッス！

第55話に登場

東北地方に住む子どもの妖怪で、人間につくしてその家を栄えさせるのが生きがいという、ぜひわが家に居ついてほしい妖怪。拭き掃除から、トイレ掃除、靴みがきに洗い物、おまけにお裁縫までやってくれる。

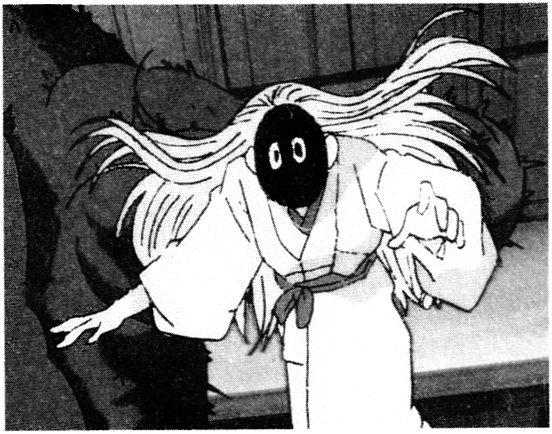




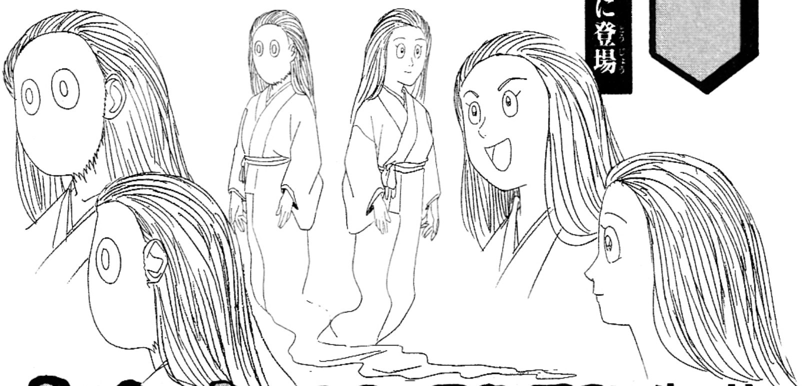
▲このとおり座敷童子はとても礼儀正しい妖怪なのだ

後神

第55話に登場

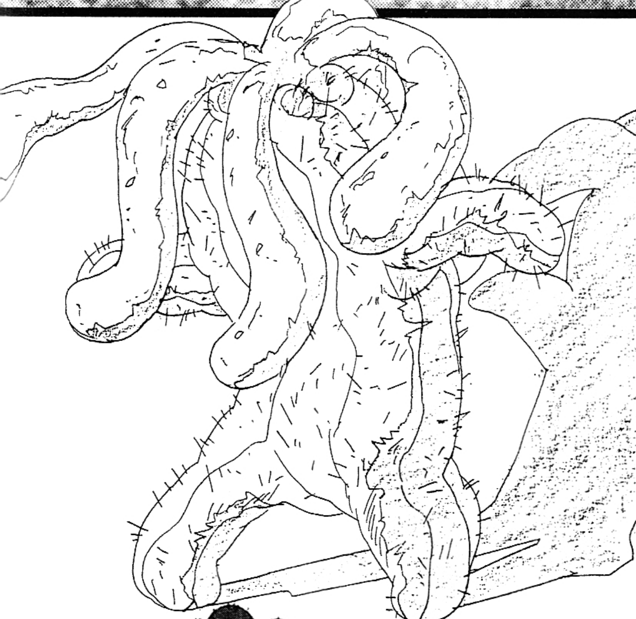


▲影と妖怪サボテンを自由にあやつる恐ろしいヤツ！



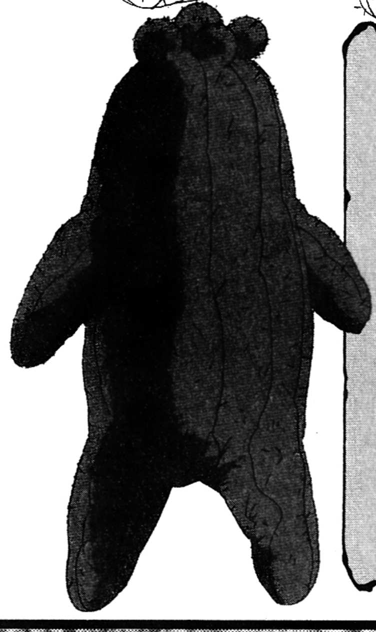
サボテン妖怪で生気をうばう！

家につく妖怪だが、座敷童子と違って、こいつがくると不幸になる。サボテン妖怪を使って人の生気をうばい、鬼太郎たちを影の世界にとりこんでたおそうとした。その正体は影の中で生きる妖怪で、光に弱い。



妖怪サボテン

第55話に登場



人を食べるとコブがふえる！

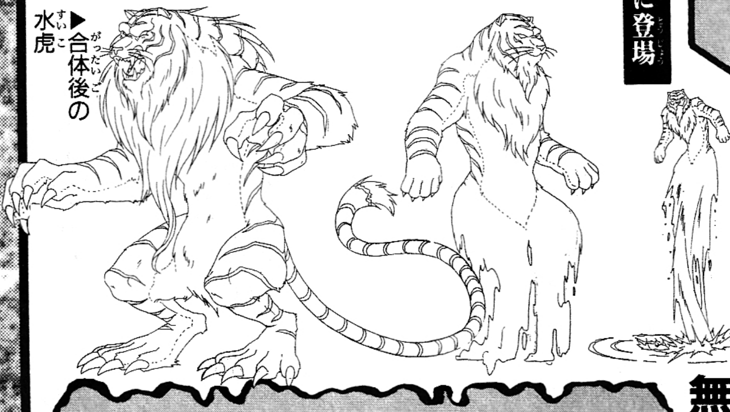
ふだんはサボテンの鉢植えだが、赤い妖気を発して花を咲かせ、そこからのびる花弁で人を呑みこんでしまう。そのたびにブキミにコブがふえていく。武器は、腕からとばすハリ。後神は美女にばけ、これを幸せのサボテンといって人に贈り、その家を襲っていた。

水虎

第56話に登場



▲女房と合体すれば、もう無敵同然



▶合体後の水虎

夫婦合体、無敵の水妖怪！

全身が水の妖怪。とても強く、大昔に現れたときは、妖怪族が総出で壺に封印した。封印が破られ、女房を求めてあばれた。女房を飲みこんでからは、下半身のある完全体になり、その力は爆発的に強くなる。

吸血鬼エリート

美女だけをねらう吸血紳士！

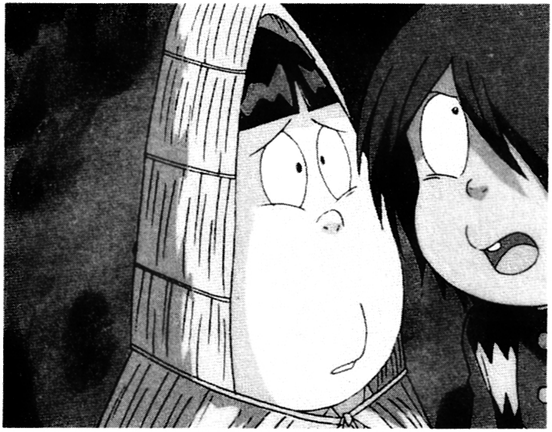
第57話に登場

1000年の時をかけて世界99カ国の天才美女の血を吸い、吸血鬼のなかでも、もっとも高い位に出世した。その正体は、タレ目の吸血コウモリだ。こいつのギターの腕前は超一流で、催眠ギター曲は鬼太郎さえも自由にあやつることができる。

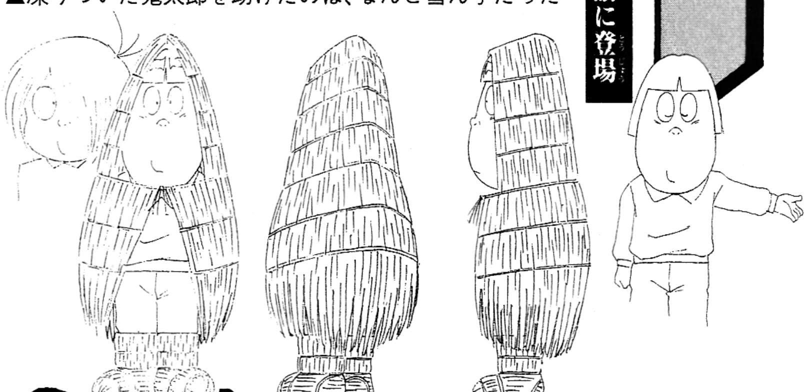


雪ん子

第58話に登場



▲凍りついた鬼太郎を助けたのは、なんと雪ん子だった



アイスキャンディーはいかが?

銀雪山に住む少女妖怪で、アイスキャンディーを売り歩いている。

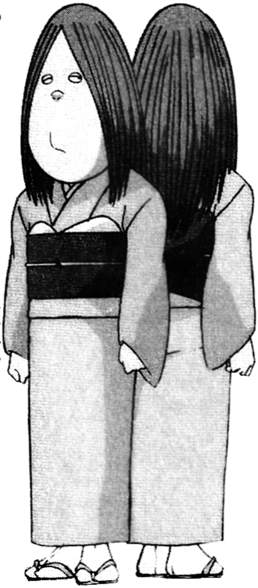
これを口にした人間は魂をぬかれ、一瞬で凍りつく。

キャンディーで村人を捕えていたのは、動物を殺す人間が許せなかったからだった。

雪女

第58話に登場

雪ん子はきっと母親似、かな?



雪ん子の母親妖怪。雪男と同じように、口から冷気を吹く。雪ん子一家は、鬼太郎の熱気をあびて溶けてしまったが、死んではいないそうだ。

雪男

第58話に登場

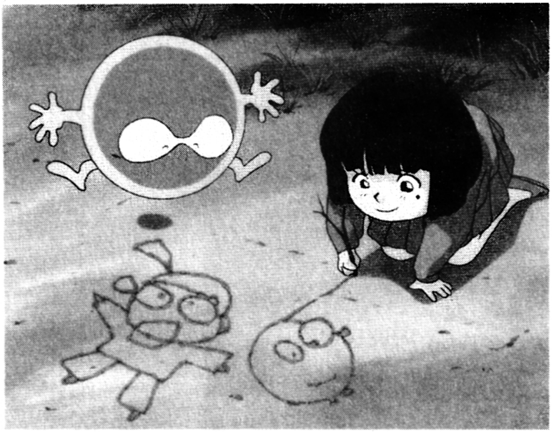
口から冷気を吹きかける!

雪ん子の父親妖怪。口からの冷気で相手を凍らせる。また、腕の力はかなりのもので、洞窟をたたくと、外の斜面にはなだれが起きるほど。

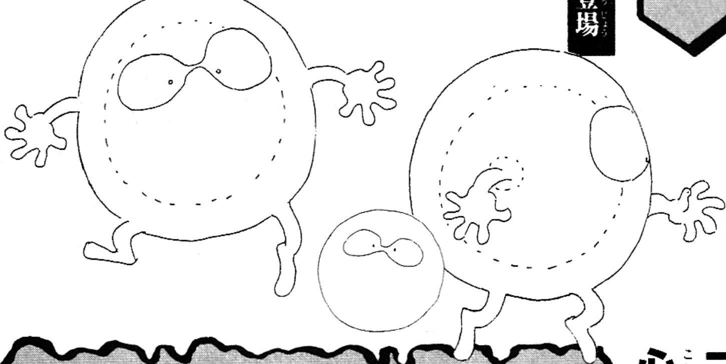


オバリヨン

第59話に登場



▲子どもと遊ぶのが大好きなやんちゃな妖怪だよ



フワフワ浮かぶ心やさしい妖怪

いつもフワフワ浮いており、さわるとやわらかそう。時間を飛び越える力がある妖怪で、30年以上も前に事故で死んだ幸美の願いをかなえようとする。それは、姉の佳枝とデパートや遊園地で遊ぶことだった。

岩魚坊主

第59話に登場

鬼太郎たちとは古い知り合い

人の寿命を読むことができる妖怪で、1日だけ、死人の魂が冥途にいくのを遅らせる力もある。ちょっとマヌケな顔からは想像もできない、エラ～イ妖怪、みたいだ。



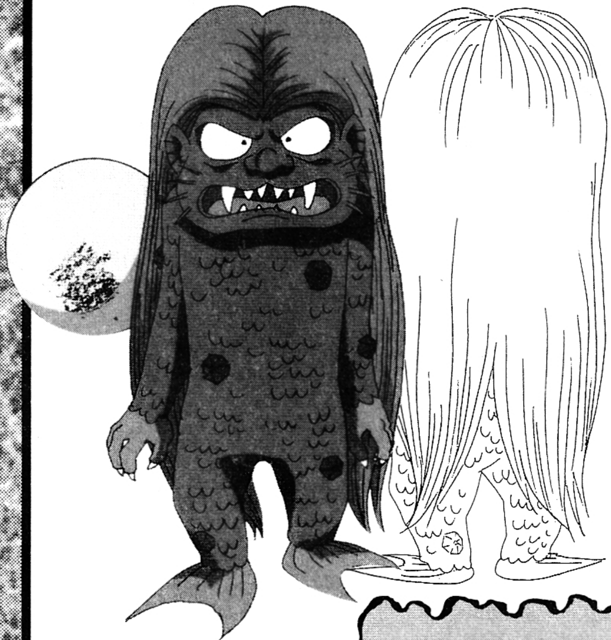




▲この岩魚坊主は人間の死期が近づくと現れるのだ

半魚人

第60話に登場



鬼太郎をだましたけれど…

口からはく紫の液体は毒をふくみ、これをあびせた鬼太郎を妖怪イカに食わせ、妖怪真珠を産み落とさせた。ただ、すべてはぬらりひょんに利用されたためで、最後は妖怪真珠をくだいて鬼太郎を助けた。体に深い傷を負っても、海の中で治せるらしい。



朱の盆

手下にめぐまれないと…

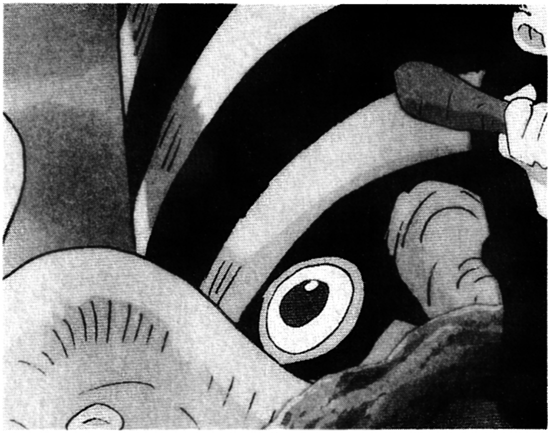
第60、64話に登場

ぬらりひょんの下で、お茶くみや傷の手当てと、身の回りの世話までしている。ただ、どうもピントがずれており、根っからの悪党ではなさそうだ。こいつが手下の間は、ぬらりひょんの野望が実現しそうにはないが、どうかな？



妖怪イカ

第60話に登場



▲あのチャンチャンコのもようは、まさか鬼太郎!?

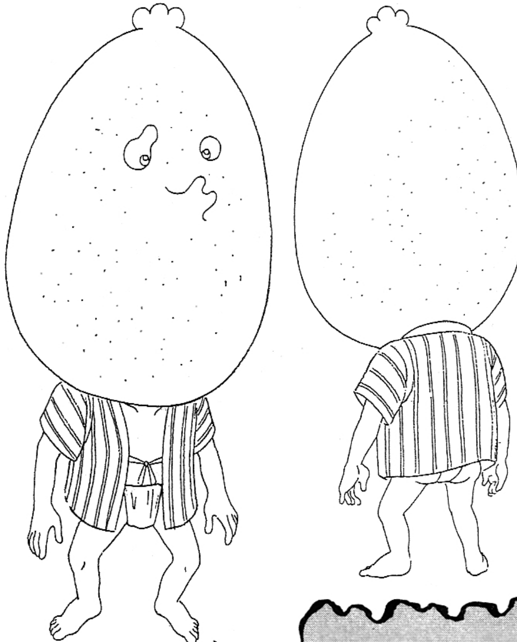


妖怪真珠を産む海のバケモノ！

いけにえの鬼太郎を食い、その霊力を封じこめた妖怪真珠を産んだ。だが、さすがに鬼太郎を消化することはできず、その体にチャンチャンコもようが浮かんでからは、体内にいる鬼太郎の思いのままに動いた。

カシャボ

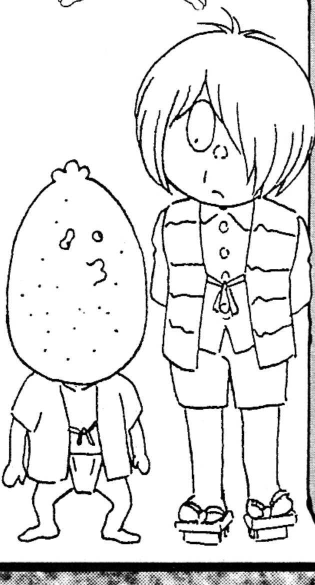
第61話に登場



目印は芥子坊主頭に青い衣

日本の南の果ての果て、金比羅島に住む妖怪で、目玉おやじとは昔からの知り合いのようだ。

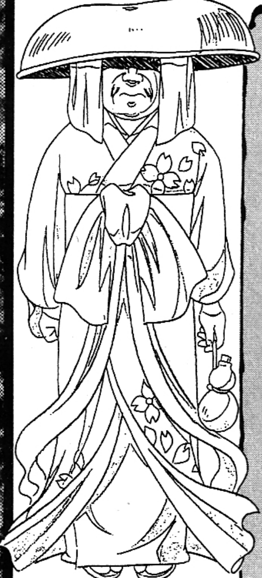
カシャボは、金比羅島にある清めの泉への案内人でもあり、この清めの泉の水を飲むことで、毒気を吹きこまれた鬼太郎の体は清められた。



いやみ

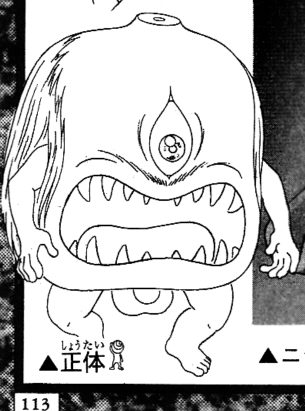
女装オヤジの正体は…

第61話に登場



人間のショウ気（正しい気とも笑いの気とも書くらしい）を吸い取る妖怪で、封印のねむりをさました落語家に乗り移っていた。
ショウ気を口の中に入れられた人間は、笑えないダジャレでも爆笑してしまう。





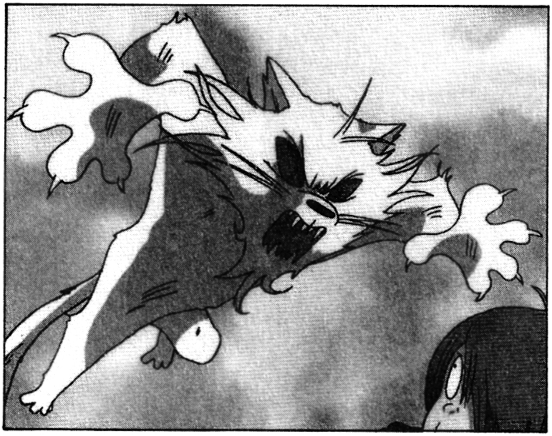
▲正体



▲ニヤケたおやじの顔をしているが、じつは借りもの

ばけ猫

第62話に登場



▲この世界に入ると、ばけ猫のほうがだんぜん有利



猫をひいたらたたられる！

猫の霊界にいる妖怪で、猫をはねた運転手をねこ打ち症にして、猫の霊界に引きこもうとしていた。
猫たちの霊を手下のように使い、戦うときは自ら巨大化。だがマタタビ香をかぐと、戦意を失ってしまう。

シーサー

第63話に登場

沖縄に住む獅子の妖怪！

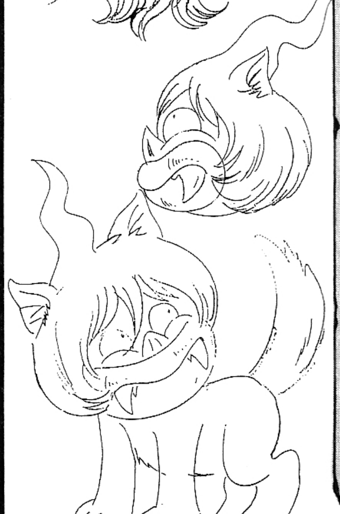
▶変身後







沖縄の森に住んでいたが、観光客がふえたせいで森から追い出され、メンソーレホテルの13階に泊まっていた。戦うときは獅子の姿になるが、ふだんはお世辞にも怖くない、犬のような姿をしている。今は、メンソーレホテルでホテルマンとして働いているようだ。

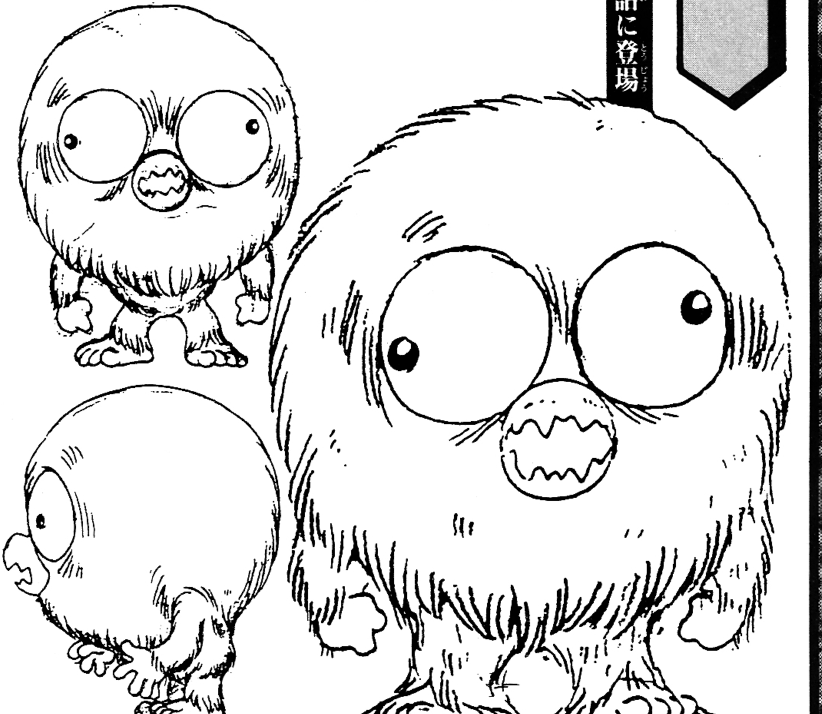


キジムナー

陽気でブキミな笑い声！

第63話に登場

シーサーと同じ沖縄の妖怪で、甲高い笑い声が特徴。
シーサーといっしょにメンソーレホテルの13階に泊まっていたが、現在はホテルマンとして働いているようだ。毛玉みたいな体を丸めてのアカすりは、お客さんに好評だとか。



長江の水虎

第64話に登場

中国に住む河童の一種



蒸気機関で動く車に乗り、中国代表として妖怪ラリーに出場するが、しゃれこうべの丘で、時間にまにあわず、フランケンとともに爆破された。

魔女

第64話に登場

ほうきに乗って空を飛ぶ

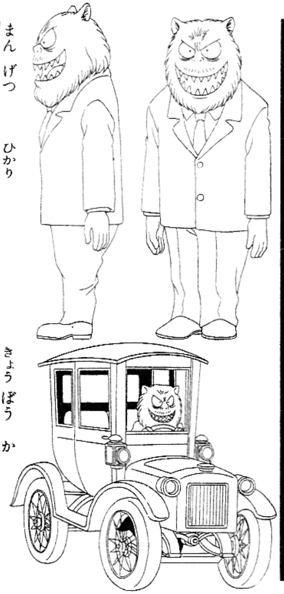
フランス代表として妖怪ラリーに出場。満月坂を登りきれなかったため、ほうきで空を飛ぶ反則攻撃に出るが、狼男に襲われてリタイア。



狼男

第64話に登場

満月の光をあびて狂暴化！



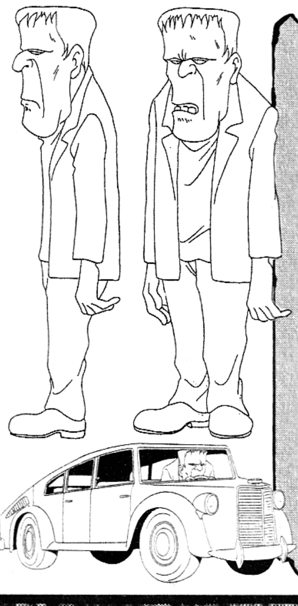
妖怪ラリーのイギリス代表。満月坂で魔女のほうきにつかまろうとしたのを蹴り落とされ、狂暴化して魔女を襲う。結果、リタイア。

フランケン

第64話に登場

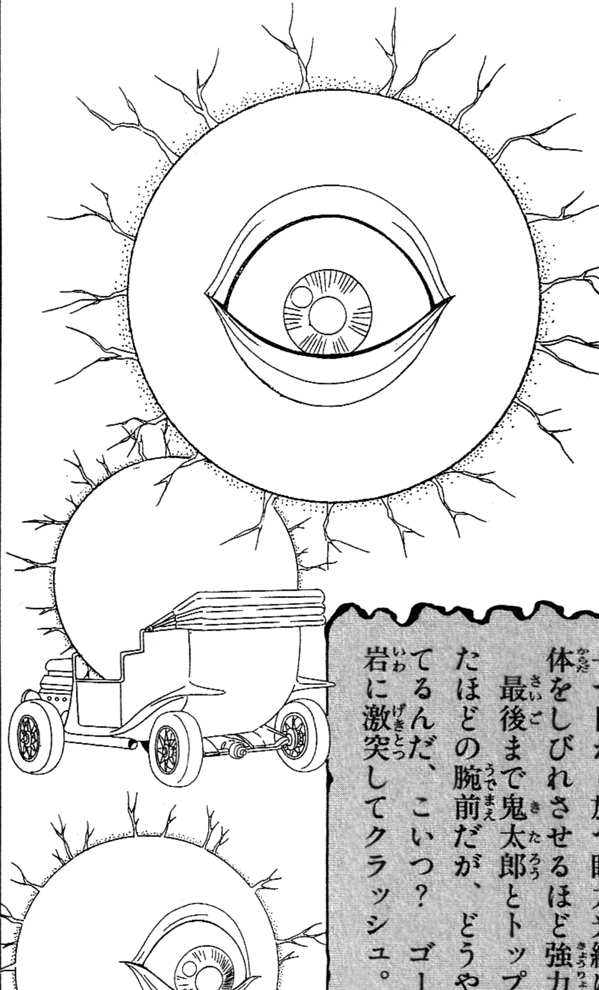
ブキミで無口な人造人間！

ドイツ代表だが、しゃれこうべの丘でリタイア。本来はフランケンシュタイン博士が造った人造人間で、妖怪ではない、らしいが……。



ベアード

第64話に登場



一つ目の眼力光線にご用心!

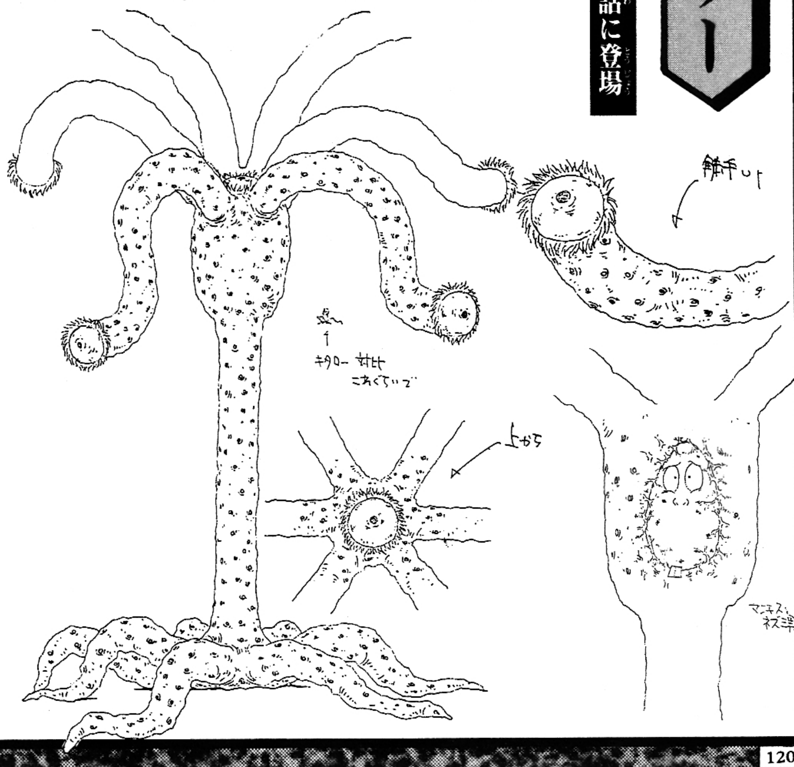
妖怪ラリーのアメリカ代表。巨大な一つ目から放つ眼力光線は、鬼太郎の体をしびれさせるほど強力。最後まで鬼太郎とトップ争いを演じたほどの腕前だが、どうやって運転してるんだ、こいつ？ ゴール寸前で、岩に激突してクラッシュ。

マンモスフラワー

第65話に登場

よみがえった太古の植物！

この地球に妖怪が生まれたころに栄えた植物だが、大きくなりすぎて絶滅した。
このマンモスフラワーは、カンブリアキ島から盗まれた種を食ってしまったねずみ男と一体化して歩き出す。
おとなしくさせるには、カンブリアキ島の土が必要。





たんたん坊

第66、67話に登場



粘液を吐く巨大な顔！

1000年の封印をとかれた妖怪城の主。口から吐く粘液を自在にあやつり、それを敵にあびせるたんたん攻撃が得意技だ。巨大な目はサーチライトのように回転。超ヘビー級の体重で、鬼太郎をペラペラにつぶしたりもした。

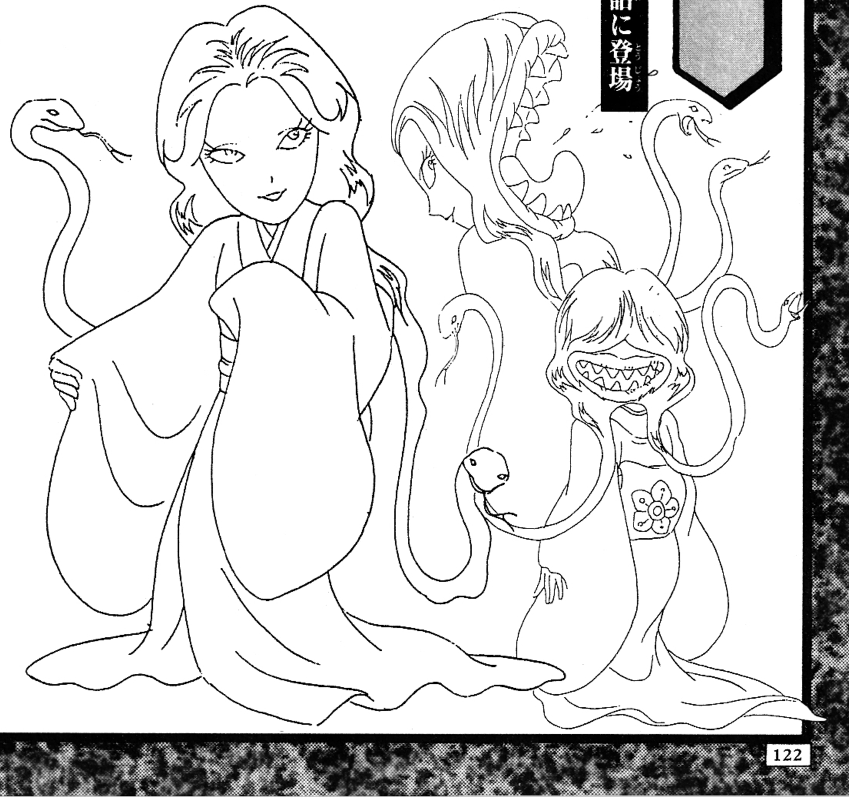


二口女

美しい顔の裏には…

第66、67話に登場

妖怪城三妖怪のひとりで、たんたん坊に負けないくらいの強力な妖力をもつ。髪の毛の先が蛇になっており、この蛇髪はどこまでものびる。その美ぼうで油断させた相手を蛇髪で捕え、ふだん髪の毛で隠している大口で食べてしまうぞ。



かまいたち

第66、67話に登場



疾風をまとった切り裂き魔！

目にも止まらぬスピードで動ける妖怪で、両手をするどいカマに変えて相手を切り裂いてしまう。その攻撃は、まるで風に切られたように見えるほど。妖怪城の三妖怪は、夜にはどんな妖怪もかなわない無敵の力を発揮できるため、この世から昼をなくそうとした。



磯女

赤ん坊を抱いた海の魔女！

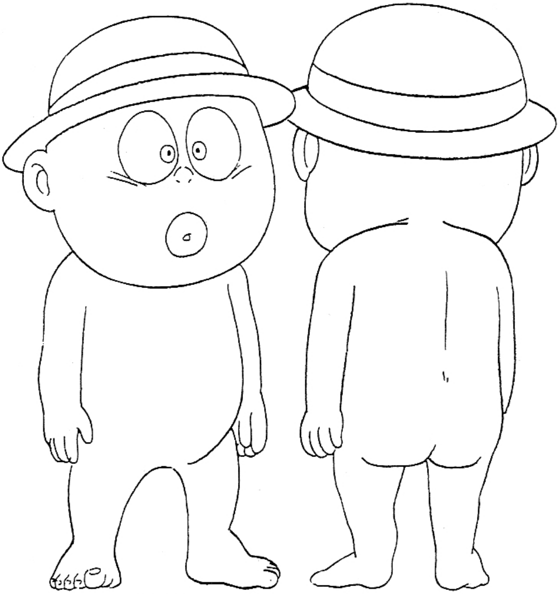
第68話に登場

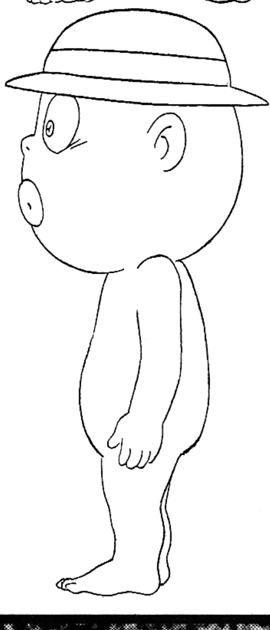
磯女に注意するように建てられた祠のせいで、昔は人の近づかなかった磯辺にも、いまでは子どもたちが入ってくるようになった。だから人間を襲えるようになり、魂を吸い取るために現われた。いつも赤ん坊を抱いているが……。



赤ん坊

第68話に登場





磯女の驚くべき本体！

いつも磯女に抱かれていたが、実はこいつが本体だった。鬼太郎を食った磯女が消化しきれずに吐き出した丸い物体を一口で食べるほど食欲旺盛。鬼太郎の空気ポンプの術で内側から破裂しても、もとにもどれるほどの生命力だった。武器は長くのびる腕。

悪魔ブエル

悪魔の大群を召還！

第69話に登場

人間の手を乗っ取って戦争を起こさせたこともある、残忍な西洋悪魔。また、その手を自在にのばして攻撃をする。

正体は5本の足をもつブキミな姿で、召還した悪魔の大群をあやつり、この世の支配者になろうとした。



▶正体

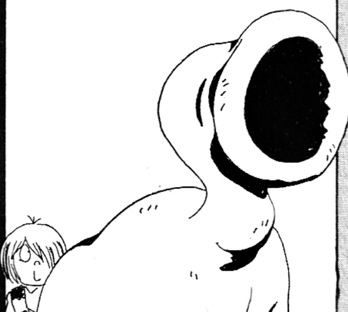


やかんづる

第69話に登場

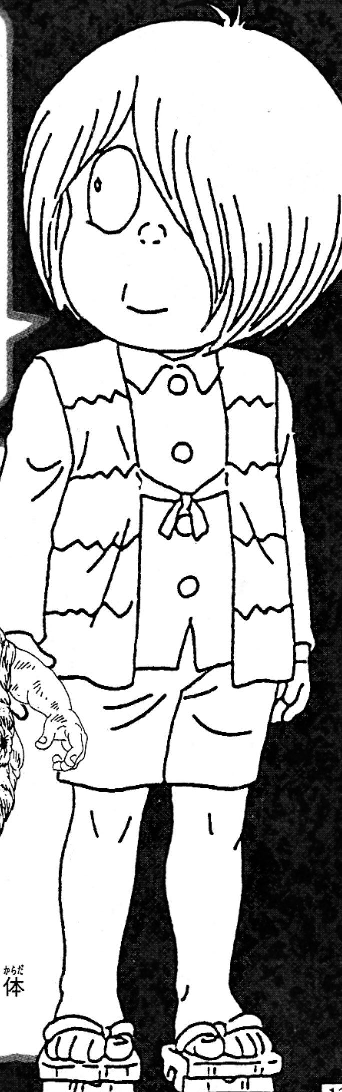
封印をとかれた大食い妖怪！

胃袋が地の底までつながっているといわれ、その掃除機のような口で、なんでも吸いこんでしまう妖怪。鋼鉄の扉の奥に封印されており、一度封印をとくと、といた者を食べるまで、ありとあらゆるものを食べ続けるという、やっかいな習性をもっている。



おばけナイター誌上ストーリー

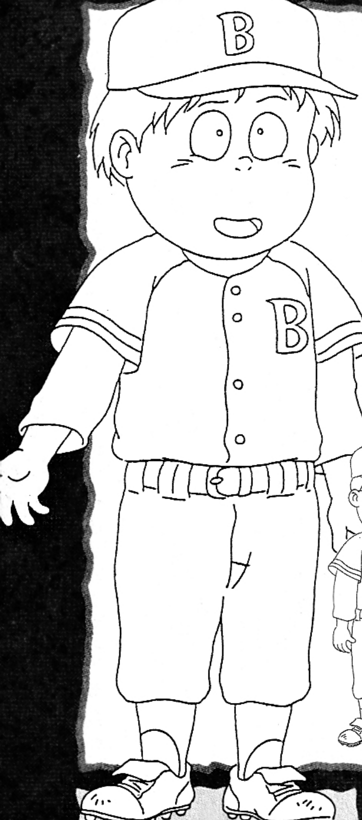
三太郎くんたち「ブータレーズ」から妖怪バットを取りもどすため、ぼくと妖怪の仲間が大活躍した、映画『おばけナイター』。きみは、おぼえてるかな？　映画のストーリーをバッチリ紹介するから、あの興奮を思い出してね。



審判



▲試合開始前、いきなり現れた妖怪。体に似合わない、オカマ言葉がブキミ



ブータレーズ

連敗続きのダメチームだったが、妖怪バットを手に入れてからは、連勝街道を爆進。

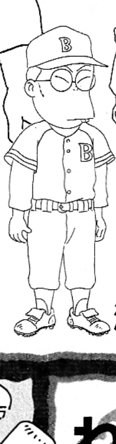
本当のチーム名は「バトラーズ」なのに、「ブータレーズ」とよばれている。

◀三太郎

◀野球オンチ。一度でいいからホームランを打ちたいと願っていた

光太▶

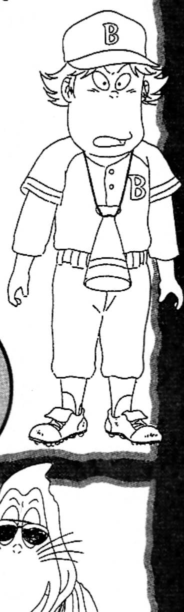




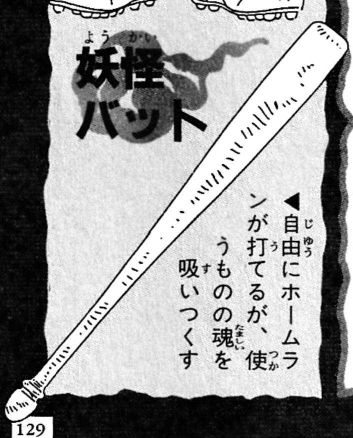
◀洋

純▶

▶「ブータレーズ」のキャプテン







妖怪バット

◀自由にホームランが打てるが、使うものの魂を吸いつくす

ねずみ男

▶勝手に「ブータレーズ」の監督になる。三太郎に妖怪バットのことを教え、その妖怪バットでひともうけをたくらむ



三太郎が手に入れた妖怪バット、それは……



▶いつものことながら三太郎は空振り三振でアウト！　あきれた純は三太郎に、「おまえ、もうクビー!!」と怒鳴りつける。ブータレーズは三太郎がぬけると、8人しかいないのだが……



◀3丁目までしかないはずの三太郎の町の電柱に、なぜだか4丁目の表示があった。そして三太郎は、墓場の納骨堂にあった妖怪バットを、ビビりながらも手に入れた

最後のバッター、三太郎が三球三振で試合終了。今日もまた、ブータレーズに負けてしまう。そして三太郎は、純にクビを告げられてしまうのだった。

その帰り道、ねずみ男と出会った三太郎は、4丁目4番地の角を4回曲がっていきついた墓場で、ホームラン打ち放題の妖怪バットを手に入れてしまう。

そして、ブータレーズの解散がかかった試合の日、ねずみ男といっしょにやってきた三太郎は、見事に場外ホームランをかっとばす。ブータレーズの初勝利だ。

▼目玉おやじは、妖怪との試合で負けると魂を取るというのだが……

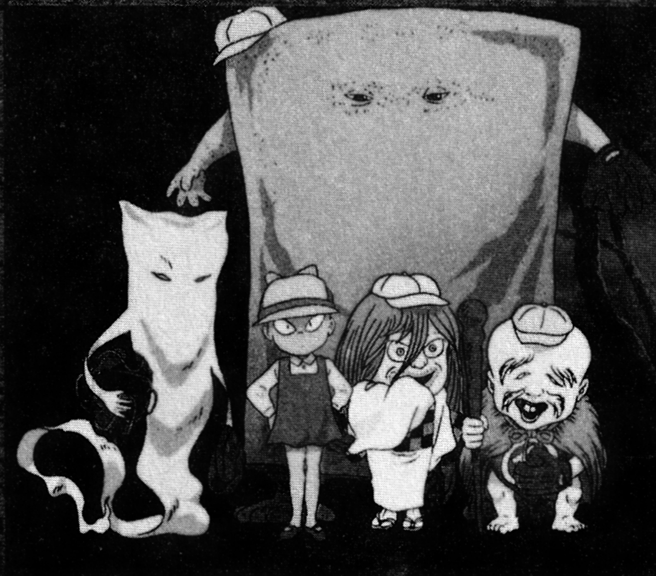


その日以来、ブータレーズは勝って勝って勝ちまくり、ミラクル少年野球チームとして、テレビでも紹介されるほどに。有頂天の純たち。だが三太郎だけは、内心、なっとくできないものを感じた。そこにやってきた鬼太郎は、純に、妖怪バットを使うと魂が吸い取られることを教える。純は、自分たちに勝てたらバットを返すといい、負けたら魂を取られることを条件に、ブータレーズは妖怪と試合をすることになる。そして試合の夜、鏡を見た三太郎は……。



おばけナイター、いよいよプレイボール！

▼ブータレーズの前に、妖怪チームのメンバーが現れた



試合はブータレーズの先攻でスタート。妖怪バットでホームランをねらう純だったが、バットは鬼太郎が投げた球にかすりもしなかった。なんと、妖怪相手に妖怪バットは通用しなかったのだ。

しかも続々と駆けつける、輪入道、傘化け、風神、あずきとぎといった妖怪チームのメンバーに、ブータレーズはビビりまくり。魂を食えると聞いた、化けぞうり、あずきはかり、畑怨霊たちも現れた。

勝たないと魂を取られるとあって、ブータレーズも必死にプレイ。試合は0対0のまま、延長戦に突入していた。



◀純の打球はピッチャーゴロ。鬼太郎はゴロをキャッチするが、ファーストには誰もいない。ところがベースの上に、いきなり輪入道が登場したから、純は仰天。あえなくアウトに終わってしまう

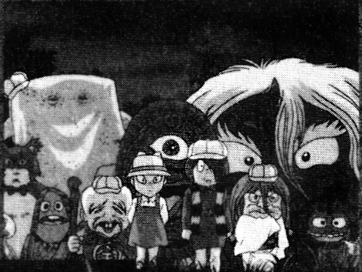


▶その後も妖怪チームのメンバーは、珍プレイを連発。ねこ娘は、外野にぬけたゴロを猫化してキャッチ。自らベースに走ってアウトにする、超美技(!?)を披露

その均衡を破ったのは、三振してくれというねずみ男をひっかこうとした、ねこ娘の一振りだ。半分にわれたボールの片方がホームラン、妖怪チームのサヨナラ勝ち……と思いきや、1／2点じゃ勝ちとはいえないと、ねずみ男が猛抗議。最後の攻撃のチャンスがあたえられるブータレーズ。だが、かんたんに2アウトを取られ、迎えるバッターは三太郎…。大タメ息の純たちだったが、ふつうのバットで打席に立つ三太郎の姿には、何かが起こりそうな予感が……。



運命の第3球！ 打てるか、三太郎!!



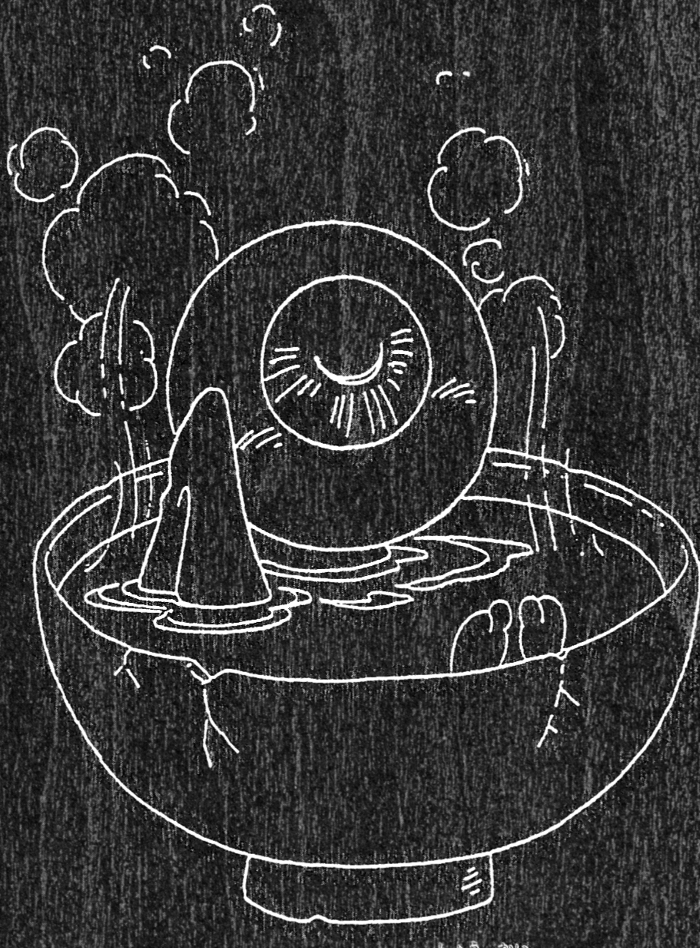
▶「さあ、かくごはいいかい？」妖怪たちは本性を現して、ブータレーズの魂をもらおうと、近づいてくる。もう後がない純たち。そこに、三太郎の叫び声が響いた。「待って！」



◀妖怪バットをもってきた責任は、自分だけにあるという三太郎。すると、意外な答えが帰ってくる。「魂は取らないよ」これは、妖怪たちの芝居だったのだ

ツーストライクと追いつめた三太郎に対し、第3球を投げる鬼太郎。三太郎は気合いの一振り！…やっぱり空振りで、試合終了。妖怪たちはブータレーズに迫るが、それを三太郎は止め、自分の魂だけで許してほしいと、涙ながらにたのむ。そんな三太郎を、許してくれる鬼太郎。そして、この試合で初めて一生懸命プレイしたことに気づいたブータレーズは、たいせつな何かを手にしたのだった。





第34話 流浪！ 妖怪あずきとぎ

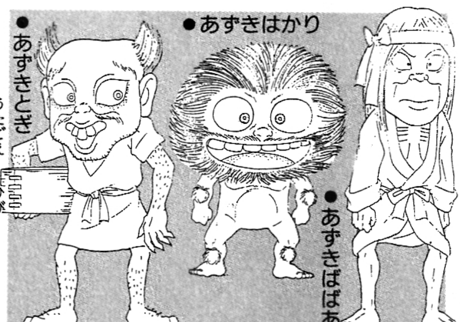
山をおりたあずきとぎがやってきた小さな村には、もう誰もいなかった。さらにあずきとぎは団地までおりてくるが、あずきとぎの「あずきとごうか、人とって食おか」の歌は、団地の人たちにとっては、ただの迷惑だった……。

ある日、鬼太郎のもとにあずきとぎからの手紙が届く。あずきとぎは、自分の歌を人に聞いてほしいのだ。

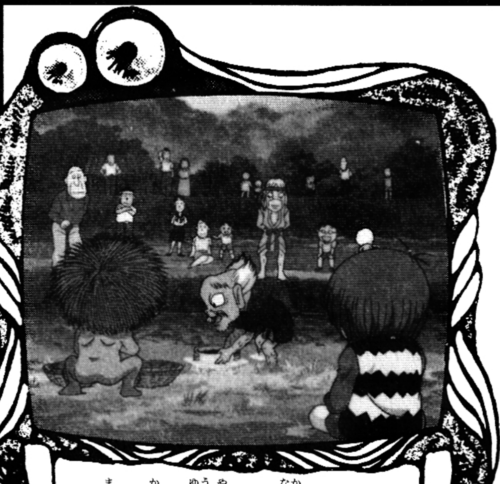
ねずみ男はあずきとぎをキャンプ場に連れてくるが、またも迷惑がられる。だが、捨てる神あれば拾う神あり、あずきとぎはその腕をかわれ、和菓子屋にやとわれることになった。

和菓子屋は、あずきとぎの評判で大繁盛。そのうわさを聞いて、あずきはかりまでやってくる。和菓子屋の裏を流れる川にはあずき妖怪コンビの歌声が響き、その評判でますます繁盛する和菓子屋。大勢の見物人や、テレビの取材までやってくるフィーバーぶりだ。

ところが、様子を見にきた鬼太郎とねこ娘の目の前で、和菓子屋の店主や見物人の態度に腹を立てたあずき妖怪コンビは、あばれ出し、そして姿を消してしまう。



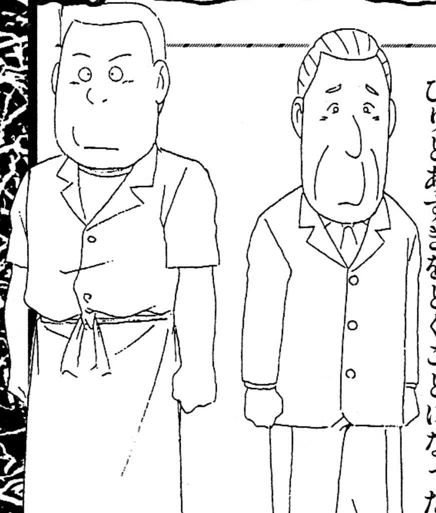
妖気を追って水車小屋にきた鬼太郎は、捕われている店主やねずみ男を見つけるが、そこに姿を現したあずきばばあこそ、人間の見せ物になっているあずき妖怪コンビを情けなく思い、妖怪の怖さを見せつけるため、ふたりをたきつけた黒幕だった。



真っ赤な夕焼けの中。この光景はどこかなつかしい

あずきばばあの茎に捕えられた鬼太郎は、粉ひきの杵でつぶされそうになるが、チャンチャンコをふくらませて脱出。あずきばばあはあずき妖怪コンビに店主たちを食わせようとするが、ふたりは持ち歌とは裏腹に、人をとって食ったことはなかった。

その後、あずきとぎとあずきはかりは、まだ人のいる村から近い山奥の沢で、のんびりとあずきをとぐことになった。



●店主 ●店員

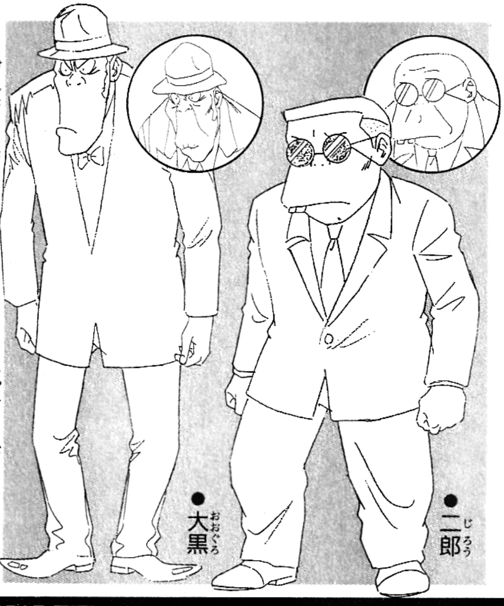
第35話 鬼太郎の地獄流し

指名手配中の大黒と二郎が逃げこんだラーメン屋には、鬼太郎たちがいた。鬼太郎の目つきに腹をたてた大黒は拳銃で鬼太郎を撃ち、再び街中へ逃走するが、口から弾丸をはき出した鬼太郎は、もちろん死んではいなかった。

路地に逃げこんだふたりは大きなダイヤモンドを見つけ、その中に映るビル街へと吸いこまれてしまう。人が誰もいないその街で、土地の名義を書き替えて大儲けする大黒。

と、どこからか聞こえてきた鬼太郎の声は、ここが「地獄」だと告げる。すると辺りの景色は消え、ふたりは暗闇へ落ちていく。

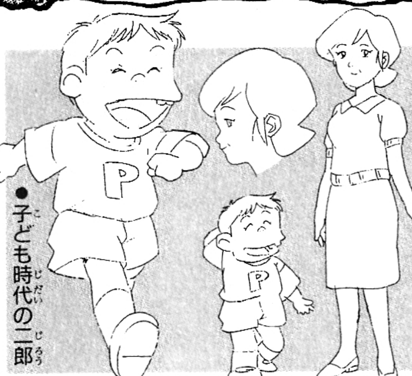
その場所は、砂漠だった。喉をからして歩くふたりは、砂かけ婆から、笑顔とひきかえに水をもらう。さらにいくと屋台を引く子泣き爺と出会うが、そのラーメンの代金は笑顔だった。もう笑えないふたりは、



かわりに若さと引き替えに、ラーメンをもらうのだった。
よぼよぼの老人になったふたりに、砂漠の夜はきつい。その前方に見えてくる、ホテル猫屋。メイド姿のねこ娘は、ここに泊まるにはお母さんの思い出が必要だと告げた。宿帳にあった母親の写真を見た二郎は、15年前に死んだ母親のことを思い出す。おもちゃ屋からロボットを盗んだりするような悪ガキだった二郎をしからず、ただ「一生懸命、生きるんだよ」といってくれた、母親との約束を……。意を決した二郎は、大黒を残してホテルを飛び出すのだった。



欲に心をうばわれた人間は、地獄流しで思い出もなくす



●二郎の母

●子ども時代の二郎

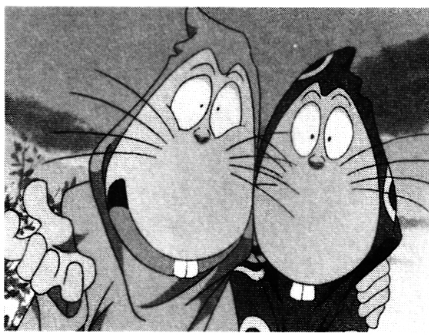
めざめた二郎は、鬼太郎たちに見つめられ、もとの世界にもどっていた。
一方、鬼太郎のもつダイヤモンドには、母親の思い出と引き替えにホテルに泊まった、大黒の姿が……。

第36話
仰天！　おりたたみ入道

縁日でにぎわう神社で、ねずみ男は鬼太郎によび止められる。鬼太郎は、ねずみ男にこづかいをだまし取られた子どもたちの手紙を受け取って、ここにやってきたのだ。しかも、ねずみ男にお金を貸したというねこ娘までやってくるが、どちらもねずみ男には、身におぼえのないことだった。

そこへ駆けてきた子どもたちは、真犯人を見つけたという。ねずみ男たちがいくと、そこにはマントこそ違うが、ねずみ男そっくりな男がいた。

なんと真犯人は、ねずみ男の生き別れの弟だったのだ。



再会を喜ぶねずみ男は、弟を妖怪アパートに住まわせ、弟に笑われないようにと、工事現場で汗を流す。

一方、妖怪アパートに住む油すましが消えてしまい、大家の砂かけ婆は鬼太郎に調べるようにたのむ。鬼太郎は、ねずみ男の弟のつづらから飛び出したおりたたみ入道が呼子を食べるのを目撃するが、ねずみ男はその話を信じようとしない。

弟の正体をあばこうとする鬼太郎を、止めるねずみ男。そのすきに、おりたたみ入道が飛び出し、鬼太郎を食ってしまう。



不意をつかれて、まるごとぺろりっ！

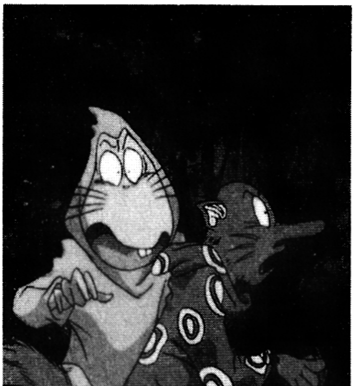
だが鬼太郎は、体から電気を出して、おりたたみ入道の口から脱出する。チャンチャンコでしめあげられたおりたたみ入道はつづらにもどり、油すましと呼子は、つづらの中から姿を現した。

ねずみ男は必死に弟をかばうが、弟の尻にシッポがあるのを見つけてひっぱると、なんとその姿はむじなに変わってしまった。

だまされていたことを知ったねずみ男は、大泣きに泣いて逆上。タコなぐりにされたむじなは、反省して山へ帰っていった。

「どうせだますんなら、もすこし長くだましてほしかったぜ……」

ふたたびひとりぼっちになったねずみ男は、丘の上で肌寒い秋風を感じていた……。



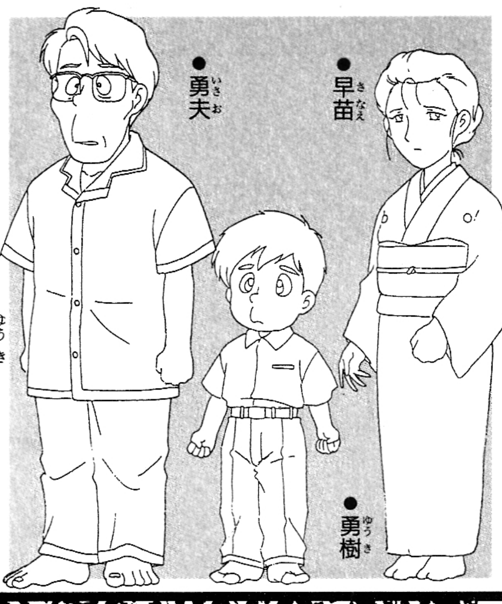
第37話

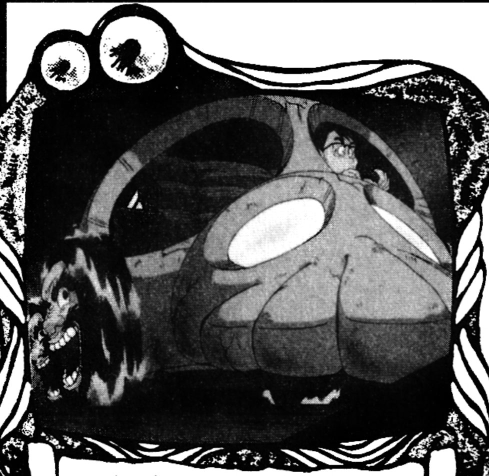
大追跡！　妖怪自動車

気がつくと不思議な世界にいた丸田勇夫は、空の裂け目から自分の葬式を見る。勇夫は死んでいたのだ。息子の勇樹とした、夜明けの海を見せる約束を果たせずに……。

そこに現れた妖怪界の発明王、夜行さんは、勇夫の願いをかなえてやってもいいという。妖怪研究所へ連れていかれた勇夫は妖怪自動車を借りることになるが、キーを絶対にぬかないこと、朝日が昇りきる前に車を返すこと、このふたつの約束をした。その約束をやぶったとき、夜行さんは勇夫のたいせつなものをいただくという。それは勇樹のことだった。

勇夫は妖怪自動車でこの世にもどり、寝ている勇樹を家から連れ出す。途中、一昨日から何も食べてないというねずみ男を乗せてやり、コンビニへ買い物に寄るが、ねずみ男は妖怪自動車を盗み出してしまった。





妖力全開！　見よ、このパワー、この迫力!!

しかもねずみ男が、タイヤの輪入道にそそのかされてキーをぬいてしまい、妖怪自動車は邪悪バージョンと化して暴走。勇夫はねこ娘と出会った縁で鬼太郎たちの力を借りるが、妖怪自動車は砂かけ婆たちの検問を突破、霊界バイパスへ突入する。輪入道は、霊界の中心にある閻魔大王庁におさめられた宝珠を手に入れ、大輪入道になろうとしているのだ。



一反木綿で追ってきた鬼太郎だったが、妖怪自動車に苦戦。目玉おやじがひかれそうになったそのとき、首なし馬で駆けつけた夜行さんは節分の豆で妖怪自動車をひるませ、鬼太郎にスペアキーを渡した。

妖怪自動車は無事にもどり、勇樹に夜明けの海を見せることができた。夜行さんも、約束を破ったのはねずみ男だと、勇夫を許すのだった。

第38話

血闘！　おどろおどろ

シャーロック・ねずみ男は、謎の模型飛行機が子どもを連れ去った事件の解決を、剛の両親に依頼されていた。そこへ現れた鬼太郎もまた、同じ事件を調べており、ねずみ男が望遠鏡で見た模型飛行機を一反木綿で追う。

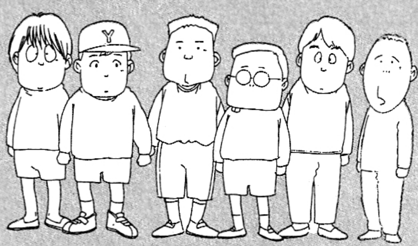
だが、子どもを乗せた模型飛行機のプロペラに巻きこまれ、一反木綿は墜落。一方、砂かけ婆、ねこ娘、ねずみ男の3人は、子どもの家に宅配便で届けられた模型飛行機に乗って、空を飛んでいた。

気がついた鬼太郎は、砂かけ婆が空にまいていた道標の砂を追って、一反木綿を飛ばす。砂かけ婆たちを乗せた模型飛行機は丘の上に建つ洋館に入っていくが、そこでねずみ男は、何者かに血を吸われてしまう。それは血を吸って生きるといわれる、おどろおどろだった。

ねずみ男のまずい血にせきこむおどろおどろは、口直しに砂かけ婆とねこ娘をねらう。そのとき、窓ガラスを破って飛びこんでくるリモコンゲタ。鬼太郎の登場だ。

おどろおどろの髪で巨大な機械にたたきつけられた鬼太郎は、機械の中に子どもた

●子どもたち



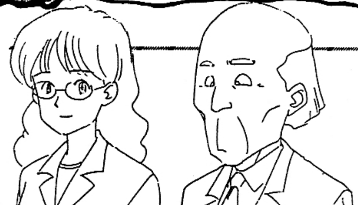
ちがいるのを見る。おどろおどろはこの巨大石臼メカで子どもたちをおしつぶし、新鮮な血を手に入れようとしていたのだ。

鬼太郎は、髪の毛をのばし放電をお見舞いするが、これに怒ったおどろおどろは鬼太郎の首筋に髪の毛をつきたてる。逆に鬼太郎も、おどろおどろの血を吸い返し、ついにおどろおどろの体は縮み始める。巨大石臼メカを止めた鬼太郎に、その正体を語るおどろおどろ。彼は、自分で発明した毛生え薬を飲んだハゲ頭の科学者だった。

鬼太郎は科学者の美人助手が作った薬に、全妖力を使って清めた血のしずくをたらす。これを飲んでおどろおどろはもとのハゲ科学者にもどり、子どもたちも無事だった。



なんと髪の毛で、鬼太郎の血を吸いつくすつもりだ！



第39話

妖狐・白山坊の花嫁

「約束の日は明日だ……」

16年前、橋本正吉は白山坊とある約束を交わしていた。

翌日、外出を止められていた正吉の娘、茜は、亡き母親の好きだったコスモスをつみにでかけてしまうのだった。

一方、正吉の家の近くで白山坊の妖気を感じた鬼太郎は、16年前の話を聞く。茜を抱いて自殺しようとしていた正吉は、現れた白山坊にツキをさずけられ、いまでは社長になっていた。だが、茜が16歳になったら白山坊の嫁に差し出すことを約束していたのだ。

白山坊は弟子のコン太に、



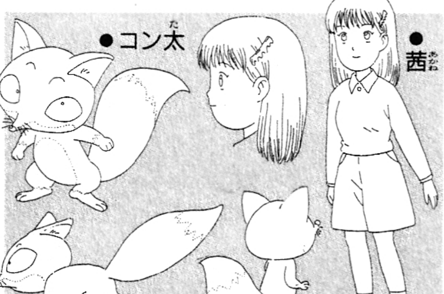
茜を守る髪飾りを取ってくるように命じる。成功すれば念願の神通力をさずけてもらえるのだ。だがコン太は、茜の髪飾りが母親の形見だと知って、やや尻込み。しかし、コン太が家出していたこと、神通力をもらえれば母親の待つ家に帰ることを聞いた茜

は、髪飾りを渡すのだった。
　その髪飾りをにぎりつぶした白山坊が、茜を食おうとしていたことを知り、コン太はがく然となる。一方、茜が家にもどると、花嫁を乗せる籠をしたがえた、紋付袴姿のキツネたちが待っていた。



マントを脱いだとたん大口を開いた！　獲物は花嫁!?

　事情を知った茜は花嫁になることを決意し、花嫁衣装を着て籠で運ばれるが、そこに立ちふさがったのはコン太だった。白山坊は、正体を現してコン太を襲うが、狐封じの壺をもった鬼太郎が一反木綿で駆けつけ、その中に吸いこまれてしまった。
正吉は、もう一度、あの16年前からやり直すことを決意。急所をはずれていたコン太も一命をとりとめるが、コン太はもう言葉を話せなくなっていた。白山坊が封印されたので、ふつうのキツネにもどったのだった。



第40話

夜の墓場は運動会！

正光が愛読する日本妖怪図鑑には、日照り続きで苦しむ農民の願いにこたえてくれた、雨降り小僧の話があった。

妖怪コンサルタントを名乗るねずみ男と出会った正光は、夜の竹林で雨降り小僧に会わせてもらい、運動会の日に雨を降らせてくれるようたのむ。

運動オンチの正光は、雨で運動会が中止になればいいと考えていたのだ。

「その代わり、お前からもらいたいものがあるんだ」

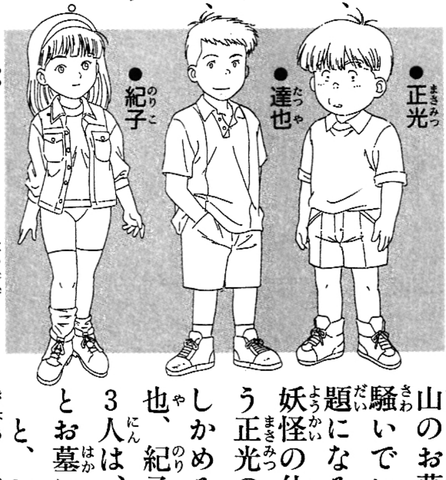
そう約束すると、雨降り小僧は姿を消すのだった。

一方、学校では、ガイコツ山のお墓で誰かが騒いでいるのが話題になる。それが妖怪の仕業だという正光の言葉をたしかめるため、達也、紀子、正光の3人は、夜になるとお墓に隠れた。

と、お墓に続々集まってくる妖怪たち。今日は年に1回のお楽しみ、妖怪運動会の日なのだ。

かけっこ、おはぎ食い競争、幅跳び、あめ玉さがし競争と進んでいく競技を見ているうちに、正光たちにも笑顔がもれてくる。

競技は二人三脚に移り、ビリになったたねずみ男とねこ娘のコンビが言い争っている。



それを止めた砂かけ婆と子泣き爺はいう。

「誰が速く走れるかなんて関係ない」「なんたって、みんなが楽しむもんだからの」

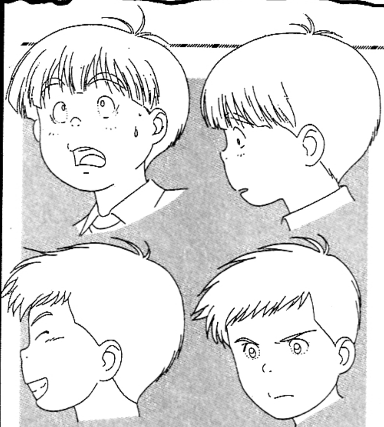
その言葉を聞いた正光の心に、ちょっとした変化が起こったとき、雨が降り出し、雨降り小僧が現れた。正光との約束で降らされた雨に、妖怪たちは不満そうだ。



たのしいな、夜は墓場で運動会。年に一度の運動会

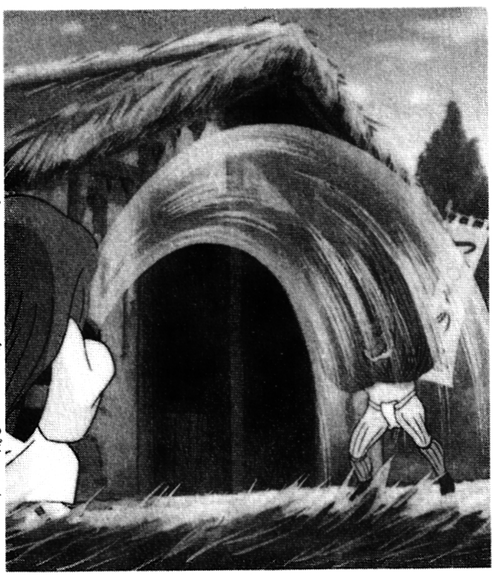
正光は妖怪たちの前に姿を現し、事情を話す。だが、雨降り小僧に雨をたのんだ人間は魂を取られてしまうという。妖怪図鑑の破れたページには、そのことが書いてあったのだ。正光を連れていこうとした雨降り小僧も、鬼太郎たちのたのみで雨をやませ、運動会に参加することになる。

正光たちも加え、運動会は再開された。



第41話 つけもの妖怪ほうこう！

ねずみ男は、うまい漬物をごちそうになった男の商売を手伝うことになる。男は、鬼太郎の妖怪パワー入りのスタミナ漬物で漬物長者になろうといい、ねずみ男はいわれるままに鬼太郎をよび出した。漬物屋の小屋にきた鬼太郎は仮面の男に襲われるが、その男の正体はほうこうだった。鬼太郎は、ほうこうの毒牙で体の自由を失い、漬物桶に投げこまれる。妖怪漬け専用の聖なる岩塩をまいたほうこうは、さらに石化した子泣き爺を漬物石にしてしまう。砂かけ婆は、ウソの火事で



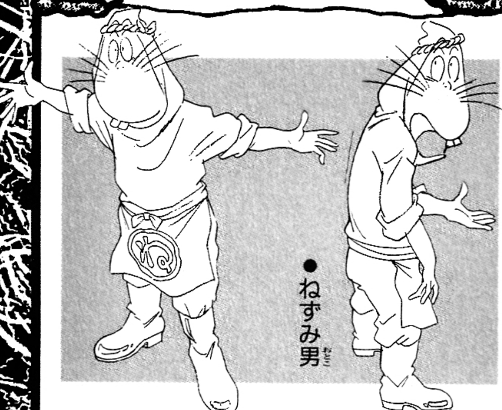
ほうこうを小屋から誘い出し、壺に吸いこむことに成功。だが、火が小屋に燃え移ったため、桶は小屋ごと灰になってしまう。鬼太郎を探すために灰を掘る最中、ねずみ男は木片で壺に亀裂を作ってしまうが、それには気づかず掘り続ける。一方、子泣

き爺を見つけた砂かけ婆は、灰になった鬼太郎をよみがえらせるため、命の水をまく。そのとき、壺が破裂し、地水火風の４人に分かれたほうこうが現れる。火ほうこうの火炎で木の上に追いつめられた砂かけ婆は、再起不能になるのを恐れず、鬼太郎に直接妖気を送るという。その心意気にうたれた子泣き爺もまた、灰になった鬼太郎に妖気を送り、巨大な灰かぐらの中から、ついに鬼太郎が立ち上がった。

鬼太郎は、火ほうこうと水ほうこうを激突させ、さらに地ほうこうを、回転して迫る風ほうこうに投げつけ、自滅させるのだった。



地水火風。この宇宙空間に存在する四つの要素に分解!?



●ねずみ男

戦いが終わると、何かが倒れる音が森から聞こえ、そこには巨大な縄文杉が倒れていた。ほうこうの正体は、２０００年以上の年を数えて妖怪になった、この縄文杉だったのだ。

第42話 がんぎ小僧とねずみ男！

ここは、村はずれの田舎道。妖怪の声を録音したテープがまるで売れず、意気消沈のねずみ男に「兄ィ！」と声をかけたのは、がんぎ小僧だった。

ねずみ男は、がんぎ小僧といっしょに河童村にくるが、そこで河童に襲われる。それをあやまる親分の話によれば、この河童村は、好き放題のことをする一目入道一家のせいで、ひどいことになっていた。

ねずみ男からの手紙を受け取った鬼太郎は、一反木綿で河童村へ飛ぶが、途中、一目入道たちの待ち伏せにあい、一反木綿は墜落してしまう。



一方、河童村には一目入道一家が攻めてくる。一目入道たちを蹴散らす助っ人のがんぎ小僧だったが、多勢に無勢、一目入道たちに捕えられ、人質として連れ去られてしまう。

ねずみ男は河童村の親分に、がんぎ小僧を助けにいくことをたのむが、襲われた河童たちは傷ついており、親分も弱気だ。

「おれのことを兄ィとしたった大事な舎弟を見殺しにできねえ！」

たったひとりで一目入道一家へやってきたねずみ男は、現れた一目入道たちを、得

意のオナラで攻撃。がんぎ小僧を助け出すが、一目入道たちに取り囲まれてしまう。しかも、ねずみ男をかばったがんぎ小僧は胸を棒で直撃され、さらに、袋叩きの目にあわされてボロボロに。
そこへ、鬼太郎が河童村の河童たちを引き連れて駆けつけた。勇気を出した河童たちは、一目入道一家を退散させるのだった。
だが、がんぎ小僧はもう虫の息だ。大涙のねずみ男は、さら小僧の「ぺったらぺたらこ」のテープをもっていたことを思い出す。この歌は、時間を巻きもどすのだ。
こうして時間はもどり、田舎道でがんぎ小僧に声をかけられたねずみ男だったが、今度は別々の道へ分かれていくのだった。



傷ついたがんぎ小僧を見て、ねずみ男の目にも涙……



●ねずみ男

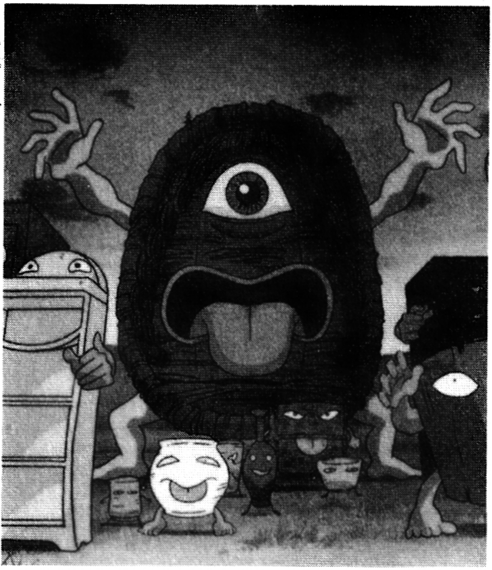
第43話

反乱！ 妖怪化けぞうり

シンヤの部屋に現れた死んだはずのおじいさんは、死出の旅路にはくぞうりが棺桶に入ってなかったため、天国へいけないという。

翌朝、めざめたシンヤの手元に子ども用のぞうりがあった。あれは夢じゃなかったと知ったシンヤは、田舎の土蔵へいくが、土蔵の中の古道具は、ねずみ男がリヤカーいっぱいに買い上げていた。

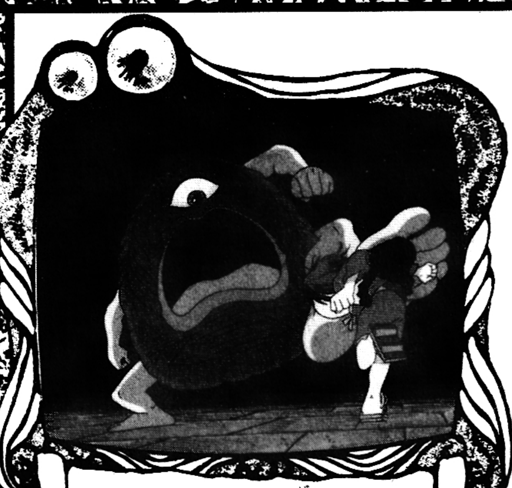
途中、タンスの中にあったぞうりの片われをお地蔵さんで捨てたねずみ男は、古道具を骨董屋に売ろうとするが、売れたのはタンスだけ。残っ



た古道具を燃やそうとすると、それらは妖怪化して動き出し、ぞうりの片われが妖怪化した化けぞうりも飛んで現れた。

古道具は、シンヤのおじさんとおばさんを襲うが、子ども用のぞうりをはいていたシンヤは、勝手に走り出して無事にすむ。

妖気に気づいてやってきた鬼太郎は、ねずみ男にリモコンゲタをうばわれ、妖怪化した反物に動きを封じられた。シンヤは砂かけ婆たちと出会い、石化した子泣き爺に骨董品のフリをさせ、タンスを取りもどす。一方、化けぞうりは、ねずみ男にキックをくらう。リモコンゲタをはいたねずみ男の足が、勝手に動きだしたのだ。その間に助けだされた鬼太郎は、髪の毛綱で化けぞうりを振り回す。見る間にぞうりサイズになった化けぞうりに、片われのぞうりをもったシンヤは、もとにもどることをたのむ。そこに現れた、おじいさんの幽霊はいう。



でたー！　これぞ化けぞうり版、十六文キックだ！



「古道具たちのために怒るのはいいが、本来の仕事を忘れてしまっては困るぞ」

もとにもどったぞうりをはき、おじいさんは、おばあさんの待つ天国へ歩いていった。

第44話

西洋悪魔・ベリアル！

ねずみ男は縁日で、さえないマジックを見せる外国人と会う。マジシャンは、あるモノを探しているという。
そんな話には興味のないねずみ男が、からす天狗の家からしっけいした地図をたよりにきた場所は、天道法印塔。そこには光る玉が埋めてあった。だが、ねずみ男が足をすべらせ、玉には亀裂が入ってしまう。すると、そこから強烈な光が吹き出した。
光は、マジシャンを直撃。みるみる若返ってしまったマジシャンは、魔力で神社の本殿を消してしまう。彼は、悪魔ベリアルだった。江戸時代の終わりに、黒船で日本へきたベリアルは、からす天狗にパワーを封じこめられ、ふつうの人間になっていたのだ。
からす天狗の小屋へきたベリアルは、家の周囲に魔法陣を描き、奇妙な呪文を唱える。すると魔法陣が光り、小屋は地面に呑みこまれてしまった。



目撃していたねずみ男から話を聞いた鬼太郎は、一反木綿で空からベリアルの妖気をさぐり、ベリアルが妖怪アパートにねらいをさだめたことを知って、先回りした。



妖怪アパートめがけて、百倍・黒魔術でベリアル突進！

アパートの一室で、対策を練る鬼太郎たちを襲う衝撃。空には黒雲が広がり、アパートは稲妻の直撃でかたむいてしまう。

さらにベリアルは、バラバラにした自分の体を5つの巨大な玉に変えた、百倍・黒魔術でアパートを襲う。鬼太郎にも、どれが本物の目や口なのかはわからない。だが、アパートの部屋をのぞきこむ目が、ねずみ男のカマしたオナラに反応。口も手も、ひとつだけ苦しみだす。それが、本物なのだ。

本物を髪の毛バリで攻撃されたベリアルは、もとにもどったところをチャンチャンコに包まれて消滅。からす天狗の小屋も鬼太郎の手でもどってきた。そしてねずみ男には、アパートの修理が待っていた……。

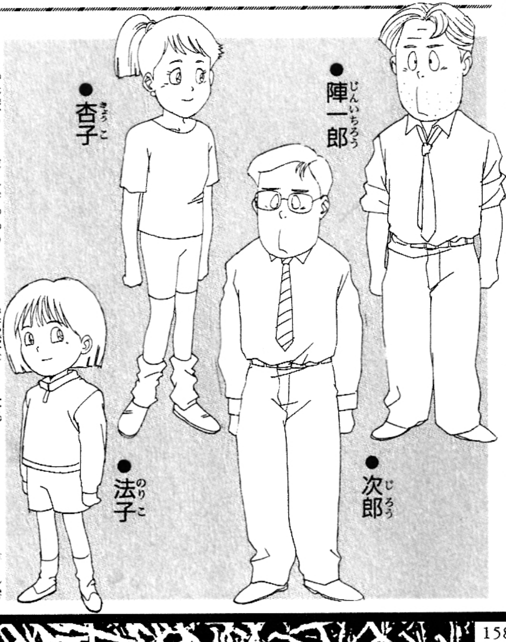


●変身後のベリアル

第45話 もち殺し！ 妖怪火車

悠木陣一郎の母親、かずが亡くなるが、その通夜には、陣一郎をはじめ、次郎、杏子ら兄弟の姿はなかった。テレビディレクターの陣一郎、舞台女優の杏子、商社マンの次郎は、そのいそがしさから通夜にいこうとしなかったのだ。

そんな陣一郎が、テレビ局で妖怪にさらわれてしまう。鬼太郎は、陣一郎の娘、法子のもとへいき、法子が見せてくれたビデオから、妖怪の正体はもち殺しで魂を食う火車だと知った。だが火車は、生きた人間を襲ったりする妖怪ではないのだが……。

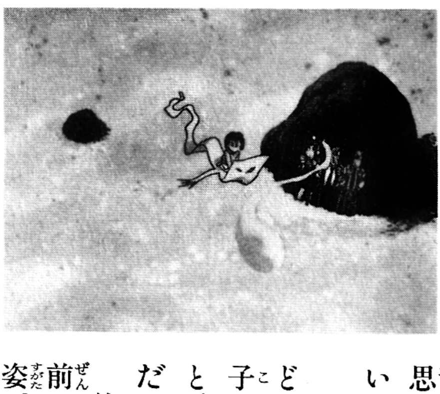


一方、陣一郎たち兄弟を捕えていた火車は、涙ながらにその理由を語る。かずの魂を食ったあとで3人を食い、自分の胃袋の中で、かずの嘆きを聞かせるのだという。かずのうらみを晴らし、兄弟たちにつぐないをさせようとしているのだ。

法子はかずの声を感じて、鬼太郎に、かずの居場所をさし示す。そして、かずの魂をもちに入れた火車が杵をふりおろそうとした瞬間に、鬼太郎は駆けつけた。
火車と鬼太郎の戦いは、鬼太郎の勝利に終わった……ように見えたが、勝利した鬼太郎こそ火車だった。火車は負けそうになると、相手の体と入れ替われるのだ。
だが、鬼太郎の魂は体からぬけ、もちの中に入った。するともちは臼から飛び出し火車におおいかぶさった。その中で、かずに子どもたちをうらんでなどいないことを聞かされた火車は、自分の母親のことを思い出し、去っていった。
かずの魂も、子どもたちと孫の法子に別れを告げると、消えていくのだった。
後日、かずの墓前には兄弟たちの姿があった。



この魂のなげきを聞き、うらみをはらそうとする火車



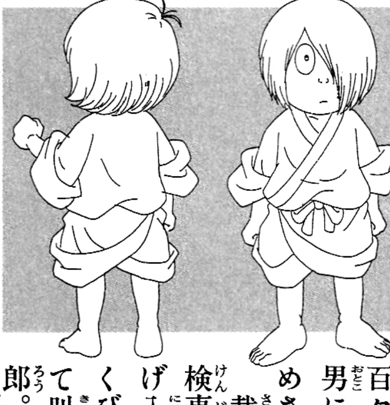
第46話

妖怪大裁判（前編）

美術館にできた長い列。ここでは鬼気迫る地獄絵図が公開されていた。だが、息を飲む人々の後ろで、なぞの男はつぶやく。「これを人間に公開したとあっては、鬼太郎もただではすむまい」と。

鬼太郎の家に飛びこんできた化けガラスがいうには、鬼太郎に逮捕状が出ているらしい。その言葉どおり、鬼太郎は閻魔大王庁から地獄絵図を盗み出したという、身におぼえのない罪で天狗ポリスに逮捕され、妖怪裁判所で裁かれることになる。

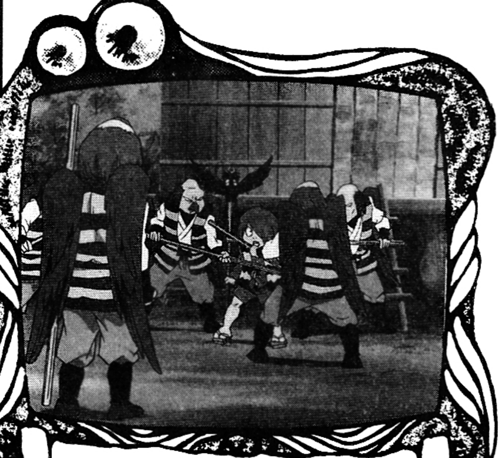
だが、弁護側証人の一反木綿と子泣き爺は、百々じいとねずみ男によって、足止めされていた。



●鬼太郎

裁判は開廷し、検事側証人の見上げ入道、輪入道、くびれ鬼らによって叫弾される鬼太郎。さらに、ねずみ男は、鬼太郎が犯人だと断言。鬼太郎は有罪となり死刑の判決が下されてしまった。

妖怪液で、500年の間ドロドロに溶かされ、壺の中に入れられることになった鬼太郎は、すっ裸にされる。だが、息子の無罪を信じる目玉おやじは、鬼太郎に逃げるようにいう。鬼太郎は、岩と同化して姿を



問答無用とばかりに白蛇の手錠をかけられてしまった

消すが、逃亡を助けた罪で目玉おやじは捕えられた。針のような岩の上に月がかかるまでに鬼太郎が帰ってこなければ、かわりに処刑されてしまうのだ。
「お前の名誉を回復することは、この目玉おやじの名誉を取りもどすことでもあるんじゃ。いけ、鬼太郎！　いくのじゃ！……」
鬼太郎は、ぬりかべとねこ娘の協力で天狗ポリスをまき、妖怪アパートに身を隠す。そこへ、ねずみ男に飲まされた酒がまだぬけていない子泣き爺と、百々じいに刺された鼻毛だらけの一反木綿がやってくる。
と、部屋の中には煙が……。妖怪アパートは天狗ポリスに包囲され、松葉を燃やした煙による、いぶり出しが始まったのだ。



第47話

妖怪大裁判(後編)

待ち構える天狗ポリスたちは、飛び出してきた鬼太郎を取り押さえようとするが、なんと妖怪アパートからは、3人の鬼太郎が現れる。

だが、その鬼太郎は、ねこ娘、子泣き爺、砂かけ婆の変装だった。本物の鬼太郎はそのすきに、一反木綿で空に逃れていたのだ。

鬼太郎は美術館にいくが、そこにはもう地獄絵図はなく、地獄絵図展も中止になっていた。だが、その強い妖気は漂っており、鬼太郎は一反木綿でそれ追う。

一方、地獄絵図をもってきたねずみ男は、裁判でウソの証言をした報酬を百々じいから受け取ろうとするが、逆に鼻毛バリで襲われてしまう。



そこへ、鬼太郎が駆けつけた。ゲタもチャンチャンコも妖怪オカリナもない鬼太郎は、髪の毛バリだけで戦うが、鼻毛バリと

は五分と五分。だが、百々じいには鼻チョウチンの中の毒で分身を見せる鼻モンモという奥の手があった。鬼太郎は鼻毛バリを浴びて倒れてしまうが、とどめをさそうとした百々じいに、鳥のフンが落ちてきた。化けガラスに率いられたカラスの大群に

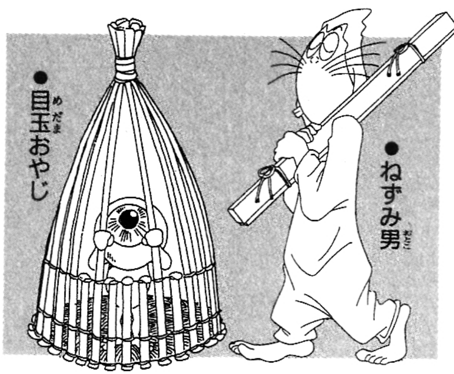


髪の毛バリに負けずともおとらない強烈な鼻毛攻撃！

大量のフンを落とされ、百々じいの分身は消えていく。鬼太郎は、捕えた百々じいから黒幕の正体を聞き出した。

岩山に月がかかり、目玉おやじに刑が執行されようとしたとき、鬼太郎がやってくる。取りもどした地獄絵図を見せ、妖怪弁護士のぬらりひょんが犯人だったことを大天狗に告げる鬼太郎。目玉おやじも無罪になる。

ぬらりひょんは逃げ出すが、時代流しの刑で恐龍時代に飛ばされる。鬼太郎と目玉おやじは笑顔で見つめあうのだった。



第48話
えんま大王とねこ娘

車道に飛び出したねこ娘を避けて、秋山里子は車をぶつけてしまう。里子はケガで入院することになり、お見舞いに通うようになったねこ娘は里子のことを「里子ママ」とよぶようになった。

そんな里子は、家出同然となった娘、マリのことで悩んでいた。ねこ娘は、街でぐうぜんに出会ったマリに、見舞いにいくようにたのむが、まるで聞こうとしない。その態度に、ねこ娘はカンカンだ。

一方、心臓が弱っていた里子が倒れてしまい、ねこ娘は鬼太郎といっしょにマリを探す。



ねずみ男がバイトしているゲーセンに寄ると、そこにはマリがいた。マリは病院にくるが、父親にほおを叩かれて病室を飛び出してしまう。

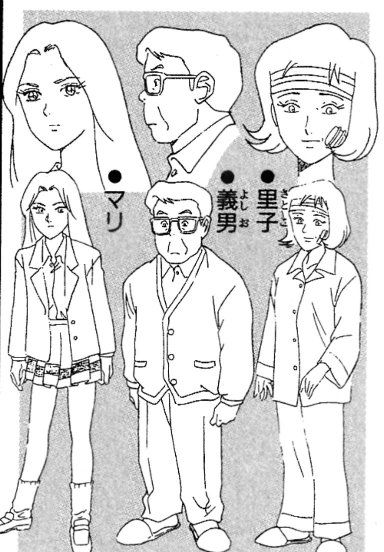
ねこ娘は、幼いころから両親のいいなりだったマリが、その反動でグレていたことを知る。そしてマリが、里子を大好きなことも……。

ねこ娘のたのみで、人間の寿命を決めているえんま大王に会うため、地獄へくる鬼太郎たち。だがえんま大王は、里子の寿命は、里子が今いちばん会いたい人間の願い



人の寿命は、えんま大王の帳面にしるされている……

でなければ変えられないという。
「里子ママを生き返らせてって、心で強く念じて、お願い！」
病院にもどったねこ娘にいわれ、マリは一心に願う。
「大好きなママ、心配かけてごめんね。本当は話したいことが、たくさんあるんだ」
マリの願いは届き、里子はめざめる。抱きあう母と子……。家族の絆はもどったのだ。そんなふたりの姿が、家族のいないねこ娘の目に、うらやましく写る……。
「さ、いこうか、ねこ娘」
「わしらの家に帰るとしよう」
鬼太郎親子の優しさに、笑顔で明るくうなずくねこ娘だった。



第49話 水妖怪赤舌の疾走！

北国に住んでいた涼子は引っ越すことになり、水の精・赤舌を川に帰してやる。

「もしわたしが困ったときは助けてね。や・く・そ・く…」

涼子は祐子のクラスに転校してくるが、その帰り道、男女の強盗に人質として捕えられてしまう。涼子の「助けて」というつぶやきが聞こえたのか、赤舌は水を飲んで巨大化。「や・く・そ・く」という言葉をくりかえしながら地面を掘り進む。

涼子の救出を祐子にたのまれる鬼太郎。そこに妖気が迫り、赤舌が出現した。強盗から助けた涼子を呑みこみ、また地面にもぐる赤舌は、体内の涼子に、自分が赤舌だと告げる。だが、暑さと酸素不足に耐えられず、地上へ出て、ミサイル攻撃をうける。



赤舌の体内に飛びこむ鬼太郎だったが、赤舌は悪くないと言い張る涼子は、外へ出

ようとしない。そこへ赤舌の飲んだ川の水が押し寄せた。涼子の手をつかんだ鬼太郎は、チャンチャンコをほどき脱出！

体の自由がきかなくなった赤舌は、自分にとって猛毒であるはずの海をめざすが、それは自分を滅ぼそうとする行為にも見えた。体の下にためた水車のようなエネルギーを全開にして、コンビナートに突っこみ、炎の中で苦しむ赤舌。

そんな赤舌を止めようと、突堤に立つのは涼子だった。鬼太郎は赤舌が迫る寸前で、涼子をキャッチするが、海に落ちた赤舌は巨大な渦の中に消えていく。


ただ、涼子を助けたい一心で、この暴走は始まった！



だが、涼子の心が通じたのか、その手の中には、もとにもどった赤舌がいた。

赤舌を北国の川に帰す涼子……。

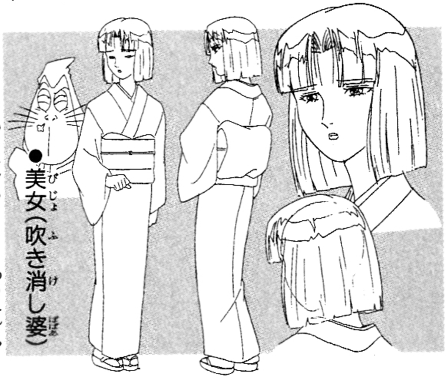
「涼子ならだいじょうぶだから……。や・く・そ・く」

第50話 遊園地の吹き消し婆！

肩を寄せあって街をいくカップルを襲った炎は「憎い！」と叫んでいた……。

クリスマスイブの夜、ねずみ男はロウソクの露店を開いていたが、街はカップルだらけで超ムカムカ。そこへ現れた和服姿の美女は、ロウソクがぜんぶほしいというが、なんだかお金はなさそう。ねずみ男が、今夜デートしてくれたら……というと、美女はコクリとうなずくのだった。

美女にたのまれ、公園にならべたロウソクに火をつけると、美女はロウソクを次々と吹き消していく。見とれるような美女の態度にゾッとなったねずみ男は、鬼太郎への伝言を公園のネズミにたのむのだった。

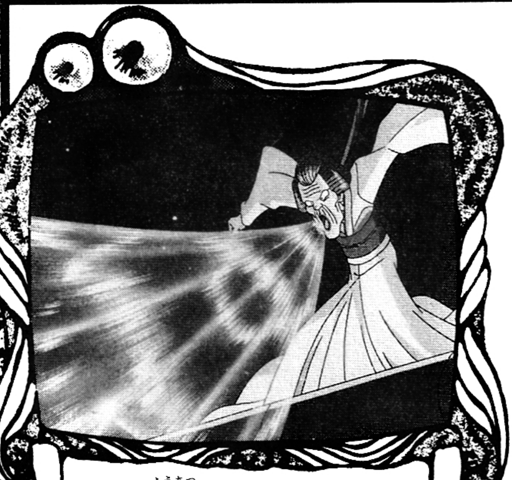


●美女（吹き消し婆）

さらに、遊園地の明かりを炎とかんちがいした美女は、ねずみ男を連れて遊園地へ。遊園地のネオンを吹き消そうとする美女だが、もちろん消えるわけはなく、怒りに震えるその姿が、老婆に変わっていく。美女は、吹き消し婆だった。

今日は人間がロウソクを使う日だと聞いて街へおりてきた吹き消し婆は炎がないことに怒っており、口から吹く突風で、遊園

地を大パニックにおとしいれる。
連続放火魔を探していた鬼太郎は、ネズミからの伝言で遊園地にくる。止める鬼太郎を襲う、吹き消し婆の突風。鬼太郎が吹き消し婆を追いつめたとき、とつぜん、遊園地のネオンが消え、火事が起こった。



その風圧は、ジェットコースターさえも吹き飛ばす

「憎い！」と叫びながら浮かび上がる炎は、連続放火の犯人、姥火だった。嫉妬の炎に苦戦する鬼太郎。吹き消し婆は姥火を吹き消そうとするが、さっきあばれたせいで力が残っていない。だが、鬼太郎のチャンチャンコを着て霊力を増し、強烈な突風で姥火を吹き消し、満足して帰っていく。

鬼太郎たちは遊園地で楽しむが、ねずみ男は、美女の正体にトホホなのだった。



第51話

雪コンコン！ 笠地蔵

雪深い山の家で仲良く暮らす、老夫婦。おじいさんは正月のもちを買うため、笠を背負って街へ。途中、バケモノが現れるが、おじいさんは驚かない。子ギツネがばけてると知っていたので、耳シロ、シッポ、コンコはガッカリ。

おじいさんは街につくが、時代遅れの笠は売れない……。

一方、鬼太郎はキツネの巣へくる。毎年大晦日は、妖怪たちの楽しみの、キツネの幻燈会が開かれるのだ。

いたずら盛りの子ギツネ3匹は、洞窟で冬眠してる熊をからかおうと松葉でいぶすが、寝ていたのは一本だたらだった。そして3匹は、一本だたらに、追われてしまう。匂いを追って、9体の地蔵がならぶ道にくる一本だたら。実は子ギツネは地蔵に化けていたのだ。が、一本だたらがねむり始めたため、そこを動けなくなってしまった。





空腹をいやすこんなささいな思いやりも、時には大事

カラスの知らせで駆けつけた鬼太郎は、一本だたらにもちをわたして、おとなしく洞窟に帰す。だが、辺りには地蔵があるだけで、子ギツネたちは見当らない……。

笠が1個も売れなかったおじいさんは、雪に埋もれた地蔵に、笠をかぶせてやる。

おじいさんが供えてくれたおむすびを食べて元気になった子ギツネたちは、無事にキツネの巣にもどり、話を聞いた鬼太郎と母ギツネたちは、お礼をすることにした。

その夜、「よーいさ、よーいさな♪ よーいさ どっこいしょ♪」と歌いながらソリを引く、笠と蓑をつけた鬼太郎たち。



翌朝、老夫婦は家の前にもちや米俵が積み上げられているのを見た。「お地蔵さんたちですよ、きっと。笠のお礼にもってきてくれたんですよ」「そうじゃな、おばあさん……」

第52話 コマ妖怪・あまめはぎ！

公園の人だかりの中央には、ねずみ男とコマ名人のマントの男がいた。マントの男は子どもたちにコマをくばるが、水あめをもらった子どもたちは、コマを捨ててしまった。

その夜、進の介を初めとする大ぜいの子どもたちは、ひとりでにもどってきたコマにあやつられ、夢遊病者のように通りへ歩き出していた。

祐子の知らせで駆けつけた鬼太郎は、公園で配られたコマが妖怪ゴマだと知る。

一方、大雪で折れた巨木に連れてこられたねずみ男。その木がりっぱなコマを作るために植えられた独楽神木だと教えたマントの男は、あまめはぎだった。



500年前、子どもが大好きだったあまめはぎはコマに宿ったのだが、勝てなくなると子どもに踏みつけにされ、以来ここでねむりについていたのだ。独楽神木の周りに集まってくる夢遊病者のような子どもたちは、あまめはぎによって妖怪ゴマに変えられ、現れた鬼太郎に襲いかかる。

さらにコマ結界の中で妖気を吸い取られた鬼太郎は、あまめはぎの催眠術で、コマ



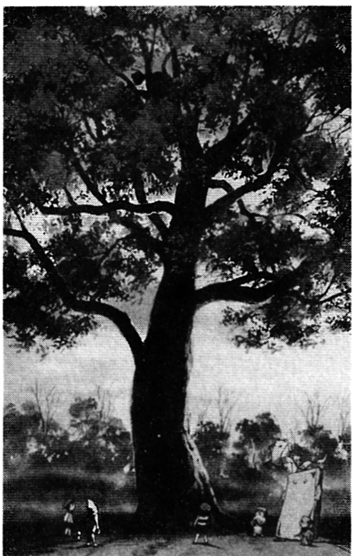
仲間から集めた霊力を鬼太郎が送ると、独楽神木が⁉

のように回転させられる。だが、ひとりでに脱げたチャンチャンコがあまめはぎの目を回し、われに帰った鬼太郎は、目玉おやじをあまめはぎの頭の上で回す。

その勢いで回り出したあまめはぎはコマになってしまい、チャンチャンコで封じられ、子どもたちも助かった。トドメをさそうとした鬼太郎を止めたねずみ男は、コマを捨てた子どもたちにも責任があるという。

今度こそゆっくりねむりたいというあまめはぎを封印するため、鬼太郎と仲間の妖怪は、その霊力を独楽神木に注ぎこんだ。

翌朝、霊力を使い果たして気を失っていた鬼太郎たちが意識を取りもどすと、そこには復活した独楽神木がそそり立っていた。



第53話

霊園行・幽霊電車！

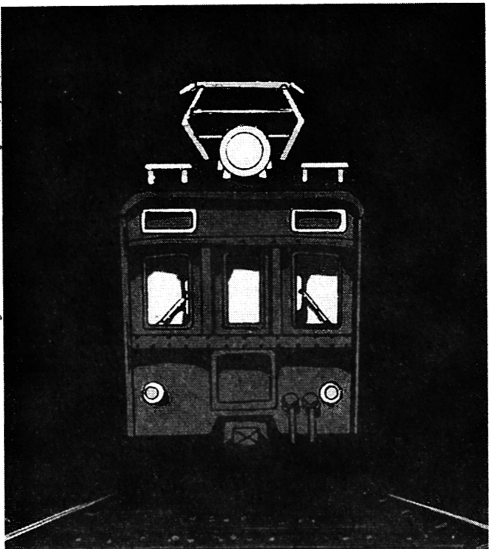
妖怪シールがバカ売れというねずみ男は、めずらしく鬼太郎にごちそうするという。

ある居酒屋で飲んでいた小林と山田のふたりは、妖怪はいないという話題で盛り上がり、酔っぱらってガード下を歩いていた。そこを通りかかった鬼太郎は、ふたりにいう。

「妖怪は、本当にいるんだよ」

その言葉をバカにする小林は鬼太郎の頭をなぐり、大きなコブができる。鬼太郎は、同じ大きさのコブでお返しするというのだが……。

ふたりは駅にやってくるが、終電は出たあとで、霊園行きの特別電車のキップを買う。

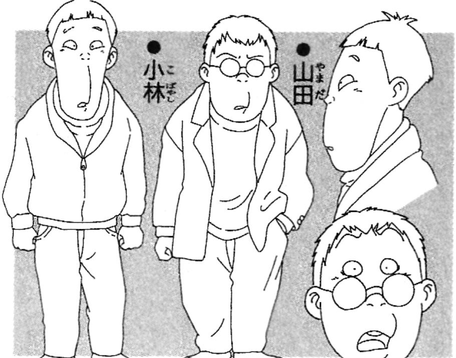


「この世↔墓場」と書かれたキップに気づかないでいった4番ホームには、明かりがついていない。しかし、いつの間にか大ぜいの人が集まり、霊柩車がきしむような音を立てて、電車は入ってくる。ホームの

人たちはお経を唱えはじめ、火葬場の扉のような音を立てて、電車のドアは開く。
「幽霊電車の発車です……」
電車の客は、誰も生気がなく、まるで死人みたいだ。電車は「臨終」という駅に止まり、さらに「火葬場」「骨壺」と、まるで葬式の順番のような駅名が続く。そして終点の霊園とは「墓場」のことなのだ。
と、車内灯が消え、車内は真っ暗になる。そして、月にかかった雲が流れ車内に明かりがさすと、乗客はすべてガイコツに変わっていた。車掌室から顔を出す本物の妖怪に驚いたふたりは、電車から飛びおりた！
われに帰ったふたりは、捨てられたボロ電車の側にへたりこんでいた。頭に、鬼太郎と同じ大きさのコブを作って……。ふたりはもう、妖怪を信じないわけにはいかないだろう。



妖怪をあまくみちゃけない。
これがぼくたちのやり方…



第54話 妖怪邪魅とガマ仙人！

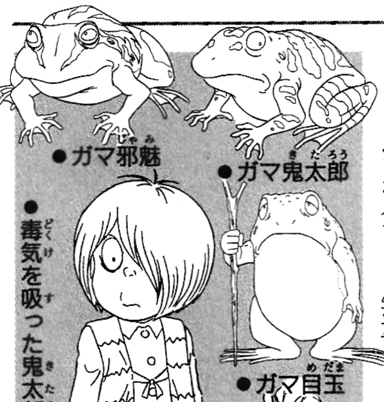
鬼太郎は、妖怪ガマに苦しめられている村にやってくるが、人の気配がまるでない。そこに現れたガマ蛙に案内されて森の奥に進み、ガマ蛙のたのみを聞いて岩をどかした。すると、昔ガマ仙人に封じこめられていた邪魅が復活してしまい、鬼太郎は邪魅の代わりにガマ蛙にされてしまう。
目玉おやじは自分がガマ蛙になって鬼太郎をもとにもどそうと邪魅に岩を動かしてもらうが、もとにもどった鬼太郎は邪魅の毒気を口に吹きこまれ、邪魅のいいなりになってしまった。実は鬼太郎を二セの手紙で誘い出した黒幕は、ぬらりひょんだった。



邪魅は、鬼太郎が銀行や現金輸送車を襲って手に入れた金を渡す。
鬼太郎を探して森にきた砂かけ婆たちは、ガマ蛙になった目玉おやじと出会い、ガマ仙人に会いに森の奥をめざす。そして待ち受けていた邪魅と鬼太郎をまき、ガマ蛙の目玉おやじはガマ仙人に助けを求めた。
ふたりに外から家を縛られたガマ仙人は、キノコランプを持ち出した。家の中をのぞいていた邪魅は、ガマ仙人たちが消えたの

を不審に思い、鬼太郎に調べさせる。キノコランプで照らした壁に杖で戸を描いた鬼太郎は、ガマ仙人が待つ異次元の森へきてしまい、異次元の植物に縛られる……。
家の中を調べる邪魅の前に、ずいぶんとふけて出てくる鬼太郎。なんでも、すごい格闘だったらしい。邪魅はガマ仙人の家に火をつけるが、ガマ仙人が化けたふけ鬼太郎が光るキノコを封印の石に投げつけたため、ガマ蛙にもどってしまう。燃えるガマ仙人の家からは、正気になった鬼太郎と、もとにもどった目玉おやじが出てきた。
ぬらりひょんの金を盗んで逃げるねずみ男。そこに先回りしていたのは鬼太郎で、こうしてお金も、無事もどされるのだった。


息子のために奮闘するが、どうも力が足りないか……



第55話

座敷童子と妖怪後神！

とある一軒家で、座敷童子はねずみ男に相談する。この家に住む人間に尽くそうとしている自分の姿を見ると、人間は恐ろしがって、いついてくれないと。

ねずみ男は不動産屋を始めるが、この「幸福をよぶ座敷童子付き」の一軒家を借りにきた一家は、父親の工場がつぶれてから、不幸続きだった。

翌日、一家のいない間に、拭き掃除からトイレ掃除、洗い物と、座敷童子は大忙し。服にチューリップのアップリケをつけていると、そこに服の持ち主、娘のホタルが帰ってきて、ふたりは友だちに。



その夜、パチンコでスッた父親は、屋台で不思議な女から幸せのサボテンをもらう。

しかし、妖怪化したサボテンは、天井裏の座敷童子、父親、母親を呑みこみ、影の顔の女、後神が、さらにホタルたちも……。



はたして、こいつら相手に
ホタルの危機を救えるか!?

妖気を感じて鬼太郎がくるが、強力な妖気の壁で家に入れない。家の中では兄のジュンを呑みこんだサボテン妖怪が、ホタルにせまっていた。間一髪、ぬりかべがぶち破った雨戸から飛びこんでくる鬼太郎。後神は鬼太郎を影の世界に引きこむが、サボテン妖怪が急に苦しみ出す。体内で、座敷童子があばれたのだ。後神は影に姿を変えて鬼太郎をからめとるが、四方から差しこむ光に、影の世界は消えていく。砂かけ婆たちとつるべ火軍団によって弱点の光を浴びせられた後神は影を探して苦しみ、砂かけ婆の差し出した壺に取りこまれる。



サボテンの中から父親たちは無事救出され、自分のふがいなさをなげく座敷童子もホタルにはげまされ、これからも一家の幸せのためにがんばることを誓うのだった。

第56話

水変化！　妖怪水虎

　昇がふたを開けた壺からは、生きている液体が流れ出し、赤い目を光らせた。それは水虎となってダムに飛びこむが、その勢いで、ダムの水が津波のように流れ出してしまう。
　ビビった昇が家にもどると、消防団員の父親、高男が出かけるところだった。心配になった昇はあとを追い、村の祠で見つけた封印の書を持ち出していたことを告げる。
　父と別れた昇をねらう水虎。温泉にきていた鬼太郎は水虎と戦うが、液状の水虎にはリモコンゲタも通用しない。だが、電線にからめたオカリナムチを巻きつけられ、感電させられた水虎は、川に姿を消すのだった。



　目玉おやじは封印の書を読み、水虎が別に封印された女房の壺を探していること、その場所が今はダムになっている大雪谷だということをつきとめるが、川の水にまぎれていた水虎に、話を聞かれてしまった。
　高男は水が吹き出し、壊れそうなダムに、土のうを積み上げていた。責任を感じた昇は、そこにきて父を手伝う。
　壺をもってダムから飛び出した水虎は、

液状の女房と合体して鬼太郎に襲いかかる。ダムが壊れるのを防ごうとする昇たちのもとには、ぬりかべ、子泣き爺、ぬずみ男が駆けつけて力を貸した。一反木綿で雪雲に突っこむ鬼太郎を追って、水虎も雪雲の中へ。しかし、あまりの


切っても切れない水の妖怪
水虎に、鬼太郎悪戦苦闘!!

寒さに一反木綿は凍りつき、墜落していく。鬼太郎がダムに飛びこむと水虎もそのあとを追う。水虎はダムの水と一体化して鬼太郎を包みこんでしまうが、これこそ鬼太郎の最後の賭けだった。鬼太郎は、雪雲の中でためていたエネルギーを放つ「妖気冷凍」という技で、水虎を水ごと凍らせた。
ダムが壊れる危険はさり、水虎もふたたび封印される。昇も反省するのだった。



第57話

吸血鬼エリート！

美人で頭のよい女性ばかりがとつぜん失踪する事件が起こった。その事件を新聞で知った鬼太郎たちは、綾小路という大邸宅の執事に、そこの娘、綾子のガードをたのまれる。綾子は政府のいらいで、流行病の特効薬の研究に取り組む美しい女性であった。

事件の犯人は、吸血鬼のエリートだった。彼は超エリート吸血鬼になるために、チースッター祭にむけて美女の生き血をもとめていた。そして、その100人目に選ばれたのが綾子だった。

エリートはフラフラしていたねずみ男に札束を見せつけ、仕事をたのんだ。仕事を受けたねずみ男は、綾子の研究所の窓を開けさせるために、換気口からオナラをすると、その強烈な臭いにたえきれず研究室の窓は開いた。そのとたん、エリートは得意のギターを弾いて、綾子の心



をあやつり、つれさってしまった。
鬼太郎はエリートの屋敷にニンニクや十字架をもって乗りこむのだが、それらはまったく効果がなかった。逆におたまじゃくしに、鬼太郎の髪の毛を食べさせて作ったメロディーに心をうばわれて、屋敷の外にある深い地獄谷に落ちてしまうのだった。
そして、仕事を手伝ったねずみ男もまた、谷底へつき落とされてしまった。
ただひとり無事でいた目玉おやじは、知りあいの黄金虫にたのみ、鬼太郎たちを穴から助けた。鬼太郎は屋敷にもどると、耳栓をしてエリートに近づき彼を退治した。


この血でついに100人目。これで超エリート吸血鬼だ…



鬼太郎の活躍で城はくずれ、美女たちは救出された。
エリートが超エリート吸血鬼になろうとしたのは、妹コウモリ、ティナをエリート妖怪にするための愛情だったのである。

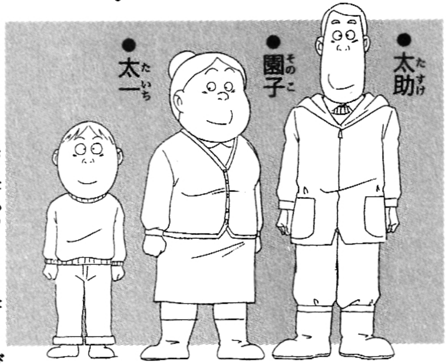
第58話

冷凍妖怪・雪ん子！

銀雪山にきたねずみ男は、山中でアイスキャンディーを売る不思議な女の子に会う。ねずみ男は、太一が鬼太郎に出した手紙を見て、ごちそうとコンパニオンのお姉ちゃんを目当てに、鬼太郎のフリをして、この温泉にきたのだ。

銀雪山では太一の父親たちが消えていた。そして、山に落ちていたアイスキャンディーの棒を見たねずみ男は、事件解決に出発。だが、現れた女の子にアイスキャンディーを食わされ、凍りついた。

やってきた本物の鬼太郎は、翌朝、山中で見かけたアイスキャンディー売りの女の子のあとをつけ、洞窟に入る。そこに現れた雪男と雪女の冷気を浴び、さらにアイスキャンディーを食わされて、鬼太郎も凍らされてしまった。



その鬼太郎を、焚き火にあてて解凍してくれた雪ん子は、動物を殺したことのない鬼太郎を、助けてくれるという。しかし、そこへやってきた雪女は、雪ん子の制止を聞かずに、冷気で鬼太郎を襲う。だが、眠らされているあいだ少しずつ妖怪エネルギーを体内に蓄えていた鬼太郎は、口からは



冷凍したり解凍したり、雪ん子、いったいなぜなんだ

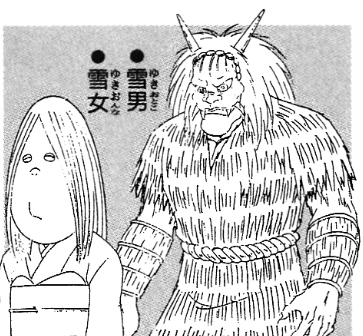
いた熱線で雪女を溶かした。

一方、目玉おやじたちは、行方不明の鬼太郎を探していたが、雪男が洞窟の天井を一撃したためその衝撃でなだれが起こり、雪に埋もれてしまった！

鬼太郎は、雪女同様に熱線攻撃で雪男も炎に包んだ。すると雪男に抱きついた雪ん子も、いっしょに溶けてしまった。

ねずみ男や村の男たちを見つけた鬼太郎は、雪ん子がこっそり教えてくれたぬけ穴から外へ脱出。ぬりかべのおかげで目玉おやじたちも無事に帰り、太一は父親の太助と再会できた。

雪男たちはまだ生きているが、むやみに動物を殺さなければもう出ないだろう……。



第59話

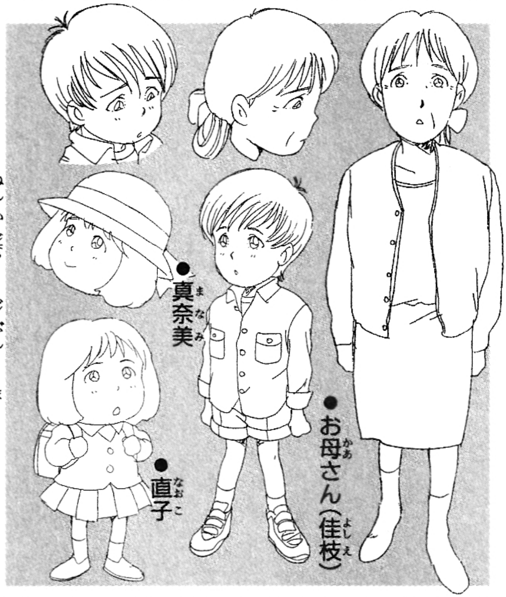
妖怪オバリヨン！

フワフワした妙な妖怪を追って道路に出た幸美は、姉である佳枝の目の前で車に跳ねられた。そんな30年以上前の雪の日のことを、佳枝は夢に見てしまった……。

佳枝の娘、真奈美は、妹の直子を幼稚園に連れていくのが、カッコ悪くて嫌そうだ。その真奈美は、フワフワした妖怪につきまとわれていた。

そんな真奈美のもとに、やってくる鬼太郎。現れたオバリヨンは手まねきで真奈美と鬼太郎を、異空間への入り口に誘い、佳枝もあとを追った。異空間に入った佳枝は、オバリヨンが30年以上も自分を待っていたのを知らされる。すると辺りの景色は、佳枝が住んでいた昔のままの街に……。

鬼太郎と真奈美は岩魚坊主に出会い、両親が離婚して別れ別れになった佳枝と幸美姉妹のこと、幸美がオバリヨンと出会って



仲良くなったこと、だが幸美は死んでしまう運命で、それを教えるため、あの雪の日にオバリヨンが現れたことを聞かされる。
　ここは事件の次の日で、岩魚坊主の力で魂が冥途にいくのを1日だけ遅らせてある幸美がいた。オバリヨンは、この日に佳枝を連れてきて幸美との約束を果たさせたかったのだが、自分が佳枝には見えなくなっていたから真奈美につきまとっていたのだ。
　幸美と出会った佳枝は子どもの姿になっていた。真奈美を交えた3人は、デパートの食堂や、遊園地で楽しい時を過ごす。とてもうれしそうな幸美……。
　そして日が落ち、幸美は岩魚坊主に連れられて天国へいった。
　この日から真奈美は、妹の直子を連れて幼稚園にいくことにも抵抗がなくなったようだ。もちろん、妹を想う気持ちも……。

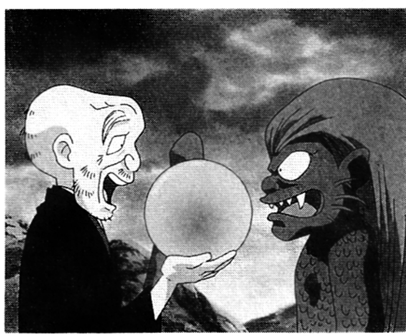


幸美はこの思い出とともに、きっと天国へいけるだろう



第60話 ぬらりひょんの陰謀！

北の海を調査にきた鬼太郎は、おぼれている人を助けるため、ゲタを脱いで海に飛びこむ。だが、助けたのは半魚人で、毒を吹きかけられ、体の自由をうばわれてしまった。
事件の黒幕は、またしてもぬらりひょんだった。ぬらりひょんは、妖怪真珠を妖怪灯台の明かりに使い、世界中の妖怪を手下にするつもりだ。
孤島の洞窟で、妖怪イカは鬼太郎を食い、妖怪真珠を産み落とす。するとその体には鬼太郎のチャンチャンコ模様が浮かび上がってきた。
家についたリモコンゲタに案内された目玉おやじたちは、妖怪真珠をもつ朱の盆とぬらりひょんを見つける。鬼太郎がやられたことを聞いたねずみ男は、目玉おやじを捕えて寝返り、砂かけ婆は朱の盆に捕えられた。海上を飛ぶ一反木綿からそのことを聞かされた鬼太郎は、体内から妖怪イカをあやつって、妖怪灯台を探す。



ぬらりひょんは、ほうびをもらおうとする半魚人を仕こみ杖で斬り捨て、現れた妖怪イカも、バラバラにする。目玉おやじと砂かけ婆は自由になったが、鬼太郎がいな

ければもうどうすることもできない。
陽が沈み、月が出てくると、妖怪真珠は反応を始めた。だが、半魚人は妖怪灯台に登り妖怪真珠をうばい取った。そしてぬらりひょんの仕こみ杖で亀裂が入ってしまった妖怪真珠を海に投げ捨てる。



ぬらりひょんを攻撃したいが、自由に体を動かせない

そのため、封じこめられていた妖気は妖怪イカのバラバラの体にもどり、巨大な水柱を上げて、鬼太郎は復活する。追いつめられたぬらりひょんは、髪の毛バリを浴びて岸壁から海へ。ねずみ男も朱の盆を突き落とし、またまた寝返る。そのとき、妖怪灯台は大きくかたむき、跡形もなく崩れさった。砂浜には、復讐を誓うぬらりひょんと、置きざりにされたねずみ男の姿があった。



第61話
妖怪いやみにご用心

派手な着物を身にまとい、編み笠をかぶった人影が、次次と人間のショウ気を吸い取っていく事件が起こった。

ショウ気とは、正気、または笑気とも書き、これを取られると本音むき出しになったり、凶暴になってしまうのだ。

このショウ気を集めていたのは、いやみだった。こいつが人間のショウ気をむやみに吸い取るために街は大混乱で、鬼太郎の妖怪ポストに、どっさり手紙が届く毎日が続いた。

腹を空かしていたねずみ男は、金持ちの女性だと思った人が、実はいやみと知ってガッカリ。しかし、ひょうたんに入っているうまそうな飲物に引かれていやみについていくと、そこはなんと演芸場の楽屋だった。いやみは落語家だったのである。これがどうにもツマラナイ落語なのだが、客に向かっていやみがひょうたんの中身をふりまく



と、なんと客は大爆笑。その中身は、いやみが吸い取ったショウ気だったのだ。

いやみの悪さをくい止めようとした鬼太郎は毒気を吹きこまれてしまい、やる気をなくす。「いちいちぼくをあてにしないでよ」の一言に目玉おやじもトホホホ……。



象に投げられたと同時に、いやみは正体を現した！

しかたなく、鬼太郎の毒を洗い流すために金比羅島の清めの泉にいき、島に住むカシャボに泉の場所へ案内してもらい、毒を取りのぞくことに成功した。

そして、元気になった鬼太郎は、動物園でいやみに挑むが、手足が伸びる攻撃に苦戦。しかし、象の鼻で投げ飛ばされたいやみがその正体を現すと、すかさずチャンチャンコでくるんで、ショウ気を絞りだした。



いやみの封印は、落ちめの落語家の笑いを取りたいという願望からとかれたものだった。

第62話

怪奇！ばけ猫街道

行き場所の決まってないねずみ男を乗せて、ひたすら夜中の路を走るタクシーの前に、1匹のねこが飛び出した。驚いて外に出ようとする運転手の佐々木をねずみ男は止めて、そのまま車を走らせた。すると後ろから巨大な車に衝突されて、運転手もねずみ男も強い衝撃を受けてしまった……。

鬼太郎のポストに「ねこ打ち症」にかかった父親を救ってほしいという内容の手紙が届いた。その手紙を読んでいると、行動がねこそっくりになったというねずみ男が、ねこ娘に連れられやってきた。

手紙を出したタケルの父親も、ねずみ男の症状と同じだった。また、タクシーの運転手の佐々木もキャットフードしか食べないという……。

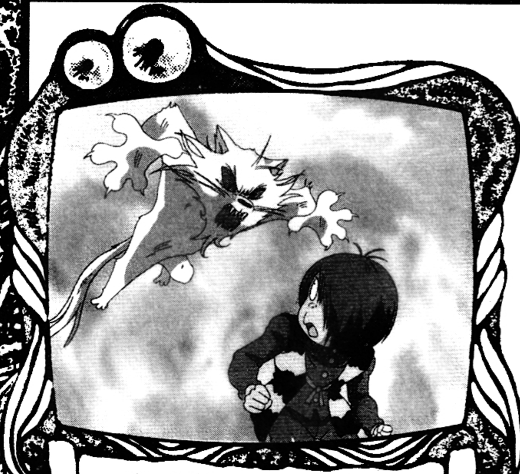


鬼太郎は原因を探るために、まず妖怪自動車に巨大な車の正体を調べようと妖怪話を聞いたが、謎は深まるばかり。

ねずみ男がタクシーに乗っていた場所を妖怪自動車で走ってみると、途中に交通事故にあったらしい、ねこの墓があった。

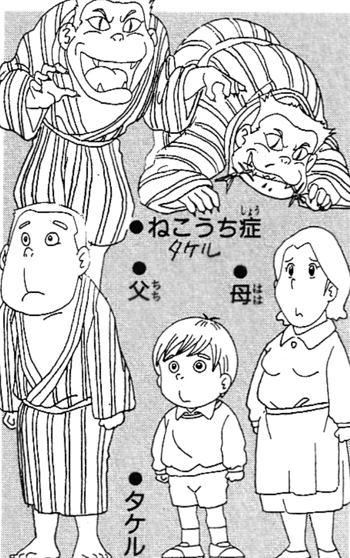
と、そのときものすごい轟音とともに巨大な車が鬼太郎たちめがけてつっこんでき

た。その車に衝突され、鬼太郎たちは妖怪自動車ごと斜面に転落してしまった。
気がつくとそこはねこの霊界で、鬼太郎たちの前にばけ猫が現れた。ねこうち症は、ねこをひいた人間にかけられた呪いなのだ。
ねこ娘らも、霊界にきたが、砂かけ婆は車に乗れず破れた袖だけが残っていた。



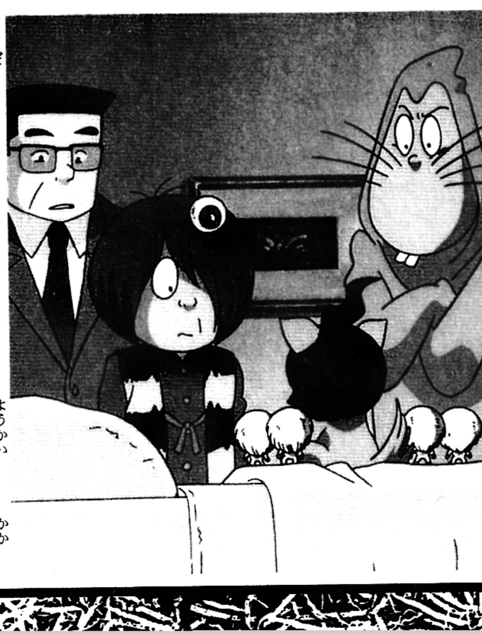
妖怪自動車でねこの霊界についたとたん……

一方ねこの霊界では、するどい爪をたて、押しせまってくるばけ猫に鬼太郎苦戦。が、砂かけ婆の袖の中にあった、マタタビ香をたくと、ばけ猫の動きは鈍くなり、そのすきに鬼太郎たちは現世にもどってこられた。
それから、ねこ打ち症にかかった患者は、すっかりよくなった。そして、鬼太郎たちは、事故で死んだ小さな命を供養したのだった。



第63話
メンソーレ！ 妖怪ホテル

妖怪のウワサでつぶれそうな沖縄のメンソーレホテルに、鬼太郎はやってくる。
鬼太郎をよんだ鈴木は、本社から支配人代理としてきていた。支配人・金城のやり方をチェックするためだ。
13階に妖怪が泊まっていることに気づいた鈴木たちがいくと、いきなり怪奇現象が起こり、しかも白髪の老人が獅子に姿を変え、襲ってきた。
迎え撃つ鬼太郎は、キジムナーに邪魔されながらも、獅子の正体をあばく。それは沖縄の妖怪、シーサーだった。
観光客に追われ、森から追い出されたシーサーたちを、妖怪にも関わらず、金城だけは泊めてくれていたのだ。
だが金城は、今月中に利益を回復しなければ、クビにされてしまう。鬼太郎、シーサー、キジムナーは、ホテルマンとして働き、業績はあがるが、鈴木は、より以上の

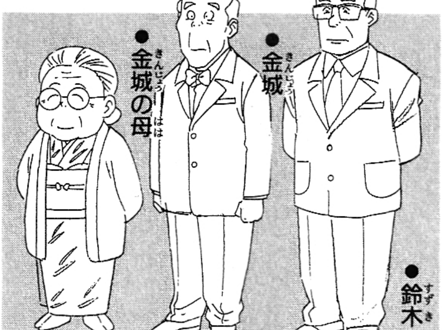


利益をあげるためにサービスを落とそうと提案する。そんな鈴木も心の中では、一部屋一部屋にハイビスカスの花を飾る金城の姿に、感動してはいたのだが……。

そんなとき、自分のやり方でホテルを建てなおすのは無理だと書いた置き手紙を残し、金城は出ていこうとする。それを止めた鈴木はいう。「ホテルに残って、わたしたちを助けてください」と。

そして開かれたのは、第一回日本妖怪会議。大勢の妖怪と、その道の権威の人間を迎えて、ホテルは大盛況。そこには、鈴木たちによばれた、金城の母親の姿もあった。


ホテルマンの格好で、はりきってお客様を迎えます

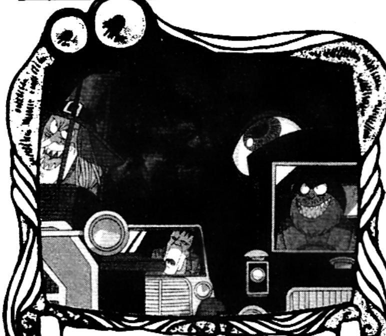


これは、母親の誕生日にも里帰りせずに働く金城への、鈴木からのプレゼントだった。

その後、メンソーレホテルは、妖怪と人間が仲よく過ごせるホテルとして大評判となる。

第64話

激争！ 妖怪ラリー



激しいデッドヒート！
妖怪石は誰の手に⁉

どんな願いもかなう妖怪石をかけた妖怪ラリーが、富士の風穴で開始され、鬼太郎は妖怪自動車で出場する。

鬼太郎以外の妖怪たちは、ラリーの招待状についていた凶悪粉をあびており、レースは欲望丸出しでリタイア続出。

黒幕のぬらりひょんは、このレースをテレビで中継し、世界中の妖怪に凶悪静電気をあびせて、自分の催眠術の奴隷にしようとしていた。

ラリーは多くの犠牲者を出し、ついに、鬼太郎とベアードの一騎討ちに。ベアードの眼力にたえ、1位でゴールした鬼太郎は、ぬらりひょんからうばった妖怪石に願いをかける。すると、レースの犠牲になった妖怪たちは復活。テレビで妖怪静電気をあびた子泣き爺ももとにもどった。

妖怪石は光の粒になって消えていった。



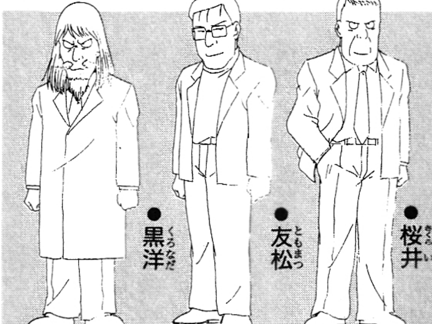
第65話

驚異！　マンモスフラワー



このままねずみ男ごと退治されるのか？

種の原産地である「カンブリアキ島」を「寒鰤焼き」と聞き違え、その種を食べてしまったねずみ男は、巨大なマンモスフラワーになり、意思とは無関係に街を破壊する。鬼太郎は、植物学者の黒洋から、マンモスフラワーが花を咲かせるところを探していることを聞く。



だが、マンモスフラワーには攻撃が開始されてしまった。

鬼太郎たちは攻撃を阻止し、カンブリアキ島の土をまいて、マンモスフラワーをおとなしくさせる。日本中のカラスに引き上げられ、海へ運ばれたマンモスフラワーは、化け鯨がひっぱる筏で、カンブリアキ島へ。

枯れかかっていたマンモスフラワーは満開の花を咲かせ、枝には、もとにもどったねずみ男がひっかかっていた。

第66話

風雲！ 妖怪城（前編）



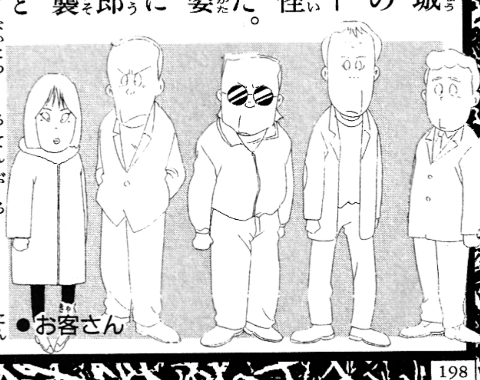
どこまでも追ってくる二口女の髪の毛

鬼太郎は、8人の子どもが行方不明になった事件を調べに尾泥市へくる。子どもたちをさらっていた紳士はねずみ男で、さらに、妖怪城の主を名乗るたんたん坊が現れた。

ねずみ男を追って、尾泥原生林にくる鬼太郎たちだったが、そこに妖怪城はなかった。昼の間、妖怪バリヤーにつつまれた妖怪城は見えないのだ。日暮とともに姿を現した妖怪城に乗りこんだ鬼太郎たちは二口女に襲われるが、なんとか脱出。すると、中庭の露天風呂に、8人の子どもたちが入れられていた。

子どもたちは妖怪城にある13の部屋のいけにえにされるため妖怪温泉に入れられており、その姿は子ども妖怪に変わっていく。

止めようとする鬼太郎の前に、かまいたちも出現。三妖怪に包囲された鬼太郎は…。



●お客さん

第67話

風雲！　妖怪城（後編）

鬼太郎は、たんたん坊にぺしゃんこにされてしまうが、三妖怪は夜が明けると、城の中に姿を消してしまった。彼らはいけにえをささげて太陽を消し、無敵の妖怪になろうとしているのだ。

　鬼太郎、目玉おやじ、ねこ娘、一反木綿にねずみ男も捕えられ、ついに13の部屋ぜんぶに妖怪のいけにえがそろい、太陽が消え、夜がせまる。

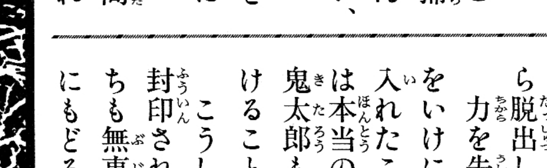
　だが、鬼太郎が砂かけ婆と子泣き爺に助けられたことにより、太陽はもとにもどる。逆にそれが災いして、昼の間の妖怪バリアーの霧に包まれた妖怪城の屋根の塔に近づけず、鬼太郎は封印のしめ縄をかけることができない。

　名案を思いついた砂かけ婆が、いけにえの部屋に飛びこむと、再び夜になり、三妖怪は勝利を確信。だが、鬼太郎が鋼鉄の扉を開くと、外は昼だった。砂かけ婆は窓から脱出していたのだ。

　力を失った三妖怪をいけにえの部屋に入れたことで、今度は本当の夜になり、鬼太郎もしめ縄をかけることができた。

　こうして妖怪城は封印され、子どもたちも無事にもとの姿にもどるのだった。

●妖怪にされた子どもたち



第68話 荒海の伝説・磯女！

岸壁で見つけた祠をさわった一成たちが、行方不明になる。それを聞いたねずみ男は、一成たちを探してひともうけをたくらむが、逆に、祠に案内してくれた子どもを、海から現れた磯女にさらわれてしまう。

ねずみ男にたのまれ、小舟で海に出る鬼太郎。だが、磯女に襲われて小舟は転覆。鬼太郎が食べられてしまった。

海に潜ったねこ娘、ねずみ男、一反木綿は、鬼太郎を助けるため磯女の洞窟へ。

磯女は、固体のように丸まった鬼太郎を消化できずに吐き出し、それを呑みこんだ赤ん坊のお腹はドンドン膨れ、ついには破裂する。鬼太郎はもとにもどるが、赤ん坊も復活した。磯女の本体は、赤ん坊だったのだ！鬼太郎は赤ん坊を倒し、つかまっていた一成たちをタコ壺から救い出した。



第69話

悪魔ブエルとやかんづる

手の自由をうばわれたねずみ男たちに追われて逃げる鬼太郎は、妖気をかぎつけられないように外人墓地に隠れる。

そこに現れた西洋悪魔ブエルこそ、この事件を仕掛けた張本人だった。ブエルは、ぬらりひょんと組んで、鬼太郎を襲ったのだ。

しかもブエルは悪魔の大群を召還して鬼太郎を襲う。さらにぬらりひょんの手の自由までうばい、この世を支配するのは自分ひとりと宣言。

鬼太郎は、やかんづるの封印をといて悪魔の大群とブエルを吸いこませるが、封印をといた責任を取るため、自らやかんづるに吸いこまれ、地の底につながる胃袋へ。

そこにはブエルがいたが、鬼太郎を倒す前に、胃液でとかされてしまった。目玉おやじたちの叫びを聞きつけた鬼太郎は、地の底まで続く井戸から帰ってくるのだった。



鬼太郎おたのしみ イベント紹介

太秦映画村

ゲゲゲの鬼太郎 風雲！妖怪城





今、京都の太秦映画村では、オリジナルの鬼太郎映画を上映しているよ。

ねずみ男が封印をといた妖怪城に、ねこ娘、子泣き爺、砂かけ婆らが捕われてしまった。鬼太郎はみんなを救うため、見上げ入道、たんたん坊、二口女、かまいたち相手に一大バトルをくりひろげる！

ちなみにタイトルはおなじでも、テレビ（66、67話）とは、ちがうストーリーだよ。





東映太秦映画村

〒616　京都市右京区太秦東蜂ヶ岡町10
☎075（864）7716　催し物案内　☎075（864）7788　FAX　075（864）7776

入村料

	個人	団体(25名以上)
大人	2000円	1800円
中・高生	1100円	990円
子供(4歳以上)	900円	810円

村内ドームシアターにて
絶賛上映中
（入場料300円）

大好評につき鬼太郎またまた映画化決定！

'97年7月12日より
全国上映予定！

ゲゲゲの鬼太郎
妖怪特急！まぼろしの汽車

春に引き続き、この夏鬼太郎の映画がまた楽しめるよ！　時空を自由に行き来できる汽車に乗って、西洋妖怪たちが暴走をはじめた。この暴走を止めるために、日本に退治の依頼がきた。さあ、鬼太郎の出番だぞ！



ゲゲゲの鬼太郎放映リスト

話数	放映日	サブタイトル	脚本	演出	作画監督	美術
34	9/1	流浪！妖怪あずきとぎ	大橋志吉	明比正行	稲葉　仁	渡辺佳人
35	9/8	鬼太郎の地獄流し	島田　満	宇田鋼之助	出口としお	松宮正純
36	9/15	仰天！おりたたみ入道	大橋志吉	川田武範	木下和栄	橋本和幸
37	9/22	大追跡！妖怪自動車	武上純希	吉沢孝男	海老沢幸男	松宮正純
38	9/29	血闘！おどろおどろ	橋本裕志	明比正行	八島善孝	渡辺佳人
39	10/6	妖狐・白山坊の花嫁	島田　満	佐藤順一	直井正博	松宮正純
40	10/13	夜の墓場は運動会！	大橋志吉	宇田鋼之助	飯島弘也	橋本和幸
41	10/20	つけもの妖怪ほうこう!	武上純希	吉沢孝男	出口としお	松宮正純
42	10/27	がんぎ小僧とねずみ男!	大橋志吉	明比正行	稲葉　仁	渡辺佳人
43	11/3	反乱！妖怪化けぞうり	武上純希	川田武範	海老沢幸男	松宮正純
44	11/10	西洋悪魔・ベリアル！	大橋志吉	宇田鋼之助	木下和栄	浅井和久
45	11/17	もち殺し！妖怪火車	矢島大輔	佐藤順一	八島善孝	松宮正純
46	11/24	妖怪大裁判（前編）	武上純希	明比正行	直井正博	渡辺佳人
47	12/1	妖怪大裁判（後編）	武上純希	吉沢孝男	木下和栄	松宮正純
48	12/8	えんま大王とねこ娘	小林千賀子	宇田鋼之助	出口としお	橋本和幸
49	12/15	水妖怪赤舌の疾走！	矢島大輔	川田武範	海老沢幸男	松宮正純
50	12/22	遊園地の吹き消し婆！	大橋志吉	吉沢孝男	稲葉　仁	渡辺佳人
51	12/29	雪コンコン!笠地蔵	武上純希	佐藤順一	木下和栄	松宮正純
52	1/12	コマ妖怪・あまめはぎ!	矢島大輔	明比正行	八島善孝	徳重　賢
53	1/19	霊園行・幽霊電車！	大橋志吉	宇田鋼之助	直井正博	松宮正純
54	1/26	妖怪邪魅とガマ仙人！	大橋志吉	吉沢孝男	飯島弘也	渡辺佳人
55	2/2	座敷童子と妖怪後神！	武上純希	川田武範	出口としお	松宮正純
56	2/9	水変化！妖怪水虎	矢島大輔	明比正行	海老沢幸男	内川文広
57	2/16	吸血鬼エリート！	橋本裕志	吉沢孝男	木下和栄	渡辺佳人
58	2/23	冷凍妖怪・雪ん子！	雪室俊一	勝間田具治	稲葉　仁	松宮正純
59	3/2	妖怪オバリヨン！	大橋志吉	宇田鋼之助	八島善孝	松宮正純
60	3/9	ぬらりひょんの陰謀！	矢島大輔	川田武範	直井正博	渡辺佳人
61	3/16	妖怪いやみにご用心	田村　竜	吉沢孝男	飯島弘也	松宮正純
62	3/23	怪奇！ばけ猫街道	雪室俊一	明比正行	海老沢幸男	渡辺佳人
63	3/30	メンソーレ!妖怪ホテル	武上純希	勝間田具治	出口としお	松宮正純
64	4/6	激争！妖怪ラリー	橋本裕志	宇田鋼之助	木下和栄	内川文広
65	4/13	驚異!マンモスフラワー	矢島大輔	吉沢孝男	稲葉　仁	松宮正純
66	4/20	風雲！妖怪城（前編）	橋本裕志	川田武範	八島善孝	松宮正純
67	4/27	風雲！妖怪城（後編）	橋本裕志	明比正行	直井正博	松宮正純
68	5/4	荒海の伝説・磯女！	大橋志吉	境　宗久	飯島弘也	松本健吉
69	5/11	悪魔ブエルとやかんづる	田村　竜	宇田鋼之助	海老沢幸男	松宮正純

【スタッフ】　企画／清水賢治　鈴木専哉　石井浩二(フジテレビ)　木村京太郎(読売広告社)　プロデューサー／清水慎治　制作担当／樋口宗久　杉本隆一　原作／水木しげる　シリーズディレクター／西尾大介　音楽／和田薫　キャラクターデザイン・総作画監督／荒木伸吾　姫野美智　美術デザイン／浦田又治　編集／片桐公一　録音／今関種吉　音響効果／今野康之　選曲／西川耕祐　【キャスト】　鬼太郎／松岡洋子　目玉おやじ／田の中勇　ねずみ男／千葉繁　子泣き爺／塩屋浩三　砂かけ婆／山本圭子　一反木綿・ぬりかべ／龍田直樹　ねこ娘／西村ちなみ

ゲゲゲの鬼太郎パート2大百科

もくじ

カラーページ

編　　集／竹中　清、国松奈緒子（STUDIO HARD）
構成・原稿／赤星政尚
国松奈緒子（STUDIO HARD）
カバーデザイン／田村　宏
本文デザイン／三樹由紀子、植松香里（HYPER ZAP）
協　　力／東映動画株式会社、（株）バンダイ、wea japan
（順不同）

ゲゲゲの鬼太郎パート2大百科

発 行 人　加納　将光
編 集 人　松田　岳久
発 行 所　株式会社　勁文社
〒164　東京都中野区本町3丁目32番15号
TEL03-3372-3281（編集）03-3372-3291　振替00190-8-13311
写植・版下　株式会社　ノア
印 刷 所　凸版印刷株式会社
製 本 所　明興製本工業株式会社

落丁、乱丁本は当社にておとりかえいたします。
発行日、定価は、カバーに表示してあります。
ISBN4-7669-2708-7

50円切手を はって ください

郵便はがき

164

東京都中野区
本町3丁目32番15号
株式会社　勁文社

ゲゲゲの鬼太郎2係

氏名		年齢	歳	性別	男・女
住所	〒 電話　－　－				
学年					

この本をどこのお店で買いましたか？ 区・市・町・村　書店

愛読者アンケート

★キミの好きな妖怪は何ですか？

[ ]

★キミはどんな雑誌を読んでいますか？

[ ]

★キミはどんなスポーツが好きですか？

[ ]

★キミがいま一番ほしいものは何ですか？

[ ]

★この本を読んだ感想を書いてください。

ご協力ありがとうございました。



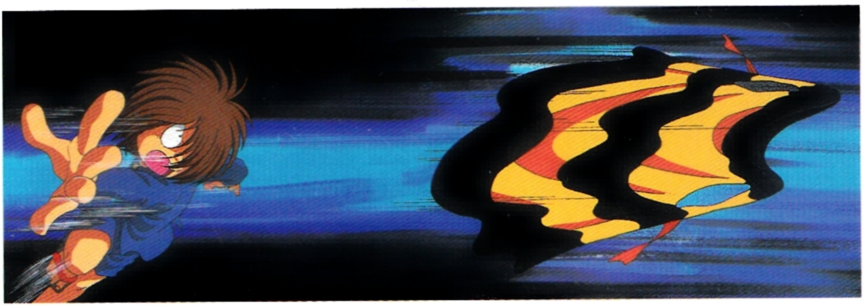
株式会社 勁文社 発行 平成 9年 5月26日 初版

ケイブンシャの大百科

ゲゲゲの鬼太郎 パート2 大百科







ISBN4-7669-2708-7

C9476 ¥740E

9784766927085

●定価：本体740円＋税

雑誌 63553-69

1929476007407